化学系薬学（口頭発表）

3 月 28 日（月） 午前
R 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 417

ステロイド
中村 誠宏（京都薬大）

28R-am01S
◷9:00
ヒストン修飾に関わるポリコーム構成分子 BMI1 を標的とした天然物の探索
〇金田 結[1], 石川 直樹[1], 當銘 一文[1], 荒井 緑[1], 小谷野 喬[2], Thaworn KOWITHAYAKORN[3], 石橋 正己[1]（[1]千葉大院薬, [2]テムコ, [3]コンケン大）

28R-am02S
◷9:12
Calotropis gigantea からのノッチシグナル伝達経路阻を標的とした神経幹細胞分化促進剤の探索
〇米山 達朗[1], 荒井 緑[1], 岡本 隆一[2], Samir K SADHU[3], Firoj AHMED[4], 石橋 正己[1]（[1]千葉大院薬, [2]東京医歯大, [3]クルナ大, [4]ダッカ大）

28R-am03S
◷9:24
ユリ科植物の化学成分（85）*Ornithogalum saundersiae* 鱗茎の化学成分と腫瘍細胞毒性（3）
〇井口 巴樹[1], 渡邊 智之[1], 内藤 玲[1], 横須賀 章人[1], 黒田 明平[1], 三巻 祥浩[1]（[1]東京薬大薬）

生理活性その他
石橋 正己（千葉大院薬）

28R-am04S
◷9:36
A new polyacetylene derivative with protein tyrosine phosphatase 1B inhibitory activity from the marine sponge *Halichondria* cf. *panicea* collected at Iriomote Island
〇Delfly B. ABDJUL[1], Hiroyuki YAMAZAKI[1], Ohgi TAKAHASHI[1], Ryota KIRIKOSHI[1], Kazuyo UKAI[1], Michio NAMIKOSHI[1]（[1]Tohoku Pharmaceutical University）

28R-am05S
◷9:48
Structures and biological activities of three new terpenes obtained from the fruiting body of a mushroom *Russula lepida*
Jong-Soo LEE[1,2], 〇Wilmar MAARISIT[1], Delfly B. ABDJUL[1], Hiroyuki YAMAZAKI[1], Ohgi TAKAHASHI[1], Ryota KIRIKOSHI[1], Syu-ichi KANNO[1], Michio NAMIKOSHI[1]（[1]Tohoku Pharmaceutical University, [2]Gyeongsang National University）

28R-am06S
◷10:00
Alpinia galanga 含有フェニルプロパノイドからの美白作用物質の開発
〇王 巍程[1], 中嶋 聡一[1], 栗木 菜津美[1], 中村 誠宏[1], 吉岡 隆嗣[2], 堀江 智章[3], 蔵本 絢子[3], 松田 久司[1]（[1]京都薬大, [2]大日本化成, [3]和光純薬工業）

28R-am07
◷10:12
スッポンからのコラーゲン抽出法の最適化
〇久保田 千晶[1], 山本 哲志[1], 上村 健太郎[2], 澤岷 有喜[1], 三田村 邦子[1], 多賀 淳[1]（[1]近畿大薬, [2]阪大 微生物病研分子ウイルス分野）

テルペン類①
川添 和義（徳島大院医歯薬）

28R-am08
◷10:24
星薬大薬用植物園で栽培されるウコンの香気成分の分析
〇石井 秀数[1], 笠井 博子[1]（[1]星薬大）

28R-am09S
◷10:36
青森県産食品素材に関する研究―干菊の成分研究第 2 報―
〇本木 雅大[1], 村上 浩一[1], 大越 絵実加[1], 梅村 直己[2], 上田 條二[1]（[1]青森大薬, [2]朝日大歯）

28R-am10
◷10:48
ダンギク（Caryopteris incana）地上部からの抗 Leishmania 活性成分の探索
〇馬場 翔太郎[1], 宮崎 友里[1], 杉本 幸子[1], 山野 喜[1], 大塚 英昭[2], 松浪 勝義[1]（[1]広島大院医歯薬, [2]安田女大薬）

テルペン類②
松浪 勝義（広島大院医歯薬保）

28R-am11S
◷11:00
インドネシア産 *Dysidea* 属海綿由来新規セスキテルペンの構造
〇鳥井 万純[1], 加藤 光[1], 塚本 佐知子[1]（[1]熊本大院薬）

28R-am12
◷11:12
アンデローバ含有成分の脂肪肝低減作用成分
〇二宮 清文[1], 酒井 千恵[1], 村岡 修[1], 菊地 崇[2], 山田 剛司[2], 田中 麗子[2], 森川 敏生[1]（[1]近畿大•薬総研, [2]大薬大）

28R-am13
◷11:24
雲南省産伝統薬物に関する研究（27）―*Gentiana rigescens* の成分研究（7）―
〇洲山 佳寛[1], 田中 直伸[1], 川添 和義[1], 村上 光太郎[2], 孫 漢董[3], 李 順林[3], 柏田 良樹[1]（[1]徳島大院薬, [2]崇城大薬, [3]中国科学院昆明植物研）

28R-am14
◷11:36
Seven New Quassinoids, Picrajavanicins A-G from *Picrasma javanica* of Myanmar and Their Antiproliferative Activity
〇Nwet Nwet WIN[1,2], Takuya ITO[1], Takeshi KODAMA[1], Yi Yi WIN[2], Hla NGWE[2], Hiroyuki MORITA[1]（[1]Institute of Natural Medicine, University of Toyama, [2]Department of Chemistry, University of Yangon, Myanmar）

3 月 28 日（月） 午後
R 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 417

アミノ酸・ペプチド
山田 耕平（金沢大院医薬保）

28R-pm01S
◷13:15
光応答型チオエステル等価体を用いた One-pot タンパク質化学合成法の開発
〇山岡 浩輔[1], 粟飯原 圭佑[1], 成瀬 公人[1], 猪熊 翼[1], 重永 章[1], 大高 章[1]（[1]徳島大院薬）

28R-pm02
◷13:27
新規ペプチドチオ酸合成法の開発とペプチドカップリングへの応用
〇平野 遼[1], 松本 拓也[1], 生長 幸之助[1], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]ERATO）

28R-pm03
◷13:39
新規なペプチドの N 末端アミノ酸の切断反応
〇濵田 芳男[1]（[1]神戸薬大）

28R-pm04
◷13:51
遷移金属を用いないトリプトファン選択的天然タンパク質生体共役反応の開発
〇石山 隆史[1], 関 陽平[1], 佐々木 大輔[1,2], 阿部 純平[1], 相馬 洋平[1,2], 生長 幸之助[1], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]JST-ERATO）

28R-pm05S
◷14:03
ホスホニウムカチオンによる活性化を用いたアミド基変換反応の開発
〇小黒 翼[1], 相馬 洋平[1,2], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]科学技術振興機構•ERATO）

アミノ酸・ペプチド・核酸
美多 剛（北大院薬）

28R-pm06S
◷14:15
銅触媒を用いたカルボン酸等価体の直接的化学選択的 α 位アミノ化による α-アミノ酸合成
〇徳益 圭祐[1], 矢崎 亮[1], 大嶋 孝志[1]（[1]九大院薬）

28R-pm07S
◷14:27
配座自由度を制限したヘリカルペプチドによる不斉マイケル付加反応
〇梅野 智大[1], 上田 篤志[1], 土井 光暢[2], 田中 正一[1]（[1]長崎大院医歯薬, [2]大阪薬大）

28R-pm08S
◷14:39
キラル銅触媒を用いた不斉酸化による光学活性セリン類合成
〇大山 達也[1], 栗山 正巳[1], 尾野村 治[1]（[1]長崎大院医歯薬）

28R-pm09 ⏲14:51 α-アジド-7-アザインドリンアミドを用いたトリフルオロメチルケトンへのダイレクト型触媒的不斉アルドール反応の開発
〇雨宮 冬樹[1], 野田 秀俊[1], Karin WEIDNER[1], 熊谷 直哉[1], 柴崎 正勝[1] ([1]微化研)

28R-pm10S ⏲15:03 塩基・部位特異的 RNA 化学修飾能を持つ官能基転移核酸による遺伝情報制御法の開発
〇大城 郁也[1], 實崎 大地[1], 松本 卓也[1], 谷口 陽祐[1], 佐々木 茂貴[1] ([1]九大院薬)

28R-pm11 ⏲15:15 核酸を標的とした擬ロタキサン形成オリゴ核酸の構造最適化
〇鬼塚 和光[1], 宮下 卓也[1], 雨宮 拓哉[1], 永次 史[1] ([1]東北大多元研)

3 月 28 日（月） 午前
S 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 418

分子認識①
南川 典昭（徳島大院医歯薬）

28S-am01S ⏲9:00 CAG リピート DNA および RNA を標的としたナフチリジン－アザキノロン誘導体の開発と転写および翻訳への阻害効果
〇阪田 彬裕[1,2], 村田 亜沙子[2], Jinxing LI[2], 松本 咲[2], Li-ping BAI[3], 堂野 主税[2], 小比賀 聡[1], 中谷 和彦[2] ([1]阪大院薬, [2]阪大産研, [3]マカオ大)

28S-am02S ⏲9:12 DNA の B→Z 遷移と[5]ヘリセンリガンドのキラル変換が同期するシンクロナイズド不斉誘起
〇川良 健祐[1], 佐々木 茂貴[1] ([1]九大院薬)

28S-am03S ⏲9:24 DNA リピート配列に選択的かつ協奏的に結合する低分子リガンドの創製
〇村瀬 裕貴[1], 佐々木 茂貴[1] ([1]九大院薬)

28S-am04S ⏲9:36 8-Oxoguanosine 選択的な DNA ポリメラーゼ基質としての非天然ヌクレオチドの開発
〇菊川 誉也[1], 谷口 陽祐[1], 佐々木 茂貴[1] ([1]九大院薬)

28S-am05S ⏲9:48 水中の 8-oxodG 特異的な検出デバイスの開発
〇渡部 卓磨[1], 渕 靖史[1], 佐々木 茂貴[1] ([1]九大院薬)

分子認識②
吉村 祐一（東北薬大）

28S-am06S ⏲10:00 フェノキサジン塩基を有する糖部架橋型人工核酸の合成と評価
〇岸本 悠希[1], 中川 治[1,2], 小比賀 聡[1,2] ([1]阪大院薬, [2]CREST-JST)

28S-am07S ⏲10:12 三重鎖形成時に TA 塩基対の認識を実現する置換アミノピリミジン型人工核酸の開発
〇松田 侑也[1], 張 功幸[2], 井實 慎[1], 加島 聖史[1], 小比賀 聡[1] ([1]阪大院薬, [2]徳島文理大薬)

28S-am08 ⏲10:24 クロスリンク 2 本鎖を有する核酸の miRNA 阻害効果と構造の相関性
小綿 恵子[1], 三重 安弘[1], 平野 悠[1], 中村 彰良[1], 安永 茉由[1], 中島 芳浩[1], 〇小松 康雄[1] ([1]産総研)

28S-am09S ⏲10:36 自己活性化能をもつピリミジン型クロスリンク核酸の開発
〇菊田 健司[1], 谷口 陽祐[1], 佐々木 茂貴[1] ([1]九大院薬)

分子認識③
阿部 洋（名大院理）

28S-am10S ⏲10:48 p53 活性化作用を有する 2-aminobenzenethiol 誘導体の探索研究
〇竹本 涼穂[1], 松浦 佳宏[1], 井上 涼佑[1], 江成 政人[2], 大石 真也[3], 藤井 信孝[3], 長岡 康夫[1], 上里 新一[1], 住吉 孝明[1] ([1]関西大化学生命工, [2]国立がん研セ, [3]京大院薬)

28S-am11S ⏲11:00 ジケトピペラジン構造を有するヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 K-856 の探索研究
〇布袋 彩菜[1], 平田 佳之[1], 上里 新一[1], 長岡 康夫[1], 住吉 孝明[1] ([1]関西大化学生命工)

28S-am12S ⏲11:12 クロロアルケン型ジペプチドイソスターにおける塩素原子の水素結合能の評価
〇千葉 拓矢[1], 今井 智之[2], 佐藤 浩平[1], 戸田 三津夫[1], 間瀬 暢之[1], 渡辺 修治[1], 鳴海 哲夫[1] ([1]静岡大院工, [2]静岡大工)

28S-am13S ⏲11:24 熱力学的平衡条件下での光学活性置換シクロペンタノン類の調製
加来 裕人[1], 〇井藤 美浪[1], 上原 李佳子[1], 谷 由紀子[1], 堀川 美津代[1], 角田 鉄人[1] ([1]徳島文理大薬)

28S-am14 ⏲11:36 屋根付き *cis*-1,2-ジアミンを利用したアミン-チオウレア型触媒の開発と反応特性
〇松永 浩文[1], 田嶋 大輔[1], 川内 哲郎[1], 安藤 眞[1], 石塚 忠男[1] ([1]熊本大院薬)

3 月 28 日（月） 午後
S 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 418

ケミカルバイオロジー①
野村 渉（東京医歯大）

28S-pm01S ⏲13:15 DMAP-SH を用いたヒストンに対する多様なアシル化の亢進とその評価法の確立
〇永島 臨[1], 須藤 宏城[1,2], 天本 義史[1,2], 青井 勇樹[1,2], 越阪部 晃永[3], 有村 泰宏[3], 胡桃坂 仁志[3], 川島 茂裕[1,2], 山次 健三[1,2], 金井 求[1,2] ([1]東大院薬, [2]JST-ERATO, [3]早大院先進理工)

28S-pm02 ⏲13:27 簡便かつ高感度な Sirtuin 活性蛍光検出系の構築
〇川口 充康[1], 池川 祥平[1], 家田 直弥[1], 中川 秀彦[1] ([1]名市大院薬)

28S-pm03 ⏲13:39 ビオチン化阻害剤を利用するプロテアーゼ活性の新規検出法
〇日高 興士[1], 木曽 良明[2], 津田 裕子[1] ([1]神戸学院大薬, [2]長浜バイオ大)

28S-pm04S ⏲13:51 新規癌イメージングプローブ開発を指向した蛍光プローブライブラリーの創製
〇栗木 優五[1,4], 神谷 真子[2,3], 小松 徹[1,3], 居軒 和也[5], 高丸 博之[5], 阿部 清一郎[5], 斎藤 豊[4,5], 浦野 泰照[1,2,4] ([1]東大院薬, [2]東大院医, [3]JSTさきがけ, [4]AMED CREST, [5]国立がんセ中央病院内視鏡科)

28S-pm05S ⏲14:03 芳香族炭化水素受容体のユビキチンリガーゼ活性を利用した新規プロテインノックダウン法の開発
〇藤里 卓磨[1,2], 正田 卓司[1], 大岡 伸通[1], 井上 英史[2], 内藤 幹彦[1], 栗原 正明[1,3] ([1]国立衛研, [2]東京薬大院生命, [3]東工大院生命理工)

ケミカルバイオロジー②
荒井 緑（千葉大院薬）

28S-pm06 ⏲14:15 小胞体ストレスタンパク質を標的とした抗癌剤スクリーニング
〇野村 尚生[1], 鈴木 華央[1], 松丸 尊紀[1], 奥村 正樹[2], 稲葉 謙次[2], 田村 保明[3], 前仲 勝実[1] ([1]北大院薬, [2]東北大多元研, [3]北大産学・地域協働推進機構)

28S-pm07S ⏲14:27 $NAD(P)^+$ 検出プローブを利用した P450 基質スクリーニング系の改良と評価
〇高橋 裕介[1], 守谷 崇[1], 叶 直樹[1], 岩渕 好治[1] ([1]東北大院薬)

28S-pm08S ⏲14:39 His タグタンパク質分解誘導分子の開発
〇沖津 航陽[1,2], 服部 隆行[2], 出水 庸介[2], 三澤 隆史[2], 正田 卓司[2], 内藤 幹彦[2], 栗原 正明[1,2] ([1]東工大院生命理工, [2]国立衛研)

28S-pm09 ⏲14:51 網羅的人工ユビキチン修飾システムの構築
〇服部 隆行[1], 正田 卓司[2], 奥平 桂一郎[3], 柴田 識人[1], 大岡 伸通[1], 伊藤 進[4], 栗原 正明[2], 内藤 幹彦[1] ([1]国立衛研・遺伝子医薬, [2]国立衛研・有機化学, [3]徳島大院医歯薬・製剤, [4]昭和薬大・生化学)

28S-pm10S ⏲15:03 小分子代謝・輸送過程の新規評価系の構築
〇柳 光一[1], 小松 徹[1,3], 浦野 泰照[1,2,4] ([1]東大院薬, [2]東大院医, [3]JSTさきがけ, [4]AMED CREST)

ケミカルバイオロジー③
叶 直樹（東北大院薬）

28S-pm11S ◷15:15
N-Ph rhodamine 類の消光機構に基づくタグタンパク質検出蛍光プローブの開発
○岩木 慎平[1,2], 花岡 健二郎[1], 浦野 泰照[1,2,3]（[1]東大院薬, [2]AMED CREST, [3]東大院医）

28S-pm12S ◷15:27
癌細胞の精密可視化を目指した細胞内滞留性ペプチダーゼ蛍光プローブの開発
○小原 塁[1], 神谷 真子[1,3], 浦野 泰照[1,2,4]（[1]東大院医, [2]東大院薬, [3]JST PRESTO, [4]AMED CREST）

28S-pm13S ◷15:39
EGF 受容体の二量体化アームを基盤とした新規細胞内輸送ペプチドに関する研究
○外山 桂[1], 水口 貴章[1], 野村 渉[1], 玉村 啓和[1]（[1]東京医歯大•生材研）

28S-pm14S ◷15:51
GLUT を介して細胞内に取り込まれる蛍光プローブの分子設計・合成
○高杉 智博[1,3], 花岡 健二郎[1], 佐々木 綾子[4], 山田 勝也[4], 浦野 泰照[1,2,3]（[1]東大院薬, [2]東大院医, [3]AMED CREST, [4]弘前大院医）

28S-pm15S ◷16:03
脂質由来ラジカル種の蛍光検出・構造推定法の開発
○松岡 悠太[1], 山田 健一[1,2]（[1]九大院薬, [2]JSTさきがけ）

ケミカルバイオロジー④
闃闃 孝介（理研）

28S-pm16 ◷16:15
アミロイドβの構造解析を指向したアミロイドβ誘導体の化学合成
○山本 将史[1,2], 佐々木 大輔[1,2], 相馬 洋平[1,2], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]科学技術振興機構•EARTO）

28S-pm17S ◷16:27
オリゴマー間の病原性比較を可能にするアミロイドβの安定オリゴマーの合成
○篠田 清道[1], 相馬 洋平[1,2], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]科学技術振興機構•ERATO）

28S-pm18 ◷16:39
特異的生体内環境を標的とした新規デュアルスイッチ型 caged 化合物の開発
○久保田 翔子[1], 青木 孝憲[1], 堂浦 智裕[1], 鈴木 紀行[1], 小椋 康光[1]（[1]千葉大院薬）

28S-pm19 ◷16:51
Synthesis and applications of biotinylated zinc binding SN1
○Mohamed RADWAN[1], Ryoko KOGA[1], Yoshinari OKAMOTO[1], Mikako FUJITA[2], Masami OTSUKA[1]（[1]Department of Bioorganic Medicinal Chemistry, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, [2]Research Institute for Drug Discovery, School of Pharmacy, Kumamoto University）

28S-pm20S ◷17:03
神経幹細胞分化を促進する Hes1 二量体形成阻害剤の合成研究
荒井 緑[1], ○山口 祐未[1], 三瓶 真菜[1], 石川 直樹[1], 石橋 正己[1]（[1]千葉大院薬）

28S-pm21 ◷17:15
新規 streptavidin 結合分子の合成およびタンパク質との相互作用解析
○藤掛 椋[1], 寺井 琢也[1,2], 杉山 成[3], 浦野 泰照[1,2,4]（[1]東大院薬, [2]AMED CREST, [3]阪大院理, [4]東大院医）

---

3 月 28 日（月） 午前
T 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 419

構造活性相関①
石川 稔（東大分生研）

28T-am01 ◷9:00
ネコカリシウイルスプロテアーゼの基質特徴を有する非ペプチド性低分子化合物の抗ウイルス活性
○岡 智一郎[1], 高木 弘隆[1], 横山 勝[1], 小島 宏建[2], 岡部 隆義[2], 長野 哲雄[2], 佐藤 裕徳[1]（[1]国立感染症研究所, [2]東大創薬機構）

28T-am02 ◷9:12
抗ノロウイルス活性を有する低分子化合物の探索
○大場 舞[1,2], 岡 智一郎[3], 安藤 隆幸[1,2], 荒畑 沙織[2], 池ヶ谷 朝香[2], 高木 弘隆[3], 小郷 尚久[1,2], 小和田 和宏[2], 川森 文彦[2], 浅井 章良[1]（[1]静岡県大院薬, [2]静岡県環衛研, [3]国立感染研）

28T-am03S ◷9:24
ピリジニウム側鎖を有する新規ジカチオン型 C60 誘導体の HIV 逆転写酵素阻害活性およびがん細胞増殖抑制効果
○安野 拓実[1], 高橋 恭子[1], 大江 知之[1], 中村 成夫[2], 増野 匡彦[1]（[1]慶應大薬, [2]日本医大）

28T-am04 ◷9:36
薬物動態の改善を目指した CD4 ミミック型 HIV-1 侵入阻害薬リードに関する研究
○水口 貴章[1], 原田 恵嘉[2], 三浦 智行[3], 苛原 優[1], 小谷 みさと[1], 石田 有佑[1], 山田 裕子[1,4], 大橋 南美[1], 野村 渉[1], 松下 修三[5], 吉村 和久[2], 玉村 啓和[1]（[1]東京医歯大•生材研, [2]国立感染研•エイズ研セ, [3]京大•ウイルス研, [4]慶應大•病院薬, [5]熊本大•エイズ学研セ）

構造活性相関②
加来田 博貴（岡山大院医歯薬）

28T-am05 ◷9:48
抗アポトーシス蛋白 Mcl-1 を標的とした低分子抗がん活性物質の前臨床期開発
○土井 賢一郎[1,2,3], 鰐渕 英機[1], 三浦 克之[2], 王 洪剛[3]（[1]大阪市大院医•分子病理, [2]大阪市大院医•薬効安全, [3]ペンシルバニア州立大医）

28T-am06S ◷10:00
抗腫瘍性マクロライド FD-891 及びその類縁体合成と構造活性相関研究
○板垣 友宏[1], 川又 綾乃[1], 叶 直樹[1], 岩渕 好治[1]（[1]東北大院薬）

28T-am07S ◷10:12
ベンゾフロピラゾール骨格をもつ新規 HIF-1 阻害剤の開発研究
○稲葉 恵[1], 峯岸 秀充[2], 布施 新一郎[1], 中村 浩之[1]（[1]東工大資源研, [2]学習院大理）

28T-am08 ◷10:24
ベンゾイルアデニン骨格を有する新規 BRD4 阻害剤の創製
○雨宮 聖花[1], 境 太希[1], 橋本 祐一[1], 山口 卓男[1], 谷内出 友美[1]（[1]東大分生研）

28T-am09 ◷10:36
ベンゾチオフェンフラボノイド誘導体の抗腫瘍活性と構造活性相関
○谷口 由花子[1], 釣本 浩行[1], 斎藤 洋平[1], 後藤 益生[2], 後藤（中川）享子[1,2]（[1]金沢大院医薬保, [2]ノースカロライナ大）

構造活性相関③
岩村 樹憲（松山大薬）

28T-am10 ◷10:48
アミロイドβを標的とした凝集抑制活性を有するチアゾロン誘導体の合成研究
○大里 和弘[1], 杉田 智美[1], 松岡 茉由[1], 中臺 真穂[1], 上森 理弘[1], 横江 弘雅[1], 高橋 万紀[1], 津吹 政可[1]（[1]星薬大）

28T-am11S ◷11:00
アミロイドβの配列構造に基づいて設計した非ペプチド性凝集阻害分子の合成
新谷 卓士[1], ○城野 柳人[1], 相馬 洋平[1,2], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]科学技術振興機構 ERATO）

28T-am12S ◷11:12
ロスマリン酸誘導体の構造活性相関に基づくアミロイドβ凝集阻害機構の解析
○田口 莉帆[1], 高橋 倫人[1], 畑山 晃輝[1], 橋 友理香[2], 関 千草[1], 中野 博人[1], 徳樂 清孝[1], 上井 幸司[1]（[1]室蘭工大院工, [2]信州大機器分析支援セ）

28T-am13 ◷11:24
骨吸収抑制作用を示すデストラキシン B を基盤とした構造活性相関研究
○吉田 将人[1], 佐藤 寛[1,2], 村瀬 隼人[3], 中川 大[3], 土井 隆行[1]（[1]東北大院薬, [2]田辺三菱製薬, [3]中部大応用生物）

28T-am14 ◷11:36
マトリン型アルカロイドの構造活性相関 Part 26; 光学活性な 3-Phenylpiperidine 誘導体の合成と抗侵害作用
○美濃又 大空[1], 寺本 寛明[1], 富田 祐馬[1], 佐々木 秀[1], 山内 貴靖[1], 東山 公男[1]（[1]星薬大•医薬研）

3 月 28 日（月） 午後
T 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 419

構造活性相関④
藤田 美歌子（熊本大院薬）

28T-pm01S
⏲13:15
アセトゲニンチオフェン誘導体の収束的合成法の開発と THF 環部位の立体異性体の活性評価
○松本 卓也[1], 小島 直人[1], 大槻 一文[2], 岩崎 宏樹[1], 山下 正行[1]（[1]京都薬大, [2]阪大院薬）

28T-pm02
⏲13:27
カルボラン含有グリセロール誘導体の抗アンドロゲン活性
○皆瀬 麻子[1], 太田 公規[1], 小田 彰史[2,3], 遠藤 泰之[1]（[1]東北薬大, [2]金沢大院医薬保, [3]阪大蛋白研）

28T-pm03S
⏲13:39
Hippo シグナル伝達系に関与する転写共役因子 TAZ の活性促進物質の開発研究
○デリホマル アニワル[1,2], 伊藤 茂[1], 中川 健太郎[2], 楊 宇楊[2], 湯浅 磨里[1], 小高 愛未[2], 畑 裕[2], 影近 弘之[1]（[1]医科歯科大•生材研, [2]医科歯科大院•医歯学総合）

28T-pm04
⏲13:51
マイオスタチン阻害ペプチドの N 末端トリプトファン残基に着目した構造活性相関研究
○佐賀 裕介[1], 高山 健太郎[1], 三野 友作[1], 中村 明里[1], 淺利 知[1], 田口 晃弘[1], 薬師寺 文華[1], 林 良雄[1]（[1]東京薬大薬）

その他（有機化学）①
菅原 章公（北里生命科学研）

28T-pm05
⏲14:03
デンドロアミド A アナログの合成研究: *tert*-ブタンスルフィニルケトイミンの還元を用いたキラルアミノ酸ユニットのジアステレオ選択的合成
○曲田 拓司[1], 風呂川 文[1], 大供 慶明[1], 竹内 一永[1], 長野 来夢[1], 林 麻実奈[1], 広川 美視[1], 前崎 直容[1]（[1]大阪大谷大薬）

28T-pm06S
⏲14:15
ポリアクリルアミドを担体とする親水性固定化脱水縮合剤の開発
○夏 俊卿[1], 山田 耕平[1], 国嶋 崇隆[1]（[1]金沢大院医薬保）

28T-pm07
⏲14:27
Weinreb アミド基を利用する 4,6-無置換 2-アリール-5-アシルジヒドロピリミジン誘導体の収束的合成
○西村 良夫[1], 長 秀連[2]（[1]安田女大薬, [2]東北大院薬）

28T-pm08S
⏲14:39
キノンモノアセタールを利用するフェノールクロスカップリング体の選択的合成
土肥 寿文[1], ○坪島 昂平[1], 高室 ひと穂[1], 上田中 徹[2], 北 泰行[2]（[1]立命館大薬, [2]立命館大総研）

28T-pm09S
⏲14:51
環状 pybox 化合物の合成
○日生下 哲一郎[1], 駒川 晋輔[1], 川幡 正俊[1], 山口 健太郎[1]（[1]徳島文理大香川薬）

28T-pm10S
⏲15:03
多環式ベンザインの環化付加反応による新規ヘリセン様分子の合成
井川 貴詞[1], ○福元 豊[1], 村上 智成[1], 高木 晃[1], 青山 浩[1], 山本 雄大[2], 常盤 広明[2,3], 赤井 周司[1]（[1]阪大院薬, [2]立教大理, [3]立教大未来分子研究セ）

その他（有機化学）②
相馬 洋平（東大院薬）

28T-pm11
⏲15:15
新規赤色蛍光標識セラミドプローブの合成研究
○王 亜賓[1], 楊井 理信[1], 橋本 直宏[1], 中村 浩之[1], 村山 俊彦[1], 西田 篤司[1]（[1]千葉大院薬）

28T-pm12S
⏲15:27
不斉マンニッヒ反応を利用した光学活性 β-アミノ酸誘導体のフロー合成法の開発
吉田 将人[1], ○梅田 晃司[1], 土井 隆行[1]（[1]東北大院薬）

28T-pm13S
⏲15:39
ペプチド結合模倣体を指向したクロロアルケン型ジペプチドイソスターの開発
○小早川 拓也[1], 玉村 啓和[1]（[1]東京医歯大•生材研）

28T-pm14S
⏲15:51
チオエステル等価体としての *N*-sulfanylethylcoumarinylamide (SECmide) の開発及びペプチド合成への応用
江藤 三弘[1], ○森本 恭平[1], 辻 耕平[1], 猪熊 翼[1], 重永 章[1,2], 大髙 章[1]（[1]徳島大院薬, [2]JSTさきがけ）

28T-pm15S
⏲16:03
HIV-1 カプシドタンパク質を基にした阻害ペプチドの創製
○金子 萌美[1], 水口 貴章[1], 松本 大地[1], 谷田部 夏香[1], 大橋 南美[1], 村上 努[2], 野村 渉[1], 玉村 啓和[1]（[1]東京医歯大•生材研, [2]国立感染研•エイズ研セ）

28T-pm16S
⏲16:15
共有結合架橋型 ZIP タグ-プローブシステムの開発
○斉藤 歩[1], 野村 渉[1], 大橋 南美[1], 蓑 友明[1], 玉村 啓和[1]（[1]東京医歯大•生材研）

薬理・臨床
二宮 清文（近畿大薬）

28T-pm17S
⏲16:27
頭頸部扁平上皮癌の CD44 過剰発現は細胞周期 G2/M 期の DNA 修復シグナル経路による mitotic catastrophe に抵抗する
○村上 浩一[1], 本木 雅大[1], 大越 絵実加[1], 梅村 直己[2], 上田 條二[1]（[1]青森大薬, [2]朝日大歯）

28T-pm18
⏲16:39
アトピー性皮膚炎マウス IgE 抗体及びサイトカインの産生に対するトマトサポニン，esculeoside B の効果
○周 建融[1], 浦田 純[1], 白石 卓也[1], 田中 千晶[1], 藤原 章雄[2], 野原 稔弘[1], 村上 光太郎[1], 横溝 和美[1]（[1]崇城大薬, [2]熊本大院医）

28T-pm19
⏲16:51
アシル鎖長の異なる paradol 誘導体の抗肥満効果と薬物動態
○長田（赤穂）菜美[1], 渡瀬 大輔[1], 楠田 真理子[1], 松永 和久[1], 加留部 善晴[1], 高田 二郎[1]（[1]福岡大薬）

28T-pm20S
⏲17:03
L-シトルリンの摂食抑制を介した抗肥満効果
○工藤 麻耶[1], 吉富 久恵[1], 渡邉 綾子[1], 勝呂 栞[2], 山岸 淑恵[2], 高 明[1]（[1]武庫川女大薬, [2]プロテインケミカル）

28T-pm21
⏲17:15
The renoprotective effects of Safflower seeds in cisplatin-induced nephrotoxicity
○Chan Hum PARK[1], Takako YOKOZAWA[2], Young Sup AHN[1], Yu Su SHIN[1]（[1]National Institute of Horticultural and Herbal Science, Rural Development Administration, [2]Graduate School of Science and Engineering for Research, University of Toyama）

3 月 28 日（月） 午前
U 会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 511+512

反応機構①
吉村 智之（金沢大院医薬保）

28U-am01S
⏲9:00
CpRu/Cl-Naph-PyCOOH 触媒を用いた脱水型不斉アリル化における反応経路
○鈴木 悠介[1], 田中 慎二[2], 北村 雅人[1]（[1]名大院創薬, [2]名大物質国際研）

28U-am02
⏲9:12
新規 PNN 系 3 座配位子 BINAN-Py-PPh2 の Ru 錯体を用いるケトンの触媒的不斉水素化の機構
○中根 智志[1], 山村 知也[2], 田中 慎二[3], 北村 雅人[1]（[1]名大院創薬科学, [2]名大院理, [3]名大物質科学国際研究センター）

28U-am03
⏲9:24
亜酸化窒素の還元とカップルする金属ポルフィリン触媒アルケン二量化反応
齋藤 俊輔[1], 大竹 廣雄[2], 梅澤 直樹[1], 加藤 信樹[1], 廣部 雅昭[2], ○樋口 恒彦[1]（[1]名市大院薬, [2]東大院薬）

28U-am04
⏲9:36
ビシクロ系における最高被占分子軌道の幾何学的依存：ビシクロオレフィンの反応面立体選択性の起源
○辻 一徳[1]（[1]分子機能研）

反応機構②
山田 健一（京大院薬）

28U-am05S ⏲9:48 sp2-窒素上での求核置換反応による複素環構築反応の研究
〇寧 桜唐[1], 福田 朋也[1], 尾谷 優子[1], 川幡 正俊[2], 山口 健太郎[2], 大和田 智彦[1]（[1]東大院薬, [2]徳島文理大香川薬）

28U-am06S ⏲10:00 リン原子への隣接基関与によるリン酸トリエステルの P-O 結合開裂反応と新たな求電子種発生法への応用
〇澄田 明成[1], 尾谷 優子[1], 大和田 智彦[1]（[1]東大院薬）

28U-am07S ⏲10:12 無保護グルコースを用いる β-選択的グリコシル化法の開発および反応機構解析
竹内 裕紀[1], 藤森 悠介[1], 〇永石 優[1], 芝山 啓允[1], 上田 善弘[1], 古田 巧[1], 川端 猛夫[1]（[1]京大化研）

28U-am08S ⏲10:24 アミノ酸誘導体から生じる C-N 軸性不斉エノラートの長寿命化現象
〇笠松 幸司[1], 木下 智彦[1], 吉村 智之[1], 川端 猛夫[1]（[1]京大化研）

28U-am09S ⏲10:36 不斉記憶型分子内アルキル化における窒素置換基効果
〇大津寄 悠[1], 松田 誠司[1], 川上 晋平[1], 吉村 智之[1], 尾谷 優子[2], 谷 紀彦[2], 大和田 智彦[2], 川端 猛夫[1]（[1]京大化研, [2]東大院薬）

反応機構③
尾谷 優子（東大院薬）

28U-am10S ⏲10:48 8-フェニルメンチル基による立体選択性発現に π stacking は本当に重要なのか？
〇藤原 慎一[1], 山岡 庸介[1], 高須 清誠[1], 山田 健一[1]（[1]京大院薬）

28U-am11 ⏲11:00 アゾベンゼンを基盤とする刺激応答性協同機能酸触媒の反応機構解析
〇大橋 賢[1], 山口 令[2], 栗原 清二[2], 今堀 龍志[1]（[1]東理大院総化, [2]熊大院自然）

28U-am12 ⏲11:12 Sch210972 炭素骨格構築における[4+2]環化反応のメカニズム解明
〇佐々 侑寿香[1], 山本 剛[1], 佐藤 道大[2], 野口 博司[1], Yi TANG[2], 渡辺 賢二[1]（[1]静岡県大薬, [2]UCLA）

28U-am13 ⏲11:24 Chaetoglobosin A 炭素骨格構築における環化付加反応を触媒する酵素の精密機能解析
〇大橋 雅生[1], 山本 剛[1], 恒松 雄太[1], 野口 博司[1], 渡辺 賢二[1]（[1]静岡県大薬）

28U-am14 ⏲11:36 Pseurotin 類生合成におけるスピロ環形成機構の解明
〇恒松 雄太[1], 野口 博司[1], Yi TANG[2], 渡辺 賢二[1]（[1]静岡県大薬, [2]カリフォルニア大ロサンゼルス校）

---

3 月 28 日（月） 午後
U 会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 511+512

構造と物性①
高橋 秀依（帝京大薬）

28U-pm01S ⏲13:15 1,3a,6a-トリアザペンタレンナノワイヤーの合成研究
〇伊藤 雅美[1], 米良 茜[1], 中山 淳[1], 難波 康祐[1]（[1]徳島大薬）

28U-pm02S ⏲13:27 新規蛍光分子 1,3a,6a-Triazapentalene 類の単分子白色発光への展開
〇西尾 賢[1], 中山 淳[1], 難波 康介[1]（[1]徳島大薬）

28U-pm03 ⏲13:39 π 電子を拡張したトリフルオロエトキシフタロシアニン類の合成とソルバトクロミズムについての考察
〇徳永 恵津子[1], 森 悟[1], 辻 享兵[1], 小川 直也[1], 秋山 秀彦[2], 柴田 哲男[1]（[1]名工大院工, [2]藤田保大医療）

28U-pm04S ⏲13:51 ラダー型オリゴナフトフランの合成と機能
〇太田 芳裕[1], 吉近 匠生[1], 辻 泰樹[1], 倉持 幸司[1], 椿 一典[1]（[1]京府大院生命環境）

28U-pm05 ⏲14:03 水素置換基を持つトリアミノシクロプロペニウム誘導体の合成、物性、生理活性物質としての利用可能性
〇三代 憲司[1,2], Fanghao HU[2], Daniel PALEY[2], Wei MIN[2], Tristan LAMBERT[2]（[1]金沢大院医薬保, [2]コロンビア大化学）

構造と物性②
生長 幸之助（東大院薬）

28U-pm06S ⏲14:15 側鎖修飾した環状 α,α-ジ置換アミノ酸よりなるペプチドの二次構造
〇江藤 諒[1], 大庭 誠[1], 上田 篤志[1], 土井 光暢[2], 宇久 翼[1], 田中 正一[1]（[1]長崎大院医歯薬, [2]大阪薬大）

28U-pm07S ⏲14:27 塩基性官能基を有する五員環状ジ置換アミノ酸を利用した膜透過性ペプチドの開発
〇加藤 巧馬[1], 大庭 誠[1], 田中 正一[1]（[1]長崎大院医歯薬）

28U-pm08 ⏲14:39 DL 型オリゴペプチドの構造特性を利用したペプチド[2]カテナンの合成と構造解析
宇留野 義治[1], 〇織田 拓也[1], Valerie ALEZRA[1], 東野 育代[1], 上田 善弘[1], 古田 巧[1], 川端 猛夫[1]（[1]京大院薬）

28U-pm09 ⏲14:51 橋頭位置換二環性プロリン誘導体のヘテロペプチドオリゴマーの構造解析
〇ザイ ルーハン[1], オカンポ ディエゴ[1], 王 思遠[1,2], 尾谷 優子[1], 大和田 智彦[1]（[1]東大院薬, [2]乙卯研究所）

28U-pm10 ⏲15:03 アルカリ加水分解に対する二環性 β プロリンアミドの安定性
〇Ocampo DIEGO[1], ザイ ルーハン[1], 王 思遠[1,2], 尾谷 優子[1], 川幡 正俊[3], 山口 健太郎[3], 大和田 智彦[1]（[1]東大院薬, [2]乙卯研究所, [3]徳島文理大香川薬）

28U-pm11S ⏲15:15 環境応答型二次構造変化を利用した細胞膜高透過性ペプチドの開発
〇山下 博子[1,2], 出水 庸介[2], 加藤 巧馬[3], 大岡 伸通[2], 三澤 隆史[2], 服部 隆行[2], 田中 正一[3], 内藤 幹彦[2], 大庭 誠[3], 栗原 正明[1,2]（[1]東工大院生命理工, [2]国立衛研, [3]長崎大院医歯薬）

構造と物性③
岡本 巌（昭和薬大）

28U-pm12 ⏲15:27 カリックス[4]チアクラウン類の反応条件の検討と水銀イオン(II)に対する錯形成能
〇橋本 悠[1], 瀧本 竜哉[1], 井上 元[1], 佐々木 秀明[1]（[1]神戸学院大薬）

28U-pm13S ⏲15:39 二段階に大きく色調変化するローダミン縮合型色素の設計と合成
〇白崎 良尚[1], 岡本 悠汰[1], 村中 厚哉[2], 神野 伸一郎[2,3], 澤田 大介[2,3], 内山 真伸[1,2]（[1]東大院薬, [2]理研, [3]岡山大院医歯薬）

28U-pm14S ⏲15:51 ビス（ペルフルオロアルキルスルホニル）メチル基をもつ強酸性炭素酸の新しい合成法の開発
〇髙橋 流太[1], 矢内 光[1], 松本 隆司[1]（[1]東京薬大薬）

28U-pm15S ⏲16:03 アミノベンゾピラノキサンテン系（ABPX）色素のソルバトフルオロクロミズムと新たな光機能の創出
〇谷岡 卓[1,2], 神野 伸一郎[1,2], 村中 厚哉[2], 大山 陽介[3], 白崎 良尚[4], 内山 真伸[2,4], 榎本 秀一[1,2], 澤田 大介[1,2]（[1]岡山大院医歯薬, [2]理研, [3]広島大院工, [4]東大院薬）

28U-pm16 ⏲16:15 アミン部に環状構造を有するアミノベンゾピラノキサンテン系（ABPX）色素の効率的な合成法の開発
〇吹野 なつみ[1], 神野 伸一郎[1,2], 澤田 大介[1,2]（[1]岡山大院医歯薬, [2]理研）

構造と物性④
椿 一典（京都府大院生命環境科学）

28U-pm17S ⏲16:27 近赤外光を強く吸収する 20π 反芳香族性ベンジフタロシアニンの開発
〇柳 俊佑[1], 鳥海 尚之[1], 村中 厚哉[2], 内山 真伸[1,2]（[1]東大院薬, [2]理研）

28U-pm18S
◷16:39
カルバゾール *N*-ベンゾイル誘導体の *E*/*Z* 比に対する置換基の影響
〇嘉山 奨[1], 谷 紀彦[2], 高橋 由佳[1], 若松 真太朗[1], 田畑 英嗣[1], 忍足 鉄太[1], 夏苅 英昭[1], 高橋 秀依[1] ([1]帝京大薬, [2]帝京平成大薬)

28U-pm19
◷16:51
タンパク質 S-トランスニトロソ化反応解析のためのモデル反応の開発
〇猪股 悟[1], フィルマン [1], 尾谷 優子[1], 大和田 智彦[1] ([1]東大院薬)

28U-pm20
◷17:03
ヘリカルプロモーター導入によるオリゴアルギニンの構造制御と膜透過能への効果
〇三澤 隆史[1], 山下 博子[1,2], 加藤 巧馬[3], 服部 隆行[1], 大庭 誠[3], 田中 正一[3], 内藤 幹彦[1], 出水 庸介[1], 栗原 正明[1,2] ([1]国立医薬品食品衛生研究所, [2]東京工業大院生命理工, [3]長崎大院医歯薬)

28U-pm21
◷17:15
プロリン型人工アミノ酸ペプチドの規則構造化における置換基効果の計算科学的検討
〇尾谷 優子[1], 王 思遠[1,2], 渡邉 恵[3], 北尾 彰朗[4], 大和田 智彦[1] ([1]東大院薬, [2]乙卯研究所, [3]東北大院工, [4]東大分生研)

3 月 29 日（火） 午前
K 会場　パシフィコ横浜　会議センター　3F　313+314

全合成①
植田 浩史（東北大院薬）

29K-am01S
◷9:00
(–)-Allosamizoline の不斉全合成
〇村元 理佐[1], Tanachote RUENGSATRA[1], 濱田 康正[1], 根本 哲宏[1] ([1]千葉大院薬)

29K-am02S
◷9:12
Dragmacidin E の合成研究
〇井上 直也[1], 仲野 駿一[1], 濱田 康正[1], 根本 哲宏[1] ([1]千葉大院薬)

29K-am03S
◷9:24
Nagelamide K の全合成研究
〇加藤 光貴[1], 藤本 夏月[2], 中山 淳[1], 谷野 圭持[3], 難波 康祐[1] ([1]徳島大薬, [2]北大院総化, [3]北大院理)

29K-am04S
◷9:36
Calyciphylline G の全合成研究
〇坂本 光[1], 大澤 歩[1,2], 中山 淳[1], 難波 康祐[1] ([1]徳島大院薬, [2]北大院総化)

29K-am05S
◷9:48
テロメラーゼ阻害物質 UCS1025A の新規安定型類縁体の合成
〇佐野 竜太[1], 小菅 亮[1], 坪郷 哲[1,2], 内呂 拓実[1,2] ([1]東京理大薬, [2]東京理大戦略的物理製剤学研セ)

全合成②
占部 大介（東大院薬）

29K-am06S
◷10:00
TAN1251C の合成研究
〇新宅 彩也加[1], 長坂 洋祐[1], 松村 幸亮[1], 升田 明孝[1], 稲井 誠[1], 浅川 倫宏[1], 濱島 義隆[1], 江木 正浩[1], 菅 敏幸[1] ([1]静岡県大薬)

29K-am07
◷10:12
ゼストプロキサミン A の合成研究
〇河辺 佑介[1], 福田 優亮[1], 稲井 誠[1], 浅川 倫宏[1], 江木 正浩[1], 菅 敏幸[1] ([1]静岡県大薬)

29K-am08S
◷10:24
(+)-Chetomin の合成研究
〇袴田 容章[1], 植田 浩史[1], 徳山 英利[1] ([1]東北大院薬)

29K-am09S
◷10:36
Stenine 類の合成研究
佐藤 敬直[1], 〇飯村 健太郎[1], 植田 浩史[1], 徳山 英利[1] ([1]東北大院薬)

3 月 29 日（火） 午後
K 会場　パシフィコ横浜　会議センター　3F　313+314

全合成③
平井 剛（理研）

29K-pm01S
◷13:15
オキシムスルホナートの新規環拡大反応の開発とその応用
中沢 佑起[1], 〇今泉 拓[1], 岡野 健太郎[1], 坂田 樹理[1], 徳山 英利[1] ([1]東北大院薬)

29K-pm02S
◷13:27
タンデムラジカル環化反応を基軸としたハリクロニン A の合成研究
〇小嶺 敬太[1], 保坂 拓[1], 山下 裕貴[1], 石原 淳[1], 畑山 範[1] ([1]長崎大院医歯薬)

29K-pm03S
◷13:39
ツガシン cmc-A の合成研究
〇松本 萌[1], 岩崎 瞳[1], 富澤 慧[1], 西丸 達也[1], 石原 淳[1], Jacques EUSTACHE[2], 畑山 範[1] ([1]長崎大院医歯薬, [2]オート•アルザス大ミュールーズ国立高等化学院)

29K-pm04S
◷13:51
多置換キノリン *N*-オキシド合成法の開発および Aurachin アルカロイド合成への応用
〇服部 治彦[1], 横島 聡[1], 福山 透[1] ([1]名大院創薬)

29K-pm05
◷14:03
蛍光性アルカロイドアマラステリン A の合成研究
〇山根 裕貴[1], 原田 研一[1], 久保 美和[1], 大崎 愛弓[2], 福山 愛保[1] ([1]徳島文理大薬, [2]日大文理)

全合成④
稲井 誠（静岡県大薬）

29K-pm06S
◷14:15
Palau'amine の第二世代合成研究
〇大橋 栄作[1], 竹内 公平[1,2], 中山 淳[1], 谷野 圭持[3], 難波 康祐[1] ([1]徳島大薬, [2]北大院総化, [3]北大院理)

29K-pm07
◷14:27
Turkiyenine の全合成研究（2）
〇小林 久剛[1], 笹野 裕介[1], 叶 直樹[1], 岩渕 好治[1] ([1]東北大院薬)

29K-pm08S
◷14:39
がん細胞遊走阻害活性天然物 fusarisetin A の合成研究
〇高山 亜紀[1], 叶 直樹[1], 岩渕 好治[1] ([1]東北大院薬)

29K-pm09
◷14:51
レパジン B の合成研究
〇岩崎 浩太郎[1], 奥秋 佑太[1], 佐々木 誠[1] ([1]東北大院生命)

29K-pm10
◷15:03
Hinckdentine A の不斉全合成
〇下川 淳[1], 道木 和也[1], 小野 裕之[2], 福山 透[1], 北村 雅人[1] ([1]名大院創薬, [2]東大院薬)

全合成⑤
横島 聡（名大院創薬科学）

29K-pm11S
◷15:15
Akuammiline 型インドールアルカロイドの全合成研究
〇高梨 憲幸[1], 小暮 紀行[1], 北島 満里子[1], 髙山 廣光[1] ([1]千葉大院薬)

29K-pm12S
◷15:27
タラチサミンの合成研究
〇鎌倉 大貴[1], 轟木 秀憲[1], 占部 大介[1], 井上 将行[1] ([1]東大院薬)

29K-pm13S
◷15:39
NF-κB 阻害作用を有する Embellicine A の不斉全合成研究
〇桑野 友紀[1], 菅田 隼斗[1], 羽野 里奈子[1], 内呂 拓実[1,2], 坪郷 哲[1,2] ([1]東京理大薬, [2]東京理大戦略的物理製剤学研究基盤センター)

29K-pm14
◷15:51
抗超多剤耐性結核化合物 CPZEN-45 の合成研究
〇竹内 倫文[1], 渡辺 匠[1], 柴崎 正勝[1] ([1]微化研)

29K-pm15S
◷16:03
五環性モノテルペノイドインドールアルカロイド Andranginine の不斉全合成研究
〇通山 紫乃[1], 三森 雄二[1], 小暮 紀行[1], 北島 満里子[1], 高山 廣光[1] ([1]千葉大院薬)

全合成⑥
田村 修（昭和薬大）

29K-pm16S ◷16:15 ジヒドロピラン骨格を有する抗酸化物質の合成研究
○森 美彩[1], 永田 和弘[1], 野田 あおい[1], 金光 卓也[1], 宮崎 倫子[1], 伊藤 喬[1]（[1]昭和大薬）

29K-pm17S ◷16:27 レニエラマイシン系海洋天然物の多様性のある合成
○佐藤 充浩[1], 横屋 正志[1], 齋藤 直樹[1]（[1]明治薬大）

29K-pm18S ◷16:39 ラジカル-極性交差型反応を鍵とした C19 ジテルペンアルカロイドの合成研究
○皆川 功亮[1], 占部 大介[1], 井上 将行[1]（[1]東大院薬）

29K-pm19S ◷16:51 ハークリン B の合成研究
○内田 貴久[1], 横島 聡[1], 福山 透[1]（[1]名大院創薬）

29K-pm20 ◷17:03 Embellicine A の合成を志向した新規カスケード型 IMDA 反応の開発
○菅田 隼斗[1], 桑野 友紀[1], 青木 翔太郎[1], 坪郷 哲[1,2], 内呂 拓実[1,2]（[1]東京理大薬, [2]東京理大総合研究機構戦略的物理製剤学研究基盤センター）

3 月 29 日（火） 午前
L 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 411

全合成⑦
吉田 将人（東北大院薬）

29L-am01S ◷9:00 Kansuinine A の全合成研究
○林 月穂[1], 大澤 歩[2], 中山 淳[1], 谷野 圭持[3], 難波 康祐[1]（[1]徳島大薬, [2]北大院総化, [3]北大院理）

29L-am02S ◷9:12 18*E*-リングビアロシド C の合成研究
○鈴木 拓郎[1], 棚田 文也[1], 伊藤 元気[1], 穴田 仁洋[1], 松永 茂樹[1,2], 橋本 俊一[1]（[1]北大院薬, [2]ACT-C, JST）

29L-am03S ◷9:24 TAK1 阻害剤 LL-Z1640-2 の不斉全合成
○中山 慎一朗[1], 中山 淳[1], 難波 康祐[1]（[1]徳島大薬）

29L-am04 ◷9:36 ソホラフラバノン H の合成研究
○村松 義浩[1], 村上 はる香[1], 石川 諒[1], 塚口 雄太[1], 飛坐 愛輝[1], 浅川 倫宏[1], 稲井 誠[1], 江木 正浩[1], 菅 敏幸[1]（[1]静岡県大薬）

29L-am05S ◷9:48 立体選択的ラジカル付加反応を鍵とするタキソールの合成研究
○的場 博亮[1], 長友 優典[1], 井上 将行[1]（[1]東大院薬）

全合成⑧
谷口 剛史（金沢大院医薬保）

29L-am06S ◷10:00 分子間ラジカル付加反応を鍵とするタキサンジテルペンの収束的合成研究
○吉岡 駿[1], 長友 優典[1], 井上 将行[1]（[1]東大院薬）

29L-am07 ◷10:12 スピロクロマノンを経由する Blennolide C の合成研究
○安達 栞菜[1], 長谷川 将[1], 片川 和明[1], 熊本 卓哉[1]（[1]武蔵野大薬）

29L-am08S ◷10:24 クラジュニセリン D の全合成研究
○増田 圭佑[1], 長友 優典[1], 井上 将行[1]（[1]東大院薬）

29L-am09S ◷10:36 高酸化度アガロフラン型セスキテルペンの全合成研究
○藤澤 博基[1], 占部 大介[1], 井上 将行[1]（[1]東大院薬）

3 月 29 日（火） 午後
L 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 411

全合成⑨
内呂 拓実（東京理大薬）

29L-pm01S ◷13:15 三環性ノルネオリグナン catunaregin の不斉全合成
○曳地 琢摩[1], 阿部 秀樹[1], 小林 豊晴[1], 伊藤 久央[1]（[1]東京薬大生命科学）

29L-pm02S ◷13:27 Gymnocin-B の合成研究―GHI フラグメントの合成―
○尾本 弓実[1], 波多野 良紀[1], 加藤 翔大[1], 西脇 萌里[1], 坂井 健男[1], 森 裕二[1]（[1]名城大薬）

29L-pm03S ◷13:39 (–)-Fumimycin の全合成研究
○西田 佳祐[1], 澁田 拓郎[1], 小林 久剛[1], 笹野 裕介[1], 叶 直樹[1], 岩渕 好治[1]（[1]東北大院薬）

29L-pm04S ◷13:51 酸触媒スピロシクロプロパン開裂―環化反応を用いるベンゾフラン骨格構築法の開発：cuspidan B 合成への応用
南部 寿則[1], ○小野 直樹[1], 矢倉 隆之[1]（[1]富山大院薬）

29L-pm05 ◷14:03 ヒドロキサム酸型シデロフォア活性物質エリスロケリンの合成
○中尾 允泰[1], 辻 駿佑[1], 佐野 茂樹[1]（[1]徳島大院薬）

その他の合成
庄司 満（慶應大薬）

29L-pm06S ◷14:15 抗マラリア活性を有する Puberulic acid 類の多様性指向型合成と構造活性相関研究
○千成 恒[1], 廣瀬 友靖[1,2], 岩月 正人[2], 石山 亜紀[2], 乙黒 一彦[2], 大村 智[2], 砂塚 敏明[1,2]（[1]北里大院感染制御, [2]北里大生命研）

29L-pm07S ◷14:27 *In situ* click chemistry を利用した D-アミノ酸酸化酵素阻害剤の探索研究
○戸口 翔平[1], 廣瀬 友靖[1,2], 頼田 和子[3], 福井 清[3], Sharpless K. BARRY[4], 大村 智[2], 砂塚 敏明[1,2]（[1]北里大院感染制御, [2]北里大生命研, [3]徳島大疾患酵素研, [4]Scripps研）

29L-pm08 ◷14:39 Pericosine E 類縁体の合成とグルコシダーゼ阻害活性評価
○水木 晃治[1], 芝野 真喜雄[1], 米山 弘樹[1], 春沢 信哉[1], 宇佐美 吉英[1]（[1]大阪薬大）

29L-pm09S ◷14:51 機能解明を指向した植物成長因子の合成研究
○藤井 涼介[1], 稲井 誠[1], 浅川 倫宏[1], 江木 正浩[1], 崔 宰熏[2], 河岸 洋和[2], 菅 敏幸[1]（[1]静岡県大薬, [2]静大農）

核酸①
谷口 陽祐（九大院薬）

29L-pm10 ◷15:03 ホスホジエステラーゼ抵抗性を有する 4'-チオ化学修飾型環状ジヌクレオチドの合成と評価
○白石 和人[1], 村上 圭史[2], 田良島 典子[1], 古川 和寛[1], 三宅 洋一郎[2], 南川 典昭[1]（[1]徳島大薬, [2]徳島大歯）

29L-pm11S ◷15:15 抗 RNA ウイルス活性の増強を目指したヌクレオシドリン酸プロドラッグの合成
○岡野 裕貴[1], 伊藤 早織[2], 渡部 匡史[2], 田良島 典子[1], 日紫喜 隆行[3], 加藤 文博[4], 藤室 雅弘[2], 南川 典昭[1]（[1]徳島大薬, [2]京大薬, [3]都医学研, [4]国立感染研）

29L-pm12S ◷15:27 新規蛍光性ヌクレオシドの合成と性質解析
○谷川 真理[1], 田良島 典子[1], 南川 典昭[1]（[1]徳島大院薬）

29L-pm13S ◷15:39 過酸化水素により塩基対形成能を制御可能なケージド核酸塩基の開発
○森 翔平[1], 森廣 邦彦[1,2], 笠原 勇矢[1,2], 小比賀 聡[1,2]（[1]阪大薬, [2]医薬基盤・健康・栄養研）

29L-pm14 ◷15:51 ピリミジン塩基誘導体の新規環拡大反応
○長屋 優貴[1], 大口 明日基[3], 朝倉 領[2], 喜多村 徳昭[2,3], 北出 幸夫[1,2,3]（[1]岐阜大院連創, [2]岐阜大院工, [3]岐阜大工）

核酸②
小比賀 聡（阪大院薬）

29L-pm15S ◷16:03 iRed を利用した持続的 microRNA 補充法の開発
○上田 夏瑞[1], 田良島 典子[1], 三木 和也[1], 山村 桃子[1], 山﨑 尚志[1], 南川 典昭[1]（[1]徳島大薬）

29L-pm16 ◷16:15 グルコサミン結合型 RNA 分子の生物学的評価
○柴田 綾[1], 溝口 真帆代[1], 喜多村 徳昭[1], 池田 将[1,2], 北出 幸夫[1,2]（[1]岐阜大院工, [2]岐阜大院連合創薬）

29L-pm17 ⏲16:27 強力 RNase L 活性化能を有する抗癌剤ハイブリッド型 2-5A 誘導体の開発
○喜多村 徳昭[1], 鬼頭 誠弥[1], 中島 礼美[1], 田中 克樹[1], 長岡 久美[2], 北出 幸夫[1,2] ([1]岐阜大院工, [2]岐阜大院連合創薬)

29L-pm18S ⏲16:39 芳香族求核置換反応を利用した DNA メチル化酵素阻害剤の創製研究
○笠井 由起子[1], 佐藤 浩輔[1], 市川 聡[1] ([1]北大院薬)

29L-pm19S ⏲16:51 エピジェネティック制御を指向した非環式 *C*-ヌクレオシドの合成と性質
○内海 翔平[1], 佐藤 浩輔[1], 市川 聡[1] ([1]北大院薬)

3 月 29 日（火） 午前
M 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 412

複素環化合物①
井川 貴詞（阪大院薬）

29M-am01S ⏲9:00 3-ヒドロキシイソキサゾール誘導体の新規合成法の開発
○杉田 翔一[1], 上田 昌史[1], 武田 紀彦[1], 宮田 興子[1] ([1]神戸薬大)

29M-am02 ⏲9:12 エナミドの[3,3]-シグマトロピー転位/求核的アリール化反応
武田 紀彦[1], ○里 章平[1], 上田 昌史[1], 宮田 興子[1] ([1]神戸薬大)

29M-am03 ⏲9:24 ハロフロキサンの新規合成法の開発と一酸化窒素ドナーへの応用
○安藤 祥大[1], 髙沢 紗緒里[1], 松原 亮介[1], 林 昌彦[1] ([1]神戸大院理)

29M-am04S ⏲9:36 10-Deacetylbaccatin III の触媒的位置選択的アシル化
柳 正致[1], ○二宮 良[1], 上田 善弘[1], 山田 健[2,3], 砂塚 敏明[2,3], 川端 猛夫[1] ([1]京大化研, [2]北里大院感染制御, [3]北里大院生命研)

29M-am05S ⏲9:48 官能基化された不斉ロジウムカルボキシラート触媒の合成と触媒活性
○陸 文傑[1], Pei XU[1], 古田 巧[1], 川端 猛夫[1] ([1]京大化研)

複素環化合物②
山崎 龍（昭和薬大）

29M-am06S ⏲10:00 ジアゾ化合物の酸化的環化反応による多置換ジヒドロフランの合成
○近藤 秀明[1], 山越 博幸[1], 中村 精一[1] ([1]名市大院薬)

29M-am07S ⏲10:12 トリクロロシリルトリフラートを用いた連続的不斉アルドール反応による多不斉中心の構築
○甲斐 宏祐[1], 小谷 俊介[1,2], 杉浦 正晴[1], 中島 誠[1] ([1]熊本大院薬, [2]熊本大院先導機構)

29M-am08 ⏲10:24 ホスフィンオキシド触媒による不斉アルドール/ビニロガスアルドール反応を利用した 2,3-ジヒドロ-4-ピラノンの不斉合成
小谷 俊介[1,2], ○アリム ネイタンレイ[1], 杉浦 正晴[1], 中島 誠[1] ([1]熊本大院薬, [2]熊本大院先導機構)

29M-am09 ⏲10:36 二核ロジウム(II)カルボキシラート錯体を用いた α-ジアゾエステルの分子内不斉 C-H 挿入反応
○宮澤 拓[1], 南 和志[1], 今井 こずえ[1], 竹田 幸司[1], 穴田 仁洋[1], 松永 茂樹[1,2], 橋本 俊一[1] ([1]北大院薬, [2]ACT-C, JST)

3 月 29 日（火） 午後
M 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 412

ヘテロ原子化合物①
杉本 健士（富山大院薬）

29M-pm01S ⏲13:15 塩化アリールを酸化剤とした複素環置換第二級アルコールの触媒的酸化
○中島 将[1], 佐藤 香菜子[1], 栗山 正巳[1], 尾野村 治[1] ([1]長崎大院医歯薬)

29M-pm02 ⏲13:27 グリセリンの効率的モノリン酸化と光学分割
○林 達人[1], 木下 雄平[1], 栗山 正巳[1], 尾野村 治[1] ([1]長崎大院医歯薬)

29M-pm03 ⏲13:39 置換ペンタフルオロベンゼン C-F 結合切断を伴う芳香族・複素環エーテルのロジウム触媒的フッ素化反応
有澤 美枝子[1], ○谷井 沙織[1], 山口 雅彦[1] ([1]東北大院薬)

29M-pm04 ⏲13:51 ロジウム触媒を用いるジホスフィンジスルフィド P-P 結合交換反応
有澤 美枝子[1], ○山田 朋貴[1], 谷井 沙織[1], 山口 雅彦[1] ([1]東北大院薬)

29M-pm05 ⏲14:03 イオウ単体を用いるロジウム触媒非対称 1,4-ジチイン類の合成
有澤 美枝子[1], ○市川 拓哉[1], 谷井 沙織[1], 山口 雅彦[1] ([1]東北大院薬)

ヘテロ原子化合物②
加川 夏子（千葉大環境健康フィールド科学センター）

29M-pm06S ⏲14:15 メチレンアセタールからブロモホルメートへの変換反応
前川 智弘[1], ○野方 美沙[1], 中村 光[1], 藤岡 弘道[2] ([1]近畿大薬, [2]阪大院薬)

29M-pm07S ⏲14:27 O,P-アセタールを利用した分子内環化と HWE 反応によるイソクロマン誘導体の合成
前川 智弘[1], ○山本 晃平[1], 大竹 和樹[2], 中村 光[1], 藤岡 弘道[2] ([1]近畿大薬, [2]阪大院薬)

29M-pm08S ⏲14:39 *In situ* protection を利用したエノン存在下での不飽和エステルオレフィン部位選択的変換法の開発
○森田 健太[1], 太田 礼伊也[1], 藤岡 弘道[1] ([1]阪大院薬)

29M-pm09S ⏲14:51 キラルリン酸による触媒的求核置換反応を用いるアミノアルコールの速度論的光学分割
○黒田 悠介[1], 原田 慎吾[2], 木山 大樹[1], 大西 亨典[1], 山岡 庸介[1], 高須 清誠[1], 山田 健一[1] ([1]京大院薬, [2]千葉大院薬)

29M-pm10S ⏲15:03 触媒制御による β-アミノアルコール選択的な反応の開発
○李 釗[1], 矢崎 亮[1], 大嶋 孝志[1] ([1]九大院薬)

ヘテロ原子化合物③
日下部 太一（東邦大薬）

29M-pm11S ⏲15:15 酒石酸由来触媒によるジボロンの不斉共役付加反応
○久保山 征宣[1], 石川 和紀[1], 中島 誠[1], 杉浦 正晴[1] ([1]熊本大院薬)

29M-pm12S ⏲15:27 有機分子触媒を用いるアミドの *N*−グリコシル化反応の開発
小林 祐輔[1], ○李 善姫[2], 竹本 佳司[1,2] ([1]京大院薬, [2]京大院総合生存学館)

29M-pm13 ⏲15:39 シアノホスフェートを経るケトンからアルキンへの変換反応
○上村 健司[1], 沼田 雅博[1], 半田 直己[1], 米山 弘樹[1], 宇佐美 吉英[1], 春沢 信哉[1] ([1]大阪薬大)

29M-pm14 ⏲15:51 空気酸化で再生可能なアゾ試薬を用いる触媒的光延反応の改良と反応機構解析
廣瀬 大祐[1], ○谷口 剛史[2], Martin GAZVODA[3], Janez KOSMRLJ[3] ([1]金沢大院自然科学, [2]金沢大院医薬保, [3]リュブリャナ大)

29M-pm15 ⏲16:03 N-H 結合に対する不斉カルベン挿入反応: アミノインダノール型有機触媒の開発
〇齋藤 弘明[1], 林 誠也[1], 内山 武人[1], 三宅 宗晴[1], 宮入 伸一[1] ([1]日本大薬)

ヘテロ原子化合物④
齊藤 亜紀夫（東京農工大院工）

29M-pm16S ⏲16:15 アンチモン側鎖を含むトリアゾール誘導体の合成と酸塩化物との反応
〇山田 瑞希[1], 松村 実生[1], 内田 裕希[1], 斎藤 宏貴[1], 川幡 正俊[2], 山口 健太郎[2], 角澤 直紀[3], 安池 修之[1] ([1]愛知学院大薬, [2]徳島文理大香川薬, [3]北陸大薬)

29M-pm17 ⏲16:27 銅触媒下でトリアリールビスムタンを用いたジアリールセレニド類の合成
〇松村 実生[1], 熊谷 華恵[1], 尾関 創太[1], 柴田 晃希[1], 角澤 直紀[2], 安池 修之[1] ([1]愛知学院大薬, [2]北陸大薬)

29M-pm18 ⏲16:39 高酸化度化合物の合成を指向したラジカル-極性交差型連結反応の開発
〇松井 勇樹[1], 上村 大護[1], 増田 圭佑[1], 長友 優典[1], 井上 将行[1] ([1]東大院薬)

29M-pm19 ⏲16:51 超原子価ジアリール（トリフラート）ブロマン（III）を用いたヨードアルカンの直接的トリフラート化反応：ヨードアルカンの新たな活性化法
〇川角 亮介[1,2], 宮本 和範[1,2], 増本 優衣[1,2], 内山 真伸[1,2] ([1]東大院薬, [2]理研)

29M-pm20 ⏲17:03 ポレニウム種を活用する触媒的芳香族ホウ素化反応
〇木谷 文也[1,2], 今堀 龍志[1], 滝田 良[2,3], 内山 真伸[2,3] ([1]東京理大院総合化学, [2]理研, [3]東大院薬)

---

3 月 29 日（火） 午前
N 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　413

複素環化合物③
大西 英博（北大院薬）

29N-am01S ⏲9:00 触媒的脱水素型クロスカップリングによるアミノ化反応の開発
〇山口 友明[1], 山口 英士[1], 伊藤 彰近[1] ([1]岐阜薬大)

29N-am02 ⏲9:12 光反応によるピロロイソキノリン骨格のタンデム型構築法の開発
〇藤谷 明敏[1], 田中 正則[1], 山口 英士[1], 多田 教浩[1], 伊藤 彰近[1] ([1]岐阜薬大)

29N-am03 ⏲9:24 可視光とヨウ素源を利用した触媒的複素環形成法の開発
〇長澤 圭倫[1], 山口 英士[1], 多田 教浩[1], 伊藤 彰近[1] ([1]岐阜薬大)

29N-am04 ⏲9:36 有機超電子供与剤の反応性評価と新規還元的分子間反応の開発
〇伊藤 峻吾[1], 熊田 佳菜子[1], 根東 義則[1] ([1]東北大院薬)

複素環化合物④
森本 浩之（九大院薬）

29N-am05 ⏲9:48 系内発生アミド塩基による芳香族複素環化合物の触媒的脱プロトン化修飾反応
〇藤井 悠光[1], 熊田 佳菜子[1], 根東 義則[1] ([1]東北大院薬)

29N-am06 ⏲10:00 アンモニウム塩を用いたラジカル的クロスカップリング反応によるビアリール骨格の構築
〇甲斐 佑典[1], Denneval CHARLINE[1], 山田 哲也[1], 熊田 佳菜子[1], 根東 義則[1] ([1]東北大院薬)

29N-am07 ⏲10:12 Catalytic Asymetric α-Addition of α,β-Unsaturated γ-Butyrolactam to Ketimines
〇林 紹全[1], 熊谷 直哉[1], 柴崎 正勝[1] ([1]微化研)

29N-am08 ⏲10:24 7-アザインドリンアミドを用いたダイレクト型触媒的不斉アルドール反応の開発
〇野田 秀俊[1], Karin WEIDNER[1], 松澤 彰信[1], Zhongdong SUN[1], 雨宮 冬樹[1], 熊谷 直哉[1], 柴崎 正勝[1] ([1]微化研)

29N-am09 ⏲10:36 α,β-不飽和 7-アザインドリンアミドの求電子的活性化による不飽和ブチロラクトン類の触媒的不斉ダイレクト型共役付加反応
〇張 明[1], 熊谷 直哉[1], 柴崎 正勝[1] ([1]微化研)

---

3 月 29 日（火） 午後
N 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　413

芳香族化合物①
佐々木 秀（星薬大）

29N-pm01S ⏲13:15 Cp*Co(III)触媒によるアリルアルコールを用いたベンズアミドの C-H アリル化反応
〇文野 優華[1], 鈴木 雄大[2], 吉野 達彦[3,4], 金井 求[2], 松永 茂樹[3,4] ([1]北大薬, [2]東大院薬, [3]北大院薬, [4]ACT-C, JST)

29N-pm02S ⏲13:27 動的速度論的光学分割に基づくクマリン縮環型ヘリセン類の不斉合成
〇上野 祐平[1], 山本 耕介[1], 王子田 彰夫[1], 増田 寿伸[2], 末宗 洋[1], 臼井 一晃[1] ([1]九大院薬, [2]第一薬大)

29N-pm03S ⏲13:39 不均一系触媒による芳香族化合物の酸化的トリフルオロアセトキシ化反応の開発
〇太刀川 祥平[1], 松本 健司[3], 新藤 充[2] ([1]九大院総理工, [2]九大先導研, [3]徳島文理大薬)

29N-pm04 ⏲13:51 不均一系パラジウム触媒を用いた分子内酸化的カップリング反応の開発
〇藤本 茂伸[1], 松本 健司[3], 新藤 充[2] ([1]九大院総理工, [2]九大 先導物質化学研究所, [3]徳島文理大薬)

29N-pm05 ⏲14:03 パラジウム触媒を用いたフェノール誘導体に対する重水素導入法の開発
〇突田 広太郎[1], 栗山 正巳[1], 尾野村 治[1] ([1]長崎大院医歯薬)

芳香族化合物②
荒井 秀（千葉大院薬）

29N-pm06S ⏲14:15 ヨードニウム塩形成を利用したカルボン酸選択的メタルフリーアリール化法
土肥 寿文[1], 〇岡田 佳奈[1], 水野 瀬里奈[1], 住田 康平[1], 小関 大地[1], 北 泰行[2] ([1]立命館大薬, [2]立命館大総研)

29N-pm07S ⏲14:27 新規キラルグアニジン触媒を用いる不斉共役付加反応
山田 健一[1], 〇坪井 裕基[1], 山岡 庸介[1], 高須 清誠[1] ([1]京大院薬)

29N-pm08S ⏲14:39 ギ酸誘導体を CO 源として用いる軸不斉含有ジカルボン酸エステルの効率的合成法の開発
〇星野 史佳[1], 小西 英之[1], 眞鍋 敬[1] ([1]静岡県大薬)

29N-pm09 ⏲14:51 二価パラジウム触媒を用いた多置換 2-ナフタレンアミン合成法の開発
〇塚本 裕一[1], 池田 大志[1], 土井 隆行[1] ([1]東北大院薬)

芳香族化合物③
清水 洋平（東大院薬）

29N-pm10S ⏲15:03 ピリジニウム塩を介する芳香族アルデヒド選択的反応と応用
〇川尻 貴大[1], 相原 真陽[1], 門口 泰也[1], 太田 礼伊也[2], 藤岡 弘道[2], 佐治木 弘尚[1], 澤間 善成[1] ([1]岐阜薬大, [2]阪大院薬)

29N-pm11S ⏲15:15 テレフタルアルデヒドを一酸化炭素源とした Pd/C 触媒的新規エステル化法の開発
服部 倫弘[1], 〇上田 舜[1], 高倉 稜弥[1], 澤間 善成[1], 門口 泰也[1], 佐治木 弘尚[1] ([1]岐阜薬大)

29N-pm12S 酸化/付加環化連続反応によるオクタヒドロフェナントレン骨格構築法の開発
15:27
○陰 未来[1], 髙田 峰辰[1], 山越 博幸[1], 中村 精一[1] ([1]名市大院薬)

29N-pm13 神経変性疾患分子イメージングを目指す TLR4 阻害剤 resatorvid を基盤とする新規 ^{18}F 標識 PET プローブの開発研究
15:39
○Yunnus Budan SHAIKH[1], 奥田 健介[1], 服部 幸三[1], 喜田 達也[2], 土居 久志[2], 尾上 浩隆[2], 平山 祐[1], 永澤 秀子[1] ([1]岐阜薬大, [2]理研)

29N-pm14 エステルおよびその類縁体を基質とした新規ベンゼン環構築法の開発
15:51
○上田 喬介[1], 海原 浩辰[1,2], 横島 聡[1], 福山 透[1] ([1]名大院創薬, [2]東大院薬)

芳香族化合物④
平野 圭一（東大院薬）

29N-pm15S ペリ位置換基―イミノカチオン結合形成における構造要求性の検討
16:03
○福田 朋也[1], 寧 桜唐[1], 尾谷 優子[1], 川幡 正俊[2], 山口 健太郎[2], 大和田 智彦[1] ([1]東大院薬, [2]徳島文理香川薬)

29N-pm16S Aromatic oxy-Cope 転位反応によるキサントンのプレニル化：その特長と反応機構
16:15
○藤本 裕貴[1], 渡部 結[1], 高橋 叶[1], 横島 智[1], 矢内 光[1], 松本 隆司[1] ([1]東京薬大薬)

29N-pm17S 置換ジベンゾシクロオクタジエンの立体選択的合成法
16:27
○柳澤 大輔[1], 井上 亜沙美[1], 坂本 佳代[1], 山口 悟[1], 矢内 光[1], 鈴木 啓介[2], 松本 隆司[1] ([1]東京薬大薬, [2]東工大院理工化学)

29N-pm18S ラクトン架橋の形成を利用した軸不斉ビフェニルの立体選択的合成法
16:39
○鶴田 英利奈[1], 湯山 大輔[1], 杉山 奈々美[1], 山口 悟[1], 矢内 光[1], 鈴木 啓介[2], 松本 隆司[1] ([1]東京薬大薬, [2]東工大院理工化学)

29N-pm19 新規なラジカルトリフルオロメチル化反応の開発
16:51
○佐藤 梓[1], Jianlin HAN[2], 小野 泰蔵[3], Alicja WZOREK[4], Jose Luis ACENA[5], 岡田 みどり[1], Vadim. A. SOLOSHONOK[5,6] ([1]東京女子医大医, [2]南京大, [3]産総研, [4]ヤン・コハノスキ大, [5]バスク大, [6]イケバスク)

---

3 月 29 日（火） 午前
O 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 414

複素環化合物⑤
澤間 善成（岐阜薬大）

29O-am01S 生理活性化合物の Late-Stage C-H Functionalization を指向した酸化的 Heck 反応の開発
9:00
○Amrita DAS[1], 君島 匠[1], 渡辺 賢司[1], 津田 誠[1], 大嶋 孝志[1] ([1]九大院薬)

29O-am02S エインメタセシス/Diels-Alder/酸化の 3 連続ワンポット反応を用いた新規含ケイ素多環式化合物の合成
9:12
○吉岡 祥平[1], 藤居 由基[1], 藤岡 弘道[1], 有澤 光弘[1] ([1]阪大院薬)

29O-am03S 共役付加を利用したナフタレンアセタール構築法の開発
9:24
塚本 裕一[1], ○野村 友美[1], 藤原 広一[1], 花田 祥吾[1], 土井 隆行[1] ([1]東北大院薬)

29O-am04 超原子価ヨウ素とジフェニルジセレニドを用いた分子内エーテル環化反応
9:36
○須玉 夏海[1], 斎藤 有香子[1], 名取 良浩[1], 吉村 祐一[1] ([1]東北薬大)

複素環化合物⑥
小谷 俊介（熊本大院薬）

29O-am05S 無金属ポルフィリン誘導体を用いたクマリン C(3)-H アリール化反応の開発
9:48
○小島 正寛[1], 生長 幸之助[1], 金井 求[1,2] ([1]東大院薬, [2]JST-ERATO)

29O-am06S アルキンに対する触媒的分子内ヒドロアルコキシ化－還元反応の開発
10:00
○阿部 柾律[1], 藤田 将史[1], 澁谷 正俊[1], 山本 芳彦[1] ([1]名大院創薬)

29O-am07S 金触媒を用いた位置選択的環化反応を鍵とする中員環エーテル合成法の開発
10:12
○久保田 美央[1], 斎藤 竜男[1], 内山 真伸[1,2] ([1]東大院薬, [2]理研)

29O-am08 3,5 位に電子吸引性基をもつ α-ピロンの骨格変換反応
10:24
○田中 徹[1], 井上 将綺[1], 田邊 佑季[1], 三浦 拓也[1], Navnath Dnyanoba YADAV[1], 岩﨑 宏樹[1], 小島 直人[1], 小関 稔[1], 山下 正行[1] ([1]京都薬大)

---

3 月 29 日（火） 午後
O 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 414

脂肪族化合物①
片川 和明（武蔵野大薬）

29O-pm01S 多機能性ボロン酸触媒を用いる α,β-不飽和カルボン酸の分子間アザマイケル付加反応の開発
13:15
○葉山 登[1], 東 巧[1], 小林 祐輔[1], 竹本 佳司[1] ([1]京大院薬)

29O-pm02S Tocopherol 誘導体合成を志向した不斉分子内オキサマイケル反応の開発
13:27
○倉本 竜太[1], 葉山 登[1], 小林 祐輔[1], 竹本 佳司[1] ([1]京大院薬)

29O-pm03S 直交型タンデム触媒を用いる *anti*-α,β-ジアミノ酸誘導体の不斉合成法の開発
13:39
○泉 早苗[1], 小林 祐輔[1], 竹本 佳司[1] ([1]京大院薬)

29O-pm04S Lewis 塩基触媒を用いる位置選択的な不斉共役還元反応: ar-ターメロンの短工程不斉合成
13:51
○芦刈 康彦[1], 小谷 俊介[1,2], 中島 誠[1], 杉浦 正晴[1] ([1]熊本大院薬, [2]熊本大院先導機構)

29O-pm05 キラル銅触媒を用いたグリセリン類の不斉モノスルホニル化
14:03
○宮本 圭輔[1], 栗山 正巳[1], 尾野村 治[1] ([1]長崎大院医歯薬)

29O-pm06 N―トシルイナミドとシクロブタノンとの形式的[4+2]環化付加反応の開発
14:15
○葛口 岳生[1], 松尾 淳一[1] ([1]金沢大院医薬保)

脂肪族化合物②
三宅 宗晴（日本大薬）

29O-pm07S アジリジンの触媒的不斉開環反応による α-フルオロ-γ-アミノ酸誘導体の合成
14:27
○深川 聖弥[1], 吉野 達彦[2,3], 穴田 仁洋[2], 松永 茂樹[2,3] ([1]北大薬, [2]北大院薬, [3]ACT-C, JST)

29O-pm08S アンモニアとアリルアルコールの触媒的直接変換反応による一級アリルアミン合成法の開発
14:39
○澁谷 亮三[1], Lu LIN[1], 大嶋 孝志[1] ([1]九大院薬)

29O-pm09S C(sp^3)-H 結合の活性化を経る第 3 級炭素のアルキル化を利用した光学活性 1,1,2-三置換アルキルシクロプロパンの合成
14:51
○竹中 慧[1], 星谷 尚亨[1], 周東 智[2], 上西 潤一[1] ([1]京都薬大, [2]北大院薬)

29O-pm10 アクリル酸エステル類のプラチナ炭素触媒的重水素標識化反応
15:03
澤間 善成[1], ○朴 貴煥[1], 山田 強[1], 門口 泰也[1], 佐治木 弘尚[1] ([1]岐阜薬大)

29O-pm11 ㋓15:15 フタロシアニンを触媒に用いるアルケン類への光トリフルオロメチル化反応の開発
○広村 知也[1], 松崎 浩平[2], 徳永 恵津子[2], 柴田 哲男[2]（[1]名工大, [2]名工大院工）

脂肪族化合物③
矢内 光（東京薬大）

29O-pm12S ㋓15:27 *N*-Boc- および *N*-カルバモイル-2-メタロ-2-シアノピペリジンの求電子置換反応の立体過程
佐々木 道子[1], ○同免 佳澄[1], 琴森 友理[1], 武田 敬[1]（[1]広島大院医歯薬）

29O-pm13S ㋓15:39 カルバニオンをトリガーとするシクロプロパンの開環とその[3＋2]アニュレーション
佐々木 道子[1], ○西尾 卓哉[1], 近藤 泰博[1], 武田 敬[1]（[1]広島大院医歯薬）

29O-pm14S ㋓15:51 アシルシランに対するシアニドイオンのエナンチオ選択的付加を利用するキラル *O*-シリルシアノヒドリンの合成
佐々木 道子[1], ○國貞 雄介[1], 武田 敬[1]（[1]広島大院医歯薬）

29O-pm15S ㋓16:03 BINAP 誘導体を用いた不斉ブロモ環化反応の展開
○長尾 芳大[1], 川戸 勇士[1], 江上 寛通[1], 濱島 義隆[1]（[1]静岡県大薬）

29O-pm16 ㋓16:15 高歪みアルキンの重合
○岡田 侑己[1], 水越 祥英[1], 巳上 幸一郎[2], 宮本 和範[1], 内山 真伸[1,2]（[1]東大院薬, [2]理研）

脂肪族化合物④
小西 英之（静岡県大薬）

29O-pm17S ㋓16:27 新規水素結合供与型有機分子触媒の設計と不斉アルドール反応への適用
○阿久津 裕士[1], 山本 智之[1], 中島 康介[1], 矢内 光[1], 高橋 流太[1], 小谷 明[1], 平島 真一[1], 古石 裕治[1], 袴田 秀樹[1], 松本 隆司[1], 三浦 剛[1]（[1]東京薬大薬）

29O-pm18S ㋓16:39 溶媒効果に基づく Mukaiyama アルドール型反応の化学選択性のスイッチング
○山本 悠貴[1], 佐々木 優一[1], 橋詰 真緒[1], 矢内 光[1], 松本 隆司[1]（[1]東京薬大薬）

29O-pm19S ㋓16:51 光活性能を有するキラル有機分子触媒の創製
○玉木 エリ[1], 伊藤 謙之介[1], 唐木 文霞[1], 藤井 秀明[1]（[1]北里大薬）

29O-pm20 ㋓17:03 有機ボロン酸触媒を用いたポリオールの位置選択的アシル化反応の開発
○落合 貴之[1], 中村 優生[1], 嶋田 修之[1], 牧野 一石[1]（[1]北里大薬）

29O-pm21 ㋓17:15 分子認識能を有するジオールの保護基の開発
○浦田 沙梨[1], 押田 紀之[1], 福原 賢司[1], 嶋田 之修[1], 牧野 一石[1]（[1]北里大薬）

3 月 29 日（火） 午前
P 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 415

複素環化合物⑦
杉浦 正晴（熊本大院薬）

29P-am01S ㋓9:00 置換ベンザインと非対称な環状ウレアとの二重位置制御反応：ベンゾジアゼピンの合成
○金子 英樹[1], 井川 貴詞[1], 赤井 周司[1]（[1]阪大院薬）

29P-am02S ㋓9:12 脱酸素フッ素化による含フッ素テトラヒドロキノリンの位置選択的合成法の開発
田窪 景太[1], ○斉藤 和幸[1], 古津 利宜[1], 赤井 周司[1]（[1]阪大院薬）

29P-am03S ㋓9:24 トリアジノン骨格を基盤とする新規脱水縮合剤の開発
○古田 美佳[1], 山田 耕平[1], 藤田 光[1], 国嶋 崇隆[1]（[1]金沢大院医薬保）

29P-am04S ㋓9:36 アミド基を置換基に有するトリアジニルアンモニウム型脱水縮合剤の開発
○加藤 大輝[1], 矢内 秀[1], 木村 円[1], 山田 耕平[1], 北村 正典[1], 国嶋 崇隆[1]（[1]金沢大院医薬保）

複素環化合物⑧
塚野 千尋（京大院薬）

29P-am05S ㋓9:48 金触媒のオートタンデム触媒機構を用いた Pyrrolo[1,2-c]pyrimidine 骨格構築法の開発
亀谷 紘[1], ○板垣 大地[1], 山口 南実[1], 植田 浩史[1], 徳山 英利[1]（[1]東北大院薬）

29P-am06S ㋓10:00 Boc2O と有機アミン触媒を用いる新規アミド結合形成反応
○梅原 厚志[1], 植田 浩史[1], 徳山 英利[1]（[1]東北大院薬）

29P-am07S ㋓10:12 アルケンとアシルホスホナートを用いるコバルト触媒環化反応
○堀 弘人[1], 荒井 秀[1,2], 西田 篤司[1,2]（[1]千葉大院薬, [2]千葉大MCRC）

29P-am08S ㋓10:24 銅カルベノイドを用いる窒素架橋縮環分子の合成
○加藤 崚佑[1], 原田 慎吾[1], 根本 哲宏[1]（[1]千葉大院薬）

29P-am09 ㋓10:36 極性転換を用いたキノリン誘導体の求電子置換反応
○松本 洋平[1], 栗山 正巳[1], 尾野村 治[1]（[1]長崎大院医歯薬）

3 月 29 日（火） 午後
P 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 415

脂肪族化合物⑤
熊谷 直哉（微化研）

29P-pm01S ㋓13:15 カルボン酸選択的なアルドール反応の開発
○森田 雄也[1], 長井 秀興[1], 清水 洋平[1], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]JST-ERATO）

29P-pm02 ㋓13:27 ホウ素触媒とパラジウム触媒の協奏的効果によるカルボン酸 α 位アリル化反応の開発
○清水 洋平[1], 山本 倫広[1], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]JST-ERATO）

29P-pm03S ㋓13:39 キラル第二級アルコールの不斉アミナール化による触媒的光学分割
山田 健一[1], ○木山 大樹[1], 黒田 悠介[1], 山岡 庸介[1], 高須 清誠[1]（[1]京大院薬）

29P-pm04 ㋓13:51 ジメチル亜鉛を用いるイミドメチルラジカルのアルキリデンマロネートへの付加反応
○山田 健一[1], 松本 祐亮[1], 藤井 晋太郎[1], 山岡 庸介[1], 高須 清誠[1]（[1]京大院薬）

29P-pm05S ㋓14:03 ケテンシリルアセタールとプロピオール酸エステルの触媒的[2+2]環化付加の開発
山岡 庸介[1], ○下田 和摩[1], 植田 幹[2], 山田 健一[1], 高須 清誠[1]（[1]京大院薬, [2]京大薬）

脂肪族化合物⑥
重久 浩樹（武蔵野大薬）

29P-pm06 ㋓14:15 電子環状反応による *trans*-シクロノネンの合成と反応性
山岡 庸介[1], ○伊藤 智裕[1], 山田 健一[1], 高須 清誠[1]（[1]京大院薬）

29P-pm07S ㋓14:27 触媒制御による位置選択的 *aza*-Morita-Baylis-Hillman 反応の開発
百武 龍一[1], ○権藤 匠洋[1], 川端 猛夫[1]（[1]京大化研）

29P-pm08 ㋓14:39 アニリン型酸－塩基触媒によるメソ型ジアールの不斉非対称化
馬場 智明[1], Yella RAMESH[1], ○山本 覚[1], 田中 雄也[1], 古田 巧[1], 川端 猛夫[1]（[1]京大化研）

29P-pm09S ㋓14:51 α-ヒドロキシ酸から α-ケト酸への化学選択的酸化反応の開発
○古川 桂佑[1], 澁谷 正俊[1], 山本 芳彦[1]（[1]名大院創薬）

29P-pm10S
15:03
トリフルオロメチル置換骨格多様化型合成を可能とする新規四員環合成素子の開発
○黒原 崇[1], 澁谷 正俊[1], 山本 芳彦[1]（[1]名大院創薬）

芳香族化合物⑤
横屋 正志（明治薬大）

29P-pm11
15:15
トリフルオロメチルトリアルキルシランを用いた芳香族ケイ素化反応
○大澤 沙優里[1], 佐々木 碧[1], 熊田 佳菜子[1], 根東 義則[1]（[1]東北大院薬）

29P-pm12
15:27
DMPU によるトリフルオロメチルシランの活性化を経由した末端アルキンのケイ素化反応の開発
○稲木 萌翔[1], 熊田 佳菜子[1], 根東 義則[1]（[1]東北大院薬）

29P-pm13S
15:39
フェニルノナフラートを前駆体とするベンザインの発生とシリルアミノ化反応
○増田 茂明[1], 井川 貴詞[1], 赤井 周司[1]（[1]阪大院薬）

29P-pm14
15:51
2－ボリルフェニルノナフラートを前駆体とするベンザイン発生法の開発
○高木 晃[1], 井川 貴詞[1], 山本 梨加[1], 赤井 周司[1]（[1]阪大院薬）

29P-pm15S
16:03
キラル NHC 触媒を用いる α-ヒドロキシアミドの速度論的光学分割
○王 胤力[1], 山岡 庸介[1], 高須 清誠[1], 山田 健一[1]（[1]京大院薬）

芳香族化合物⑥
嶋田 修之（北里大薬）

29P-pm16S
16:15
o–アルキニルベンズアルジミンへの連続ラジカル付加反応
○藤井 晋太郎[1], 山岡 庸介[1], 高須 清誠[1], 山田 健一[1]（[1]京大院薬）

29P-pm17
16:27
アゾベンゼンを基盤とした刺激応答性 DMAP-チオウレア触媒の開発
○白岩 周太[1], 村田 大輔[1], 末永 朱[2], 栗原 清二[2], 今堀 龍志[1]（[1]東理大院総化, [2]熊大院自然）

29P-pm18S
16:39
刺激応答性キラルアゾベンゼンビストリチルアルコール触媒の開発
○黒田 孝博[1], 大曲 匠[2], 宇都 祥太[3], 山口 令[3], 栗原 清二[3], 高石 和人[4], 内山 真伸[5,6], 今堀 龍志[1]（[1]東理大院総化, [2]東理大工, [3]熊本大院自然, [4]岡山大工, [5]東大院薬, [6]理研）

29P-pm19S
16:51
GABA 受容体アゴニスト活性を有する炭素-窒素軸不斉キナゾリノン誘導体の触媒的不斉合成
○平井 基博[1], 吉田 宏明[1], 海老根 健樹[1], 阿部 光[1], 北川 理[1]（[1]芝浦工大工）

29P-pm20S
17:03
2,4,6-トリ-tert-ブチルアニリドの特異な反応性を利用した新規ベンジル化試薬の開発
○山田 倫之[1], 伊藤 洋徳[1], 北川 理[1]（[1]芝浦工大工）

3 月 29 日（火） 午前
Q 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　416

天然物・生体由来医薬品
松丸 尊紀（北大院薬）

29Q-am01
9:00
沖縄県産植物芭蕉（バショウ）抽出物のがん細胞増殖抑制効果
○松本 晴年[1,2,4], 木村 和哲[1,2,3], 酒々井 眞澄[4]（[1]名市大病院薬, [2]名市大院医, [3]名市大院薬, [4]名市大院医分子毒性）

29Q-am02
9:12
プロテインモノイオンコンプレックスによるカタラーゼ PEGylation
○朝山 章一郎[1], 長嶋 果南[1], 川上 浩良[1]（[1]首都大院分子応化）

29Q-am03
9:24
抗ピロリ菌化合物 VDP1 の効率合成
○鰐渕 清史[1], 酒井 佑宜[1], 下村 裕史[2], 高橋 孝志[1]（[1]横浜薬大, [2]自治医大）

29Q-am04
9:36
Triostin A の実用的液相合成法の確立及び新規類縁体合成と生物活性評価
服部 幸三[1], ○小池 晃太[1], 奥田 健介[1], 平山 祐[1], 永澤 秀子[1]（[1]岐阜薬大）

29Q-am05
9:48
Phos-tag SDS PAGE を用いたリン酸化阻害物質の探索
○曽根 雄太郎[1], 山野 喜[1], 志賀 もえみ[1], 杉本 幸子[1], 木下 英司[1], 木下 恵美子[1], 小池 透[1], 大塚 英昭[2], 松浪 勝義[1]（[1]広島大院医歯薬, [2]安田女子薬）

薬理活性物質
小島 直人（京都薬大）

29Q-am06
10:00
梅エキス抽出物を先導化合物とした新規作用機序を示す抗インフルエンザ薬の開発
○加藤 裕也[1], 横田 智洋[2], Nongluk SRIWILAIJAROEN[3], 横江 弘雅[2], 鈴木 康夫[4], 常盤 広明[1,5], 津吹 政可[2]（[1]立教大理, [2]星薬大, [3]Thammasat Univ., [4]中部大生命健康, [5]立教大未来分子研究セ）

29Q-am07
10:12
真菌由来 beauveriolide III の SOAT アイソザイム阻害活性機構に関する研究
○小林 啓介[1], 大城 太一[1], 供田 洋[1]（[1]北里大院薬）

29Q-am08
10:24
脂肪肝を誘導しない新奇な LXR リガンドとして機能するウアバゲニン
○田村 理[1], 岡田 麻衣子[2], 篠田 康晴[3], 塩田 倫史[3], 福永 浩司[3], 大石 悠[1], 上田 実[1]（[1]東北大院理, [2]聖マリアンナ医科大, [3]東北大院薬）

29Q-am09S
10:36
親油性安定型アスコルビン酸誘導体の抗アレルギー作用
○三浦 香織[1], 田井 章博[1]（[1]県広島大生命環境）

3 月 29 日（火） 午後
Q 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　416

栽培
伊藤 美千穂（京大院薬）

29Q-pm01
13:15
生薬シコン（紫根）の安定供給へむけて：北海道におけるムラサキ（*Lithospermum erythrorhizon*）の栽培・生産のこころみ
○高上馬 希重[1], 金 尚永[1], 安田 雅人[2]（[1]北医療大薬, [2]当別新産業活性化セ）

29Q-pm02
13:27
薬用植物に対する酸化型グルタチオンの効果（1）：ウラルカンゾウの発根促進、根の収量および二次代謝物含量増加
○吉松 嘉代[1], 小川 健一[2], 乾 貴幸[1], 河野 徳昭[1], 川原 信夫[1]（[1]医薬健栄研•薬植セ, [2]岡山生物研）

29Q-pm03
13:39
ウラルカンゾウのグリチルリチン酸非生産系統 83-555 の孫系統の解析
○林 宏明[1], 皆川 知未[1], 藤井 勲[1]（[1]岩手医大薬）

品質評価
大山 雅義（岐阜薬大）

29Q-pm04
13:51
黄耆の成分構成の比較（1）産地および部位等による比較
○吉見 嵩志[1], 青山 弘枝[1], 下津 祐樹[1], 波多野 力[1], 陳 貴林[2]（[1]岡山大院医歯薬, [2]内蒙古大生命科学）

29Q-pm05S
14:03
地域特産果樹を活用した生薬国産化研究：シテイ (KAKI CALYX)の品質評価
○楠木 歩美[1], 亀山 眞由美[2], 箭田 浩士[2], 末元 吹季[1], 高木 達也[1], 後藤 一寿[2], 高浦 佳代子[1,3], 高橋 京子[1,3]（[1]阪大院薬, [2]農研機構, [3]阪大博）

29Q-pm06S
14:15
化石由来生薬『竜骨』のサスティナブルユース研究：煎剤調製時の役割
○小栗 一輝[1], 上田 貴洋[2], 川瀬 雅也[3], 高橋 京子[1,2]（[1]阪大院薬, [2]阪大博, [3]長浜バイオ大）

資源探索
梅原 薫（静岡県大薬）

29Q-pm07 ㋓14:27
Bioassay evaluation of Glycyrrhiza uralensis
〇Yu Su SHIN[1], Chan Hum PARK[1], Hyojeung KANG[2], Hyosun CHO[3], Young Sup AHN[1] ([1]National Institute of Horticultural and Herbal Science, Rural Development Administration, [2]College of Pharmacy, Kyungpook National University, [3]College of Pharmacy, Duksung Women's University)

29Q-pm08S ㋓14:39
複合培養法を用いた新規 macrolactam 類の単離構造決定
〇星野 翔太郎[1], 岡田 正弘[1], 張 恵平[2], 林 文晶[2], 脇本 敏幸[3], 尾仲 宏康[4], 阿部 郁朗[1] ([1]東大院薬, [2]理研, [3]北大院薬, [4]東大院農)

29Q-pm09S ㋓14:51
Sphaerobacter thermophilus における ComX フェロモン生成機構の解明
〇杉田 智惇[1], 秋田 航平[1], 田 添[2], 星野 翔太郎[2], 森 貴裕[2], 松田 侑大[2], 淡川 孝義[2], 岡田 正弘[2], 阿部 郁朗[2] ([1]東大薬, [2]東大院薬)

配糖体
横須賀 章人（東京薬大）

29Q-pm10S ㋓15:03
ケナガエサカキ葉部由来の新規配糖体
〇阪井 史歩[1], 杉本 幸子[1], 山野 喜[1], 川上 晋[2], 大塚 英昭[2], 松浪 勝義[1] ([1]広島大院医歯薬, [2]安田女大薬)

29Q-pm11 ㋓15:15
オカメゾタのトリテルペンサポニンとその構成糖の CD による確認
〇黒柳 正典[1], 代田 修[2] ([1]静岡県大薬, [2]徳島文理大香川薬)

29Q-pm12S ㋓15:27
フロー式反応場を利用した tenuifolin の集積的単離法の開発
〇小西 成樹[1], 白畑 辰弥[1], 日高 修平[1], 秋田 士雄人[1], 齋藤 誠也[1], 東島 孝親[1], 種岡 祐紀[1], 横山 将来[1], 勝見 達也[1], 永井 隆之[2], 山田 陽城[2], 梶 英輔[1], 清原 寛章[2], 小林 義典[1] ([1]北里大薬, [2]北里生命科学研)

芳香族化合物⑦
齋藤 義紀（長崎大院医歯薬）

29Q-pm13 ㋓15:39
穀類・ナッツ類の AhR 活性とクルミの活性成分の探索
〇山田 梨愛[1], 好村 守生[1], 半田 洋士[2], 中村 昌文[2], 天倉 吉章[1] ([1]松山大薬, [2]日吉)

29Q-pm14 ㋓15:51
レスベラトロールの紫外線による変換
宮地 晃平[1], 〇髙谷 芳明[1] ([1]名城大薬)

29Q-pm15 ㋓16:03
多置換サリチル酸誘導体のメラニン産生抑制作用とその機構
〇米山 千裟[1], 深田 尚文[1], 住吉 孝明[1], 長岡 康夫[1] ([1]関西大化学生命工)

29Q-pm16 ㋓16:15
オトギリソウ科 *Hypericum* 属植物に関する研究（42）—*H. pseudohenryi* 地上部の成分探索—
〇丹羽 莞慈[1], 田中 直伸[2], 柏田 良樹[2] ([1]徳島大薬, [2]徳島大院薬)

芳香族化合物⑧
天倉 吉章（松山大薬）

29Q-pm17S ㋓16:27
エラジタンニン生合成における還元的代謝について
〇江良 真名美[1], 松尾 洋介[1], 齋藤 義紀[1], 田中 隆[1] ([1]長崎大院医歯薬)

29Q-pm18S ㋓16:39
Epigallocatechin-3-*O*-gallate の酸化反応初期に生成する不安定二量体の構造
〇奥田 慶太[1], 松尾 洋介[2], 齋藤 義紀[2], 田中 隆[2] ([1]長崎大薬, [2]長崎大院医歯薬)

29Q-pm19 ㋓16:51
呉茱萸の成分研究（第 1 報）ポリフェノール成分
〇崔 艶梅[1], 谷口 抄子[1], 黒田 照夫[1], 波多野 力[1] ([1]岡山大院医歯薬)

29Q-pm20 ㋓17:03
インドネシア産 Agarwood から単離された 2-(2-phenylethyl)chromone 類と発がん抑制効果
〇鈴木 愛理[1], Abdul Rasyid FARADIBA[1], 三宅 克典[2], 斎藤 洋平[1], 徳田 春邦[3], 鈴木 信孝[1], 後藤 益生[4], 佐々木 陽平[1], 後藤（中川）享子[1,4] ([1]金沢大院医薬保, [2]東京薬大薬, [3]京大院農, [4]ノースカロライナ大)

3 月 29 日（火） 午前
R 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 417

遺伝子・生合成・分類①
荒井 雅吉（阪大院薬）

29R-am01 ㋓9:00
アサ由来ポリケタイド閉環酵素の X 線結晶構造解析
〇森田 洋行[1], 楊 新美[1], 松井 崇[1], 児玉 猛[1], 森 貴裕[2], 周 暁希[1], 野口 博司[3], 阿部 郁朗[2] ([1]富山大和漢, [2]東大院薬, [3]静岡県大薬)

29R-am02 ㋓9:12
海生糸状菌 *Aspergillus* sp. MF275 由来 himeic acid の生合成研究
〇橋元 誠[1], 勝木 理子[2], 加藤 光[2], 塚本 佐知子[2], 藤井 勲[1] ([1]岩手医大薬, [2]熊本大院薬)

29R-am03 ㋓9:24
真菌 Talaromyces pinophilus FKI-3864 由来の monapinone カップリング酵素の異種発現系の構築
〇出町 歩[1], 石掛 太樹[1], 猪腰 淳嗣[1,2], 藤井 勲[3], 供田 洋[1,2] ([1]北里大薬, [2]北里大院薬, [3]岩手医大薬)

29R-am04S ㋓9:36
遺伝子解析に基づくポリエン系化合物の立体配置決定法の確立
〇張 驪騁[1], 秦 斌[1], 淡川 孝義[1], 岡田 正弘[1], 脇本 敏幸[1], 阿部 郁朗[1] ([1]東大院薬)

29R-am05S ㋓9:48
糸状菌由来新規多機能型非ヘム鉄ジオキシゲナーゼの X 線結晶構造解析
〇中嶋 優[1], 森 貴裕[1], 松田 侑大[1], 千田 美紀[2], 千田 俊哉[2], 阿部 郁朗[1] ([1]東大院薬, [2]高エネ研)

遺伝子・生合成・分類②
山崎 真巳（千葉大院薬）

29R-am06S ㋓10:00
Citreohybridonol 生合成を担うシトクロム P450 の発見
〇全 智揚[1], 松田 侑大[1], 三橋 隆章[1], 李 暢[1], 阿部 郁朗[1] ([1]東大院薬)

29R-am07S ㋓10:12
Berberine 資化性菌 *Rhodococcus* sp. BD7100 株による berberine の脱メチレン化遺伝子 *brdA* の単離と解析
〇石川 和樹[1], 武田 尚[1], 若菜 大悟[1], 笠井 大輔[3], 福田 雅夫[3], 佐藤 文彦[2], 細江 智夫[1] ([1]星薬大, [2]京大院•生命, [3]長岡技科大•生物)

29R-am08S ㋓10:24
Aquilaria 属植物の DNA 情報を利用した鑑別法の開発
〇田中 誠司[1], 伊藤 美千穂[1] ([1]京大院薬)

29R-am09 ㋓10:36
大阪大学所蔵ケシ関連標本の意義：二反長音蔵作ケシの品種改良研究資料
〇井原 香名子[1], 髙浦 佳代子[1,2], 小栗 一輝[1], 髙橋 京子[1,2] ([1]阪大院薬, [2]阪大博)

3 月 29 日（火） 午後
R 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 417

ケミカルバイオロジー⑤
鳴海 哲夫（静岡大院工）

29R-pm01S ㋓13:15
ATP/PEP をリン酸ドナーとするリン酸化触媒の開発研究
〇土門 憲史[1], 川島 茂裕[1,2], 山次 健三[1,2], 金井 求[1,2] ([1]東大院薬, [2]科学技術振興機構)

29R-pm02 ㋓13:27 固相担持型チオール選択的オリゴアルギニン導入試薬の開発
○福元 謙太郎[1,2], 梶山 晶大[1], 志村 駿介[1], 武田 康嗣[1], 木村 振一郎[1], 田口 晃弘[1], 高山 健太郎[1], 薬師寺 文華[1], 林 良雄[1] ([1]東京薬大薬, [2]国産化学)

29R-pm03S ㋓13:39 オリゴ DNA を親水性基とした両親媒性分子で構築したベシクル様ナノ構造体の表面機能化
○磯野 佑介[1], 千葉 順哉[1], 畑中 保丸[1], 友廣 岳則[1] ([1]富山大院薬)

29R-pm04S ㋓13:51 水素-重水素交換質量分析法を用いたアンタゴニストによるビタミン D 受容体のコンフォメーション変化の解析
○加藤 晃[1], 伊藤 俊将[1], 山本 恵子[1] ([1]昭和薬大)

29R-pm05 ㋓14:03 ジピコリルアミン修飾オクタアルギニンと金属の錯体形成による膜透過促進
○伊勢 祥子[1], 川口 祥正[1], 武内 敏秀[1], 二木 史朗[1] ([1]京大化研)

ケミカルバイオロジー⑥
伊藤 幸裕（京都府医大院医）

29R-pm06S ㋓14:15 二価鉄イオン蛍光プローブの構造最適化と細胞内二価鉄イオン変動の可視化
○丹羽 正人[1], 平山 祐[1], 奥田 健介[1], 永澤 秀子[1] ([1]岐阜薬大)

29R-pm07 ㋓14:27 光反応性ジアジリンを有するカチオン性両親媒性トリスシクロメタレート型イリジウム錯体の設計・合成
○久松 洋介[1], 鈴木 希美[1], 渋谷 愛[1], 鈴木 利宙[2], 安部 良[2], 青木 伸[1] ([1]東京理大•薬, [2]東京理大•生命医科学研)

29R-pm08 ㋓14:39 長波長鉄(II)イオン検出プローブの開発
○坪井 ひとみ[1], 平山 祐[1], 奥田 健介[1], 永澤 秀子[1] ([1]岐阜薬大)

29R-pm09S ㋓14:51 Sulfane sulfur を可逆的に検出する蛍光プローブの分子設計・合成・応用
○高野 陽子[1], 花岡 健二郎[1], 島本 一史[1], 浦野 泰照[1,2,3] ([1]東大院薬, [2]東大院医, [3]AMED CREST)

29R-pm10S ㋓15:03 サイト I 特異的な薬物タンパク結合を検出する蛍光標識化アルブミンの開発
○瀧澤 祐美佳[1], 山田 耕平[1], 国嶋 崇隆[1] ([1]金沢大院医薬保)

ケミカルバイオロジー⑦
鈴木 孝禎（京都府医大院医）

29R-pm11S ㋓15:15 標的タンパク質の高効率同定を可能とする新規リンカー分子の開発研究
○森崎 巧也[1], 傳田 将也[1], 辻 大輔[1], 山本 純[1], 猪熊 翼[1], 伊藤 孝司[1], 重永 章[1,2], 大髙 章[1] ([1]徳島大院薬, [2]JSTさきがけ)

29R-pm12 ㋓15:27 抗 HIV 剤 BMMP の作用機序解明と活性改良
○加茂 真宏[1], 立石 大[1], 山本 充奈美[1], 岡本 良成[1], 森川 裕子[2], 大塚 雅巳[1], 藤田 美歌子[3] ([1]熊本大院薬, [2]北里大院感染制御, [3]熊本大薬)

29R-pm13S ㋓15:39 TRAIL 耐性克服作用を有する Fuligocandin B の標的タンパク質同定と作用機序解析に向けた研究
荒井 緑[1], ○田口 翔大[1], 佐藤 守[2], 荷堂 清香[3], 石橋 正己[1] ([1]千葉大院薬, [2]千葉大附属病院, [3]千葉大共用機器センター)

29R-pm14 ㋓15:51 Design and Synthesis of Artificial TRAIL Mimics Based on C3-symmetric and Luminescent Iridium Complexes that are Able to Stain and Induce Cell Death of Cancer Cells
○Masum ABDULLAH-AL[1], 久松 洋介[1], 鈴木 希美[1], 青木 伸[1] ([1]東京理大•薬)

29R-pm15 ㋓16:03 抗炎症作用を有する 12 員環マクロライドの創製と標的タンパク質の探索
○菅原 章公[1,2], 廣瀬 友靖[1,2], 坂本 聡[3], 半田 宏[4], 大村 智[1], 砂塚 敏明[1,2] ([1]北里大生命研, [2]北里大院感染制御, [3]東工大, [4]東京医大)

ケミカルバイオロジー⑧
花岡 健二朗（東大院薬）

29R-pm16S ㋓16:15 親水性光感受性保護基を用いたケージド PKC リガンドの創製とケミカルバイオロジー的応用
○高野 皓[1], 野村 渉[1], 玉村 啓和[1] ([1]東京医歯大•生材研)

29R-pm17S ㋓16:27 Huntingtin タンパク質を減少させる SNIPER 化合物の創製
○友重 秀介[1], 大金 賢司[2], 内藤 幹彦[3], 石川 稔[1], 橋本 祐一[1] ([1]東大分生研, [2]理研, [3]国立衛研)

29R-pm18S ㋓16:39 膜タンパク質の会合体形成制御法による syndecan-4 の機能解析
○渡辺 健介[1], 武内 敏秀[1], 中瀬 生彦[2], 二木 史朗[1] ([1]京大化研, [2]大阪府大21世紀科学研究機構)

29R-pm19 ㋓16:51 スルホニルカリックス[4]アレーンによる塩基性残基の多価認識に基づいたヒストンテールリガンドの開発
木村 康明[1,2], 齊藤 奈英[3], ○花田 華世[1], 劉 家安[1], 岡部 隆義[3], 川島 茂裕[1,2], 山次 健三[1,2], 金井 求[1,2] ([1]東大院薬, [2]JST-ERATO, [3]創薬機構)

29R-pm20 ㋓17:03 抗菌性 3 重らせんペプチドの開発と作用機序の解明
○増田 亮[1,2], 太宰 結[1], 工藤 正和[1], 美間 健彦[3], 小出 隆規[1] ([1]早稲田大先進理工, [2]早稲田大理工研, [3]岡山大院医歯薬)

---

3 月 29 日（火） 午前
S 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 418

複素環化合物⑨
沖津 貴志（神戸薬大）

29S-am01S ㋓9:00 0 価パラジウム触媒を用いた 7-エン-5-イン-アルデヒドのアンチ Wacker 型環化反応の開発
塚本 裕一[1], ○伊藤 和也[1], 土井 隆行[1] ([1]東北大院薬)

29S-am02S ㋓9:12 パラジウム触媒を用いた炭酸アリルエステル－アルデヒドのタイプⅡ極性転換環化反応の開発
○川瀬 歩[1], 塚本 裕一[1], 土井 隆行[1] ([1]東北大院薬)

29S-am03S ㋓9:24 フロ[2,3-*d*]オキサゾール骨格の新規合成法
○大浦 有紗[1], 伊藤 俊将[1], 石田 寛明[1], 齊藤 亜紀夫[2], 山本 恵子[1] ([1]昭和薬大, [2]東京農工大院工)

29S-am04 ㋓9:36 三価ヨウ素触媒を基盤とする[2+2+1]環形成型オキサゾール合成法の開発
○柳生 拓磨[1], 竹本 優介[1], 齊藤 亜紀夫[1] ([1]東京農工大院工)

複素環化合物⑩
土肥 寿文（立命館大薬）

29S-am05S ㋓9:48 エステル交換反応に用いる新規亜鉛担持固相触媒の開発
○中武 大貴[1], 松嶋 義正[2], 矢崎 亮[1], 大嶋 孝志[1] ([1]九大院薬, [2]高砂香料)

29S-am06S ㋓10:00 *N*-保護 2,3-アジリジノアルコールの位置選択的開環反応の開発
○上杉 惇一郎[1], 叶 直樹[1], 岩渕 好治[1] ([1]東北大院薬)

29S-am07 ㋓10:12 イナミドを用いた効率的複素中員環合成法の開発
○山岡 庸介[1], 武内 菜央[1], 山田 健一[1], 高須 清誠[1] ([1]京大院薬)

29S-am08 ㋓10:24 Cp*Co(III)触媒を用いたピロールの C-H アルケニル化反応
○田中 亮[1], 池本 英也[2], 吉野 達彦[3,4], 金井 求[2], 松永 茂樹[3,4] ([1]北大薬, [2]東大院薬, [3]北大院薬, [4]ACT-C, JST)

29S-am09 ㋓10:36 Cu(II)-Naph-diPIM-dioxo-iPr 錯体を用いたインドール置換トリフルオロエタノール誘導体の触媒的不斉合成
○東田 和之[1], 吉村 正宏[2], 田中 慎二[3], 北村 雅人[1] ([1]名大創薬院, [2]愛知学院大, [3]名大物質国際研)

3 月 29 日（火） 午後
S 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　418

有機金属化合物①
樋口 和宏（明薬大薬）

29S-pm01S
⏲13:15
一置換アルキン存在下に二置換アルキンのみを還元する Pd/C 触媒反応の開発
服部 倫弘[1], ○高倉 稜弥[1], 澤間 善成[1], 門口 泰也[1], 佐治木 弘尚[1]（[1]岐阜薬大）

29S-pm02S
⏲13:27
Microwave とガラス担持型 Pd ナノ粒子触媒を用いたブロモベンゼンの鈴木－宮浦カップリング反応の開発
○肖 玟岑[1], 藤岡 弘道[1], 有澤 光弘[1]（[1]阪大院薬）

29S-pm03S
⏲13:39
硫黄修飾金担持型ルテニウム触媒を用いたリガンドフリー鈴木－宮浦反応の開発
○秋山 敏毅[1], 藤岡 弘道[1], 佐藤 美洋[2], 有澤 光弘[1]（[1]阪大院薬, [2]北大院薬）

29S-pm04S
⏲13:51
C-H 活性化を経由するアレン－アルキンの環化異性化反応：第四級炭素構築を含む三環性骨格形成
○河口 康晃[1], 安田 茂雄[1], 関口 和樹[1], 向 智里[1]（[1]金沢大院医薬保）

29S-pm05
⏲14:03
アレン-アルキン-アルケン体の分子内 [2+2+2] 環化付加反応による多環性骨格の構築
向 智里[1], ○黒川 桂[1], 太田 有羽[1], 河口 康晃[1], 安田 茂雄[1]（[1]金沢大院医薬保）

有機金属化合物②
有澤 光弘（阪大院薬）

29S-pm06S
⏲14:15
Rh(I)触媒によるアレンインとカルボニル間の分子内環化反応：ビシクロ[6.3.0]ウンデカン骨格構築法の開発
○横江 貴之[1], 大西 英博[1], 佐藤 美洋[1]（[1]北大院薬）

29S-pm07S
⏲14:27
Rh(I)触媒によるアリルアルコール-アルキン間での触媒的不斉環化反応の開発
○増崎 修一[1], 大西 英博[1], 佐藤 美洋[1]（[1]北大院薬）

29S-pm08S
⏲14:39
二酸化炭素を一炭素源とした環状ジシランによる有機ハロゲン化合物のカルボキシル化反応の開発
○菅 健太[1], 美多 剛[1], 佐藤 香[1], 佐藤 美洋[1]（[1]北大院薬）

29S-pm09S
⏲14:51
二酸化炭素を利用した Pd 触媒によるアリルアルコールのカルボキシル化反応の開発
○樋口 裕紀[1], 美多 剛[1], 佐藤 美洋[1]（[1]北大院薬）

29S-pm10
⏲15:03
らせん性配位子の開発とその応用
○臼井 一晃[1], 清水 貴士[1], 山本 耕介[1], 井川 和宣[2], 友岡 克彦[2], 末宗 洋[1]（[1]九大院薬, [2]九大先導研）

有機金属化合物③
原田 慎吾（千葉大院薬）

29S-pm11
⏲15:15
Rh(I)触媒を用いたアレニンとアルキンの位置選択的分子間 [2+2+2] 環化付加反応
向 智里[1], 河口 康晃[1], ○岡本 悠大[1], 川村 美帆[1], 安田 茂雄[1]（[1]金沢大院医薬保）

29S-pm12
⏲15:27
Rh(I)触媒を用いたアレニンとアルケンの不斉分子間 [2+2+2]環化付加反応
○安田 茂雄[1], 横川 有花[1], 向 智里[1]（[1]金沢大院医薬保）

29S-pm13
⏲15:39
自己集積型キラル Al-サレン錯体を用いた α,β-不飽和イミドの不斉共役シアノ化反応
○杉山 大峻[1], 林 勇介[2], 入江 亮[2], 桑原 穣[2], 栗原 清二[2], 今堀 龍志[1]（[1]東理大院総合化学, [2]熊大院自然）

29S-pm14S
⏲15:51
銅試薬の特性を活かした嵩高い化合物を基質とするクロスカップリング反応
○大井 未来[1], 大塚 麻衣[1], 北沢 裕[1], 金澤 純一朗[1], 滝田 良[2], 内山 真伸[1,2]（[1]東大院薬, [2]理研）

29S-pm15S
⏲16:03
アート型銅塩基を用いた位置・化学選択的な水酸基およびアミノ基導入反応
○手塚 則亨[1], 下條 弘平[1], 平野 圭一[1], 滝田 良[2], 内山 真伸[1,2]（[1]東大院薬, [2]理研）

29S-pm16
⏲16:15
C-N 結合切断型 Stille カップリング反応の開発
○王 東宇[1], 楊 沢コン[1], 宮本 和範[1], 王 超[1,2], 内山 真伸[1,2]（[1]東大院薬, [2]理研）

有機金属化合物④
今堀 龍志（東京理大工）

29S-pm17S
⏲16:27
イリジウム-N-ヘテロ環状カルベン (NHC) 共役型ラジカル錯体の創製とその触媒応用研究
○金子 敬一[1], 生長 幸之助[1], 金井 求[1,2]（[1]東大院薬, [2]ERATO-JST）

29S-pm18
⏲16:39
安価・安定な Nd 塩を用いる Nd/Na 異種 2 核金属触媒の新規調製法の開発
○野々山 彰人[1], 橋本 和樹[1], 齊藤 誠[1], 熊谷 直哉[1], 柴崎 正勝[1]（[1]微化研）

29S-pm19
⏲16:51
Cu/Pd バイメタリック触媒による α-トリフルオロメチルアミドの α-不斉アリル化反応の開発
○齊藤 誠[1], 熊谷 直哉[1], 柴崎 正勝[1]（[1]微化研）

29S-pm20
⏲17:03
Direct Catalytic Asymmetric Mannich-Type Reaction of α-Alkyl Amide
○Fernando ARTEAGA ARTEAGA[1], 熊谷 直哉[1], 柴崎 正勝[1]（[1]微化研）

29S-pm21
⏲17:15
Direct Catalytic Asymmetric Mannich-type Reaction of α- and β-Fluorinated Amides
○Lennart BREWITZ[1], Fernando ARTEAGA ARTEAGA[1], 殷 亮[1], Kaliyamoorthy ALAGIRI[1], 熊谷 直哉[1], 柴崎 正勝[1]（[1]微化研）

3 月 29 日（火） 午前
T 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　419

脂肪酸および関連物質
久保田 高明（昭和薬大）

29T-am01S
⏲9:00
ω3 系多価不飽和脂肪酸（PUFA）の生合成中間体に対応する遊離脂肪酸の合成
○金森 聡[1], 伊藤 俊将[1], 坂上 拓也[1], 石田 寛明[1], 山本 恵子[1]（[1]昭和薬大）

29T-am02
⏲9:12
Three new phloroglucinols from Indonesian *Baeckea frutescens*
○Khoirun NISA[1], 伊藤 卓也[1], 松井 崇[1], 児玉 猛[1], 森田 洋行[1]（[1]富山大和漢研）

29T-am03S
⏲9:24
亜鉛（II）イオンによって産生誘導された細胞性粘菌 *Dictyostelium brunneum* 由来新規ビスピロン型化合物
○Van Hai NGUYEN[1], 菊地 晴久[1], 大島 吉輝[1]（[1]東北大院薬）

29T-am04S
⏲9:36
海綿 Discodermia kiiensis 由来のスルホン基含有リポペプチドの探索
○Karen TAN[1], 脇本 敏幸[2], 阿部 郁朗[1]（[1]東大院薬, [2]北大院薬）

アルカロイドおよび含窒素化合物
小暮 紀行（千葉大院薬）

29T-am05S
⏲9:48
多様性拡大抽出物を利用したモノテルペンインドールアルカロイド様化合物ライブラリーの構築
○一戸 佳祐[1], 菊地 晴久[1], 大島 吉輝[1]（[1]東北大院薬）

29T-am06S
⏲10:00
Polyalthia cerasoides からの Wnt シグナルを阻害する天然物の探索
○庄野 巧[1], 石川 直樹[1], 當銘 一文[1], 荒井 緑[1], 小谷野 喬[2], Thaworn KOWITHAYAKORN[3], 石橋 正己[1]（[1]千葉大院薬, [2]テムコ, [3]コンケン大農）

29T-am07 ㋓10:12 温泉由来真菌 *Penicillium adametzii* BF-0003 株が生産する新規 pyranonigrin 類縁化合物に関する研究
○石島 広之[1], 内田 龍児[1], 宮崎 秀俊[1], 供田 洋[1] ([1]北里大院薬)

29T-am08S ㋓10:24 *Aspergillis amoenus* (NRRL35600) が産生するプレニル化インドールアルカロイド notoamide 類縁体の構造
○杉本 佳代[1], 加藤 光[1], 塚本 佐知子[1] ([1]熊本大院薬)

29T-am09 ㋓10:36 インドールアルカロイド 6-*epi*-notoamide T による破骨細胞の分化阻害について
○加藤 光[1], 賀儀山 一平[1], 稲住 知明[1], 杉本 幸彦[1], 塚本 佐知子[1] ([1]熊本大院薬)

3 月 29 日（火） 午後
T 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 419

医薬品設計①
平野 智也（東京医歯大）

29T-pm01 ㋓13:15 Click Chemistry を用いた HDAC1/2 選択的阻害薬の創製
○東條 敏史[1], 伊藤 幸裕[1], 展 鵬[1], 太田 庸介[1], 恵 子[1], 鈴木 美紀[1], 内田 周作[2], 鈴木 孝禎[1] ([1]京府医大院医, [2]山口大院医)

29T-pm02S ㋓13:27 薬理活性の向上を企図した含フッ素インドメタシンの提案
○池田 朱里[1], 表 雅章[1], 楠本 可奈[1], 小森 美幸[1], 樽井 敦[1], 佐藤 和之[1], 安藤 章[1] ([1]摂南大薬)

29T-pm03S ㋓13:39 Gag 蛋白質を標的とした細胞死誘導型新規抗 HIV 薬の開発研究
○立石 大[1], 門出 和精[2], 村尾 直樹[1], 古賀 涼子[1], 林 祐也[3], 東 大志[3], 本山 敬一[3], 有馬 英俊[3], 安楽 健作[4], 藤田 美歌子[5], 大塚 雅巳[1] ([1]熊大院生体機能分子合成学, [2]熊大院微生物学, [3]熊大院製剤設計学, [4]熊保科大医学検査, [5]熊大薬創薬セ)

29T-pm04S ㋓13:51 炎症収束脂質レゾルビン E3 及びそのデオキシ誘導体の合成
○池田 紘之[1], 石村 航平[1], 福田 隼[1], 周東 智[1] ([1]北大院薬)

29T-pm05 ㋓14:03 パルミトイル基を有するオキシトシン誘導体の合成とその CD157 ノックアウトマウスにおける長時間持続抗不安作用
○一ノ瀬 亘[1], 水野 彰[1], Stanislav M. CHEREPANOV[2], 周東 智[1], 東田 陽博[2] ([1]北大院薬, [2]金沢大子どものこころの発達研究センター)

医薬品設計②
山内 貴靖（星薬大医薬研）

29T-pm06 ㋓14:15 リン脂質の細胞膜へのアンカリングに基づく超持続性アドレナリン β_2 受容体アゴニストの開発研究
○三浦 梨紗子[1], 川村 周平[1], 一ノ瀬 亘[1], 周東 智[1] ([1]北大院薬)

29T-pm07 ㋓14:27 長時間作用型 PEG 化 NK3 受容体作動薬の創製
○桑井 真司[1], 大石 真也[1], 三須 良介[1], 大野 浩章[1], 山村 崇[2], 若林 嘉浩[2], 岡村 裕昭[2], 藤井 信孝[1] ([1]京大院薬, [2]農業生物資源研)

29T-pm08S ㋓14:39 側鎖に電子求引基をもつ活性型ビタミン D 誘導体の設計と合成
○吉澤 麻美[1], 堀 竜也[1], 穴見 康昭[1], 加藤 晃[1], 吉本 暢子[1], 伊藤 俊将[1], 山本 恵子[1] ([1]昭和薬大)

29T-pm09S ㋓14:51 リゾリン脂質の GPCR への結合様式解明のための誘導体合成
○佐山 美紗[1], ジョン セジン[1], 中村 翔[1], 井久保 仁也[1], 尾谷 優子[1], 上水 明治[2], 岸 貴之[2], 井上 飛鳥[2], 巻出 久美子[2], 青木 淳賢[2], 広川 貴次[3], 大和田 智彦[1] ([1]東大院薬, [2]東北大院薬, [3]産総研)

医薬品設計③
梅澤 直樹（名市大薬）

29T-pm10S ㋓15:03 ガレクチン-3 阻害剤の創薬研究
○渡邊 友章[1], 大形 悠梨子[1], 阿部 祐希[1], 手塚 洋平[1], 前田 直良[1], 前仲 勝実[1], 堺谷 政弘[1] ([1]北大院薬)

29T-pm11S ㋓15:15 LSD1 を標的化部位とした新規ドラッグデリバリーシステムの開発
○太田 庸介[1], 伊藤 幸裕[1], 鈴木 孝禎[1] ([1]京都府医大院医)

29T-pm12S ㋓15:27 固相反応を応用した新規 Plinabulin プロドラッグ合成法の創製研究
○白坂 拓也[1], 六車 共平[1], 秋山 大地[1], 田口 晃弘[1], 高山 健太郎[1], 薬師寺 文華[1], 林 良雄[1] ([1]東京薬大薬)

29T-pm13S ㋓15:39 チューブリン重合阻害剤 Plinabulin の非共有結合型抗体-薬物複合体創製研究
○有間 理沙子[1], 六車 共平[1], 川俣 亮介[1], 秋山 大地[1], 吉川 大和[1], 田口 晃弘[1], 高山 健太郎[1], 薬師寺 文華[1], 福原 武志[2], 渡部 徹郎[2], 林 良雄[1] ([1]東京薬大薬, [2]東京薬大生命)

29T-pm14 ㋓15:51 ホウ素中性子捕捉療法のためのペプデュシンを基盤とする膜透過性ホウ素キャリアの開発
○磯野 蒼[1], 寺嶋 宏朗[1], 平山 祐[1], 奥田 健介[1], 永澤 秀子[1] ([1]岐阜薬大)

医薬品設計・その他
伊藤 俊将（昭和薬大）

29T-pm15 ㋓16:03 病原性アミロイドタンパク質に対する生体適応型光酸素化触媒の開発
○谷口 敦彦[1,2], 清水 裕介[1], 倪 積智[1,2], 生長 幸之助[1], 國信 洋一郎[1,2], 相馬 洋平[1,2], 金井 求[1,2] ([1]東大院薬, [2]JST-ERATO)

29T-pm16 ㋓16:15 抗糖尿病作用を有する化合物同定へ向けた構造ベースのバーチャル探索とドッキングスタディ
○Shabana BIBI[1], 坂田 克己[1] ([1]前橋工科大)

29T-pm17 ㋓16:27 3D プリンタが切り開く新規創薬カテゴリ
○常盤 広明[1,2], 中村 昇太[3], 松尾 直也[1], 山本 雄大[1], 岡崎 誠司[1,2], 望月 祐志[1,2], 川上 勝[4] ([1]立教大•理, [2]立教大•未来分子研究セ, [3]スタジオミダス, [4]山形大•工)

29T-pm18S ㋓16:39 結晶スポンジ法を用いた天然物の絶対立体配置の決定
○李 鐘光[1], 星野 学[1,2], Robert BRKLJACA[3], Sylvia URBAN[3], 三橋 隆章[4], 松田 侑大[4], 岡田 正弘[4], 阿部 郁朗[4], 藤田 誠[1,2] ([1]東大院工, [2]JST ACCEL, [3]RMIT応科, [4]東大院薬)

29T-pm19 ㋓16:51 結晶スポンジ法による α-フムレンの構造解析：差分法による酸化位置の特定
○櫻井 扶美恵[1,2], 星野 学[1,2], 藤田 誠[1,2] ([1]東大院工, [2]JST ACCEL)

29T-pm20 ㋓17:03 11B NMR/MRI による銅イオン検出のためのキレーター導入型 o-carborane プローブの設計、合成及び反応性評価
○田中 智博[1], 荒木 力太[2], 西道 隆臣[3], 安部 良[3], 青木 伸[1] ([1]東京理大薬, [2]ブルカーバイオスピン, [3]理研脳科学総合研究セ, [4]東理大生命医科学研)

3 月 29 日（火） 午前
U 会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 511+512

全合成⑩
市川 聡（北大院薬）

29U-am01 ㋓9:00 希少イミノ糖 Fagomine 類の網羅的合成研究
○飯國 文香[1], 中山 淳[1], 吉田 昌裕[2], 難波 康祐[1] ([1]徳島大薬, [2]徳島文理大薬)

29U-am02S ㋓9:12 不斉森田-Baylis-Hillman 反応を活用するゾアパタノールの不斉合成研究
○森井 優樹[1], 小林 恵理[1], 佐々木 宏隆[1], 石原 淳[1], 畑山 範[1] ([1]長崎大院医歯薬)

29U-am03S ◷9:24 p53-Hdm2 複合体形成阻害活性を示す Siladenoserinol A の全合成研究
○齋藤 虹矢[1], 吉田 将人[1], 土井 隆行[1] ([1]東北大院薬)

29U-am04S ◷9:36 ラジカル脱炭酸を経る炭素－炭素結合形成手法開発と platencin の全合成
○朔 優樹[1], G.A.I. MOUSTAFA[1], 青山 浩[1], 赤井 周司[1], 好光 健彦[1] ([1]阪大院薬)

29U-am05S ◷9:48 Juglocombin A, B 及び Juglorescein の全合成研究
○加茂 翔伍[1], 吉岡 快[1], 倉持 幸司[1], 椿 一典[1] ([1]京府大院生命環境)

全合成⑪
阿部 秀樹（東京薬大）

29U-am06S ◷10:00 抗トリパノソーマ活性を有する Mangromicin 類の全合成研究
○高田 拓和[1], 山田 健[1,2], 廣瀬 友靖[1,2], 中島 琢自[2], 高橋 洋子[2], 大村 智[2], 砂塚 敏明[1,2] ([1]北里大院感染制御, [2]北里大生命研)

29U-am07S ◷10:12 抗トリパノソーマ活性を有する新規マクロライド、Actinoallolide 類の全合成研究
○渡邊 彰人[1], 大下 純[1], 野口 吉彦[1,2], 及川 大輝[1], 廣瀬 友靖[1,2], 稲橋 正人[1,2], 稲橋 佑起[1,2], 大村 智[2], 砂塚 敏明[1,2] ([1]北里大院感染制御科学府, [2]北里生命科学研究所)

29U-am08S ◷10:24 抗嫌気性菌活性を有するルミナミシンの全合成研究　共役エノールエーテル含有 14 員環マクロラクトンの構築
○安藤 博康[1], 君嶋 葵[1], 高田 拓和[1], 諸留 圭介[1], 松丸 尊紀[1], 菅原 章公[1,2], 廣瀬 友靖[1,1], 大村 智[2], 砂塚 敏明[1,2] ([1]北里大院感染制御科学府, [2]北里大生命研究所)

29U-am09S ◷10:36 抗嫌気性菌活性を有するルミナミシンの全合成研究　酸素架橋含有シスデカリン-10 員環ラクトンの構築
○君嶋 葵[1], 安藤 博康[1], 諸留 圭介[1], 松丸 尊紀[1], 菅原 章公[1,2], 廣瀬 友靖[1,2], 大村 智[2], 砂塚 敏明[1,2] ([1]北里大院感染制御, [2]北里大生命研)

---

3 月 29 日（火）　午後
U 会場　パシフィコ横浜　会議センター　5F　511+512

全合成⑫
石原 淳（長崎大院薬）

29U-pm01 ◷13:15 CPZEN-45 の合成研究
中村 斐有[1], ○吉田 拓馬[1], 塚野 千尋[1], 竹本 佳司[1] ([1]京大院薬)

29U-pm02S ◷13:27 環状ペプチド Trichamide の合成研究
○寺中 孝久[1], 粟飯原 圭佑[1], 江藤 三弘[1], 重永 章[1], 猪熊 翼[1], 大髙 章[1] ([1]徳島大院薬)

29U-pm03S ◷13:39 シアノバクテリア由来の環状デプシペプチドの合成研究
○金田 雅仁[1], 大石 真也[1], 末吉 康佑[2], 照屋 俊明[2], 大野 浩章[1], 藤井 信孝[1] ([1]京大院薬, [2]琉球大院教育)

29U-pm04 ◷13:51 低酸素誘導因子 (HIF) 阻害活性を有する環状デプシペプチド verucopeptin の全合成研究
○高橋 伸明[1], 林 秀明[1], 掛谷 秀昭[1] ([1]京大院薬)

29U-pm05S ◷14:03 Shagene A の全合成研究
塚野 千尋[1], ○平家 崇吉[1], 竹本 佳司[1] ([1]京大院薬)

全合成⑬
廣瀬 友靖（北里生命科学研）

29U-pm06S ◷14:15 チグリアン・ダフナンジテルペン類の網羅的全合成研究
○浅羽 太郎[1], 占部 大介[1], 井上 将行[1] ([1]東大院薬)

29U-pm07S ◷14:27 artalbic acid の全合成
○塩井 隆太[1], 牛江 亜衣[1], 小林 豊晴[1], 阿部 秀樹[1], 伊藤 久央[1] ([1]東京薬大生命科学)

29U-pm08S ◷14:39 Toxicodenane A の全合成
○山野上 琴乃[1], 小林 豊晴[1], 阿部 秀樹[1], 伊藤 久央[1] ([1]東京薬大生命科学)

29U-pm09S ◷14:51 鎮痙作用を示すジテルペノイド・マルリブアセタールの全合成
○澤山 侑季[1], 山越 博幸[1], 赤堀 禎紘[1], 中村 精一[1] ([1]名市大院薬)

29U-pm10S ◷15:03 Cotylenin A アグリコンの合成研究
○桑原 基[1], 松澤 彰信[1], 杉田 和幸[1] ([1]星薬大)

全合成⑭
長友 優典（東大院薬）

29U-pm11 ◷15:15 Scytophycin C の触媒的不斉形式全合成
○崔 進[1], 渡辺 匠[1], 柴崎 正勝[1] ([1]微化研)

29U-pm12 ◷15:27 One-pot シクロアルカン合成法を用いた海産ジテルペノイド Palmatol の合成研究
○太田 浩一朗[1], 吉長 夏美[1], 澤田 明芳[1], 越浦 凌[1], 釜池 和大[1], 宮岡 宏明[1] ([1]東京薬大薬)

29U-pm13S ◷15:39 Ascospiroketal B の合成研究
○原 喜偉[1], 荒川 航人[1], 本多 達也[1], 太田 浩一朗[1], 釜池 和大[1], 宮岡 宏明[1] ([1]東京薬大薬)

29U-pm14 ◷15:51 Hydropyrenol および hydropyrenene の合成研究
○大畠 由伎[1], 小松 千紘[1], 池田 治生[2], 長光 亨[1] ([1]北里大薬, [2]北里大生命研)

29U-pm15S ◷16:03 アルドール反応を基軸としたシアル酸及び誘導体の合成研究
○法村 勇佑[1], 山本 大介[1], 牧野 一石[1] ([1]北里大薬)

全合成⑮
下川 淳（名大院創薬科学）

29U-pm16 ◷16:15 ロバタミド A の合成研究
○森兼 悠太[1], 小林 愛美[1], 河西 昭典[1], 村田 武士[2], 岩田 想[3], 稲井 誠[1], 浅川 倫宏[1], 江木 正浩[1], 菅 敏幸[1] ([1]静岡県大薬, [2]千葉大院理, [3]京大院医)

29U-pm17S ◷16:27 パクタマイシンの合成研究
○後藤 篤実[1], 吉村 論[1], 稲井 誠[1], 浅川 倫宏[1], 江木 正浩[1], 濱島 義隆[1], 菅 敏幸[1] ([1]静岡県大薬)

29U-pm18S ◷16:39 ダイシハーベインの合成研究
○水井 佑太郎[1], 藤間 達哉[1], 福山 透[1] ([1]名大院創薬)

29U-pm19 ◷16:51 がん-間質相互作用に働く天然物 Leucinostatin A の触媒的不斉全合成研究
○阿部 光[1], 川田 学[2], 渡辺 匠[1], 柴崎 正勝[1] ([1]微化研, [2]微化研・沼津)

29U-pm20S ◷17:03 Staudinger ライゲーションを用いたヤクアミド B の合成研究
○山下 智也[1], 伊藤 寛晃[1], 井上 将行[1] ([1]東大院薬)

物理系薬学（口頭発表）

3 月 27 日（日） 午前
L 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 411

放射性医薬品①
久下 裕司（北大アイソトープ総合セ）

27L-am01 ◷9:00
放射性ガリウム標識抗体フラグメントの非特異的腎集積を低減させる標識薬剤の開発
○上原 知也[1], 横山 幹[1], 鈴木 博元[1], 荒野 泰[1]（[1]千葉大院薬）

27L-am02S ◷9:12
核医学的手法を用いた薬剤性腎障害の評価法の開発
○松岡 大航[1], 木村 寛之[2], 渡邊 裕之[1], 小野 正博[1], 佐治 英郎[1]（[1]京大院薬, [2]京都薬大）

27L-am03S ◷9:24
アルツハイマー病脳内タウの PET イメージングを目的とした新規 ^{18}F 標識ベンゾイミダゾピリジン誘導体の開発
○飯國 慎平[1], 小野 正博[1], 渡邊 裕之[1], 北田 彩音[1], 松吉 康志[1], 佐治 英郎[1]（[1]京大院薬）

27L-am04S ◷9:36
アルツハイマー病モデルマウスにおける脳糖代謝能およびニコチン受容体密度の核医学的評価と認知機能低下の関連性の解明
○松浦 有希[1], 上田 真史[1], 檜垣 佑輔[1], 佐野 紘平[2,3], 佐治 英郎[3], 榎本 秀一[1,4]（[1]岡山大院医歯薬, [2]京大病院RI, [3]京大院薬, [4]理研CLST）

放射性医薬品②・放射化学
小川 数馬（金沢大院医薬保）

27L-am05 ◷9:48
SPECT 診断用糖代謝診断薬 [^{123}I]6-IDG の開発と基礎的検討
○金井 泰和[1], 田中 浩士[2], 長崎 淳[3], 仲 定宏[1], 堺 俊博[5], 礒橋 佳也子[1], 加藤 弘樹[1], 巽 光朗[6], 下瀬川 恵久[1], 高橋 孝志[4], 畑澤 順[1]（[1]阪大院医, [2]東工大, [3]岩城製薬, [4]横浜薬大, [5]阪和インテリジェント, [6]阪大病院）

27L-am06 ◷10:00
小動物用 SPECT を用いた腎障害マウスにおける 99mTc-MAG3 無採血腎機能定量評価
○檜垣 佑輔[1], 羽原 彰吾[1], 上田 真史[1], 榎本 秀一[1,2]（[1]岡山大院医歯薬, [2]理研CLST）

27L-am07 ◷10:12
^{211}At 標識 α-methyl-L-phenylalanine の合成とその基礎的評価
○鈴木 博元[1], 大島 康宏[2], 花岡 宏史[3], 渡辺 茂樹[2], 渡辺 智[2], 佐々木 一郎[2], 坂下 哲哉[2], 荒野 泰[1], 石岡 典子[2]（[1]千葉大院薬, [2]原子力機構, [3]群馬大医）

27L-am08S ◷10:24
熱応答凝集性ポリマーを基盤とする小線源療法用薬剤の開発
○金田 侑子[1], 佐野 紘平[1,2], 金崎 健吾[1,3], 丁 寧[1], 大橋 愛美[1], 出口 諄[1], 小野 正博[1], 佐治 英郎[1]（[1]京大院薬, [2]京大病院, [3]キヤノン）

27L-am09S ◷10:36
新規放射線増感剤としての P2X7 受容体阻害薬の効果の検討
○棚町 圭祐[1], 西野 圭祐[1], 森 夏樹[1], 鈴木 利宙[2], 田沼 靖一[1], 安部 良[2], 月本 光俊[2]（[1]東京理大薬, [2]東京理大・生命研）

分析化学①
吉田 秀幸（福岡大薬）

27L-am10 ◷10:48
プロリン誘導体ポリマーを用いた温度応答性クロマトグラフィーによるキラル分離の検討
○安達 亮[1], 内田 亮[1], 蛭田 勇樹[1], 金澤 秀子[1]（[1]慶大院薬）

27L-am11S ◷11:00
親水性相互作用液体クロマトグラフィーを用いたマウス血清中生体チオール分析法の開発
○磯川 宗生[1], 船津 高志[1], 角田 誠[1]（[1]東大院薬）

27L-am12 ◷11:12
二次元 HPLC-MS を用いる NBD-アミノ酸光学異性体の高選択的分析法開発
○寺尾 唯[1], 小川 亜都美[1], 三次 百合香[1], 佐藤 裕[1], 長野 正信[2], 三田 真史[3], 浜瀬 健司[1]（[1]九大院薬, [2]坂元醸造, [3]資生堂）

27L-am13 ◷11:24
二次元 HPLC を用いる尿中キラルアミノ酸の由来および含量変化解析
○小川 亜都美[1], 三次 百合香[1], 佐藤 裕[1], 三田 真史[2], 浜瀬 健司[1]（[1]九大院薬, [2]資生堂）

27L-am14 ◷11:36
タンパク質中のアスパラギン/アスパラギン酸残基識別を可能とする二次元キラル HPLC-MS/MS 分析法開発
○筒井 佑紀[1], 石郷 翔人[1], 佐藤 裕[1], 三次 百合香[1], 根岸 栄一[2], 三田 真史[3], 植田 正[1], 浜瀬 健司[1]（[1]九大院薬, [2]資生堂医理化テクノロジー, [3]資生堂）

3 月 27 日（日） 午後
L 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 411

計算化学
小田 彰史（金沢大院医薬保）

27L-pm01S ◷13:15
特異な分子構造特性を基盤とした創薬のための量子化学計算：カルコゲン相互作用の場合
○黒木 菜保子[1], 谷中 あゆみ[1], 森 寛敏[2]（[1]お茶大院人間文化創成科学, [2]お茶大基幹研究院自然科学系）

27L-pm02 ◷13:27
特異な分子構造特性を基盤とした創薬のための量子化学計算（2）：ハロゲン結合相互作用の場合
黒木 菜保子[2], 鈴木 祐里絵[2], ○森 寛敏[1]（[1]お茶大基幹研究院, [2]お茶大院人間文化創成科学）

27L-pm03 ◷13:39
タンパク質の結晶化における沈殿剤の影響の解析
○不動 聡志[1], 斉 非[1], 額賀 路嘉[2], 米田 友貴[1], 根矢三郎[1], 星野 忠次[1]（[1]千葉大院薬, [2]城西国際大薬）

生体高分子・その他
加藤 晃一（名市大院薬）

27L-pm04S ◷13:51
ポリ A 上での PABP 多量体化の構造生物学的解析
○沢崎 綾一[1], 今井 駿輔[2], 横川 真梨子[1], 臼井 遥子[1], 星野 真一[3], 堅田 利明[2], 嶋田 一夫[2], 大澤 匡範[1]（[1]慶應大院薬, [2]東大院薬, [3]名市大院薬）

27L-pm05S ◷14:03
酵母輸送タンパク質 Emp46p/47p のコイルドコイルドメイン会合におけるプロリン残基変異の効果
○加藤 紘一[1], 栗本 英治[1]（[1]名城大薬）

27L-pm06S ◷14:15
アポ A-I Iowa 変異は脂質膜上でのアミロイド形成を促進する
○水口 智晴[1], 緒方 風夏[1], 三河 志穂[1], 馬場 照彦[2], 島内 寿徳[3], 斎藤 博幸[1,4]（[1]徳大院薬, [2]産業技術総合研究所, [3]岡大院環境生命科学研究科, [4]徳大院医歯薬学研究部）

27L-pm07 ◷14:27
δ オピオイド受容体（δOR）の活性制御機構の解明
○佐藤 元彦[1], 奥出 順也[1], 延山 尚幸[1], 上田 卓見[1,2], 幸福 裕[1], 倉永 健史[1], 井上 将行[1], 嶋田 一夫[1]（[1]東大院薬, [2]科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 さきがけ）

27L-pm08 ◷14:39
SDF-1 との二段階結合による CXCR4 のシグナル伝達機構の解明
○大西 健人[1], 幸福 裕[1], 塚本 宇信[1], 鈴木 志歩[1], 上田 卓見[1,2], 嶋田 一夫[1]（[1]東大院薬, [2]JSTさきがけ）

27L-pm09 ◷14:51
細菌Ⅲ型分泌機構の解明を目指したエフェクター分泌の定量評価
○扇田 隆司[1], 上川 翼[1], 籾山 京子[1], 林 直樹[1], 後藤 直正[1], 小暮 健太朗[1]（[1]京都薬大）

分析化学②
角田 誠（東大院薬）

27L-pm10 ⏲15:03
シクロデキストリン包接マトリックスを用いたMALDI-TOFMSによる低分子化合物の測定
〇平川 桃有里[1], 池上 眞由美[1], 笠井 博子[1]（[1]星薬大）

27L-pm11S ⏲15:15
包摂錯体レーザー脱離イオン化質量分析によるオレフィン測定
〇林 侑加子[1], 小原 一朗[1], 山口 健太郎[1]（[1]徳島文理大香川薬）

27L-pm12 ⏲15:27
ノンターゲットメタボロミクスにおける高精度分析法の開発
〇上田 一樹[1], 小林 勇太[1], 水野 初[1], 轟木 堅一郎[1], 関俊哲[1], 津山 尚宏[2], 豊岡 利正[1]（[1]静岡県大薬, [2]福島県立医科大医）

分析化学③
轟木 堅一郎（静岡県大薬）

27L-pm13 ⏲15:39
サロゲートペプチドを使用したLC/MSによるタンパク質バイオアナリシス実施における考慮点
〇佐々木 俊哉[1], Erin CHAMBERS[2]（[1]日本ウォーターズ, [2]ウォーターズコーポレーション）

27L-pm14S ⏲15:51
キナーゼ特異的人工基質を用いた細胞内キノーム活性計測
〇坂本 大[1], 石川 菜津美[1], Pasrawin TAECHAWATTANANANT[1], 若林 真樹[1], 杉山 直幸[1], 石濱 泰[1]（[1]京大院薬）

27L-pm15 ⏲16:03
MS/MSシミュレーションを用いた、高精度かつ高感度なタンパク質リン酸化部位同定法
〇今西 進[1], Veronika SUNI[2], 坪坂 朋哉[1], Garry CORTHALS[3]（[1]名城大薬, [2]トゥルク大, [3]アムステルダム大）

27L-pm16S ⏲16:15
質量分析による汎用的な膜タンパク質の構造解析手法の開発
〇河上 麻美代[1], 樹下 成信[2], 表 弘志[1], 森山 芳則[1], 宮地 孝明[2]（[1]岡山大院医歯薬, [2]岡山大自然研セ）

分析化学④
四宮 一総（日本大薬）

27L-pm17S ⏲16:27
ナノ粒子を用いた生体液中DNA回収用デバイスの開発
〇高野 勝[1], 村山 周平[2], 胡 慶江[3], 三森 功士[3], 青木 伊知男[2], 船津 高志[1], 加藤 大[1]（[1]東大院薬, [2]放医研, [3]九大別府病院）

27L-pm18S ⏲16:39
新規バイオセラミックスとしてのクロロアパタイトのメカノケミカル合成とその評価
〇伊藤 丹[1], 大塚 裕太[1], 竹内 政樹[1], 田中 秀治[1]（[1]徳島大院薬）

27L-pm19S ⏲16:51
新規NO用蛍光プローブ　ジアミノフェニル-ベンゾ-2,7-ナフチリジン誘導体の合成と評価
〇芝本 祐馬[1], 佐野 明[1]（[1]東理大薬）

27L-pm20S ⏲17:03
蛍光性天然物およびその部分構造を基にした蛍光センサーの開発
〇横尾 英知[1], 平野 智也[1], 大崎 愛弓[2], 影近 弘之[1]（[1]医科歯科大生材研, [2]日大院総合基）

3月27日（日）　午後
M会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　412

機能性高分子
宮内 正二（東邦大薬）

27M-pm01S ⏲13:15
分離担体への応用を目指した温度応答性ハイドロゲルによるDNAアプタマーの立体構造制御
〇蓮池 英里香[1], 秋元 文[2], 黒田 玲子[3], 蛭田 勇樹[1], 金澤 秀子[1], 吉田 亮[2]（[1]慶應大薬, [2]東大院工, [3]東京理大総合研究院）

27M-pm02S ⏲13:27
温度応答性を有するマレイン酸共重合体とトリプシンとの複合体合成とその評価
〇真柄 豊[1], 笹井 泰志[1], 近藤 伸一[1], 山内 行玄[2], 葛谷 昌之[3]（[1]岐阜薬大, [2]松山大薬, [3]中部学院大人間福祉）

27M-pm03S ⏲13:39
HMGB1に親和性を示すポリマーナノ粒子の開発と脳虚血再灌流障害治療への応用
〇清川 千秋[1], 小出 裕之[1], 星野 友[2], 三浦 佳子[2], Kenneth J. SHEA[3], 奥 直人[1]（[1]静岡県大薬, [2]九大院工, [3]カリフォルニア大アーバイン校）

27M-pm04S ⏲13:51
サイトグロビンの配位子結合性に対する両末端領域の役割
〇花井 舜平[1], 辻野 博文[1], 柳坂 亮太[1], 山下 沢[1,2], 宇野 公之[1]（[1]阪大院薬, [2]武庫川女大薬）

27M-pm05S ⏲14:03
銅輸送タンパク質Ctrにおける新規銅結合モチーフの提案
〇岡田 毬子[1], 三浦 隆史[1], 中林 孝和[1]（[1]東北大院薬）

生体膜・人工モデル膜
小暮 健太朗（徳島大院医歯薬）

27M-pm06 ⏲14:15
ジェミニ型フッ素化両親媒性物質とDPPC二成分系におけるスペーサー長効果
〇加藤 陸[1], 中原 広道[1], 柴田 攻[1]（[1]長崎国際大薬）

27M-pm07 ⏲14:27
DPPC単分子膜上における部分フッ素化アルカンの分光学的評価
〇中原 広道[1], M.P. KRAFFT[2], 柴田 攻[1]（[1]長崎国際大薬, [2]Institut Charles Sadron（UPR 22））

27M-pm08S ⏲14:39
脂質膜中におけるdehydroergosterol会合状態の解析と神経変性疾患との関連
〇今泉 雅智[1], 三浦 隆史[1], 中林 孝和[1]（[1]東北大院薬）

27M-pm09S ⏲14:51
アルギニンペプチド修飾型エクソソームのマクロピノサイトーシス誘導と効率的な細胞内移行
〇野口 公輔[1,2], 藤井 郁雄[2], 二木 史朗[3], 中瀬 生彦[1]（[1]阪府大•ナノ, [2]阪府大院理, [3]京大化研）

物理的計測①
佐治 英郎（京大院薬）

27M-pm10 ⏲15:03
動的核偏極(DNP)-MRIを用いた筋肉のレドックスイメージング法の開発と局所筋炎モデル動物への応用
〇江藤 比奈子[1], 兵藤 文紀[1], Kosem NUTAVUTT[1], 小林 竜馬[1], 安川 圭司[1,2], 中尾 素直[3], 木庭 守[1], 内海 英雄[1]（[1]九大レドックスナビ拠点, [2]第一薬大, [3]九大生医研）

27M-pm11 ⏲15:15
ミュオンスピン回転緩和法による酵素反応中の電子伝達・プロトン移動の観測
〇清谷 多美子[1], 田中 伊知朗[2,3], 小林 政義[4], 髭本 亘[5], 新村 信雄[3]（[1]昭和薬大, [2]茨城大工, [3]茨城大iFRC, [4]茨城大院理工, [5]原子力機構）

27M-pm12 ⏲15:27
近赤外蛍光標識リポソームによる動脈硬化不安定プラークイメージングの試み
〇小川 美香子[1,2], Marten MAESS[2], 成田 雄大[3], 清水 広介[3], 奥 直人[3], 外村 和也[2], 夏目 貴弘[2,4], 梅村 和夫[2], 間賀田 泰寛[2]（[1]北大院薬, [2]浜松医大, [3]静岡県大薬, [4]藤田保健衛生大）

物理的計測②
山田 健一（九大院薬）

27M-pm13 ⏲15:39
高感度な光音響腫瘍イメージングを可能とするインドシアニングリーン多点結合ポリオキサゾリンの開発
〇金崎 健吾[1,2], 佐野 紘平[1,3], 牧野 顕[1,4], 本間 務[2], 小野 正博[1], 佐治 英郎[1]（[1]京大院薬, [2]キヤノン, [3]京大病院, [4]福井大高エネ研）

27M-pm14 ⏲15:51
前立腺がんイメージングを目的とした新規発蛍光型プローブの開発
余語 孝夫[1], 〇梅澤 啓太郎[1], 神谷 真子[1,3], 浦野 康照[1,2,4]（[1]東大院医, [2]東大院薬, [3]JSTさきがけ, [4]AMED CREST）

27M-pm15 ㋓16:03 温度応答性ポリマーナノ粒子の開発と温度応答性細胞取り込みの評価
〇蛭田 勇樹[1], 小出 さやか[1], 根本 遼[1], 金澤 秀子[1] ([1]慶應大薬)

27M-pm16 ㋓16:15 自発的にブリンキングする脂質プローブを用いた超分解イメージング法の開発
〇高倉 栄男[1], Yongdeng ZHANG[2], Joerg BEWERSDORF[2], Derek TOOMRE[2] ([1]北大院薬, [2]イェール大)

生体物質の構造・物性・反応
根矢 三郎（千葉大院薬）

27M-pm17S ㋓16:27 メチル化シトシン選択的結合 TALE の創製
〇辻 将吾[1], 二木 史朗[1], 今西 未来[1] ([1]京大化研)

27M-pm18 ㋓16:39 ホスファチジルコリンとコレステロールが及ぼす胆汁酸細胞毒性への影響
〇池田 義人[1], 森田 真也[1], 寺田 智祐[1] ([1]滋賀医大病院)

27M-pm19 ㋓16:51 ヒト YEATS ドメイン含有タンパク質によるアセチル化ヒストンテイルの認識機構
〇菊地 正樹[1], 大沢 登[1], 白水 美香子[1], 梅原 崇史[1,2] ([1]理研CLST, [2]JSTさきがけ)

27M-pm20 ㋓17:03 X 線自由電子レーザーを用いた新規タンパク質の立体構造決定
山下 恵太郎[2], 潘 東青[1], 奥田 智彦[1], 菅原 道泰[2], 小段 篤史[3], 山口 知宏[1], 村井 智洋[1], 溝端 栄一[4], 鈴木 守[5], 南後 恵理子[2], 登野 健介[6], 城地 保昌[6], 亀島 敬[6], 初井 宇記[2], 矢橋 牧名[2], 岩田 想[2,7], 加藤 博章[1,2], 吾郷 日出夫[2], 山本 雅貴[2], 〇中津 亨[1,2] ([1]京大院薬, [2]理研RSC, [3]京大iCeMS, [4]阪大院工, [5]阪大蛋白研, [6]JASRI, [7]京大院医)

27M-pm21 ㋓17:15 メチル化シクロデキストリンポリ擬ロタキサンおよびポリロタキサンの高効率な合成法の開発
〇東 大志[1], Jun LI[2], Xia SONG[2], Jingling ZHU[2], 谷吉 雅俊[1], 平山 文俊[3], 本山 敬一[1], 有馬 英俊[1,4] ([1]熊本大院薬, [2]Faculty of Engineering, National University of Singapore, [3]崇城大薬, [4]熊本大リーディング大学院 HIGO プログラム)

---

3 月 28 日（月） 午前
K 会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314

医薬品物性
斎藤 博幸（京都薬大）

28K-am01 ㋓9:00 レボフロキサシン水和物の光安定性と結晶構造との関係
〇牛島 智裕[1], 長瀬 弘昌[1], 池上 眞由美[1], 笠井 博子[1], 寺岡 麗子[2], 湯谷 玲子[2], 都出 千里[2], 北河 修治[2] ([1]星薬大, [2]神戸薬大)

28K-am02 ㋓9:12 レボフロキサシン/シュウ酸の共結晶の無水物の結晶構造
〇中島 りり子[1], 長瀬 弘昌[1], 池上 眞由美[1], 笠井 博子[1], 寺岡 麗子[2], 湯谷 玲子[2], 都出 千里[2], 北河 修治[2] ([1]星薬大, [2]神戸薬大)

28K-am03S ㋓9:24 シロスタゾール結晶多形間におけるナノ化製剤の安定性の比較
〇吉岡 千晶[1], 長井 紀章[1], 伊藤 吉将[1], 岡本 紀夫[2], 下村 嘉一[2] ([1]近畿大薬, [2]近畿大医)

28K-am04S ㋓9:36 マウス用新規経肺投与デバイスの開発と評価
〇木村 永実理[1], 竹内 一成[1], 寺田 弘[2], 牧野 公子[1] ([1]東京理大薬, [2]新潟薬大薬)

光化学
植野 哲（徳島大院医歯薬）

28K-am05S ㋓9:48 NO の光解離を利用したタンパク質および細胞の機能制御～光による細胞凝集制御システムの開発～
〇佐藤 一平[1], 平松 広嗣[1], 中林 孝和[1] ([1]東北大院薬)

28K-am06 ㋓10:00 メカノケミカル反応により合成したマクロモノマーを用いる pH 応答性高分子ミセルの開発
〇近藤 伸一[1], 木村 清夏[1], 笹井 泰志[1], 山内 行玄[2], 葛谷 昌之[3] ([1]岐阜薬大, [2]松山大薬, [3]中部学院大人間福祉)

28K-am07 ㋓10:12 抗酸化剤・UV 吸収剤を用いたケトプロフェンによる光線過敏症の抑制
〇寳 彩香[1], 渡部 晋平[1], 奥山 恵丞[1], 島田 洋輔[1], 後藤 了[1] ([1]東京理大薬)

生物系薬学（口頭発表）

3 月 27 日（日） 午前
M 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 412

皮膚①
倉石 泰（東京医歯大）

27M-am01 ICR 系マウスの掻破行動におけるヒスタミン H1 受容体と μ オピオイド受容体の関連
◷9:00
〇仲宗根 佑[1], 杉本 由美[1], 亀井 千晃[1] ([1]安田女大薬)

27M-am02S RAF および MEK 阻害剤によるざ瘡様皮疹の発症機構解明
◷9:12
〇根橋 智宏[1], 髙田 匠[1], 村川 智美[1], 秋元 賀子[1], 水野 晃治[1], 佐藤 隆[1] ([1]東京薬大薬•生化学)

27M-am03 グリセルアルデヒド誘導糖化皮膚モデルにおける化合物皮膚透過性の評価
◷9:24
〇関田 真理絵[1], 横田 麻美[1], 竹内 正義[2], 徳留 嘉寛[1] ([1]城西大薬, [2]金沢医大総医研)

27M-am04 糖化が表皮角化細胞の角層細胞間脂質代謝に与える影響
◷9:36
〇横田 麻美[1], 徳留 嘉寛[1] ([1]城西大薬)

27M-am05S 表皮角化細胞におけるスフィンゴミエリン合成酵素 1、2 の機能解析
◷9:48
〇山下 麻衣[1], 横田 麻美[1], 徳留 嘉寛[1] ([1]城西大薬)

皮膚②
佐藤 隆（東京薬大薬）

27M-am06 Toxic AGEs はヒト真皮線維芽細胞の ECM 合成のバランスを崩す
◷10:00
〇西川 功征[1], 水谷 多恵子[1], 岡野 由利[1], 竹内 正義[2], 正木 仁[1] ([1]東京工科大院バイオニクス専攻, [2]金沢医科大)

27M-am07 APM が真皮由来メラニン生成促進因子 neuregulin 1（NRG1）に及ぼす効果
◷10:12
〇村上 祐子[1], 足立 浩章[1], 田中 浩[1], 八代 洋一[1], 中田 悟[1] ([1]日本メナード化粧品総研)

27M-am08 色素幹細胞の分化制御による新しい美白理論の構築
◷10:24
〇井上 悠[1], 長谷川 靖司[1,2], 山田 貴亮[1], 国田 麻友美[1], 大隅 和寿[1], 坂井田 勉[1], 八代 洋一[1], 中田 悟[1] ([1]日本メナード化粧品総研, [2]名大院医•メナード協同研究講座)

27M-am09 メラニン／メラノソーム分解による新規美白素材の開発
◷10:36
〇本間 俊之[1], 大村 現[1], 景山 茂樹[1], 境野 佳樹[1], 永田 幸三[1] ([1]富士フイルム)

27M-am10 インチンコウエキスによる MMP-9 発現抑制作用
◷10:48
〇亀井 大嗣[1], 青木 渚[1], 伊藤 良樹[1] ([1]佐藤製薬)

胃・関節
石毛 久美子（日本大薬）

27M-am11 YM-58483 の有効な投与方法と関節炎治療効果の検討
◷11:00
〇三好 真綾[1], 森実 あすか[1], 劉 爽[1], 黒光 貴俊[1], 高橋 南映[1], 前山 一隆[1] ([1]愛媛大医)

27M-am12 軟骨細胞特異的 ATF3 欠損マウスの解析
◷11:12
〇尾崎 翔[1], 家崎 高志[1], 深澤 和也[1], 大西 勇気[1], 米田 幸雄[1], 金田 勝幸[1], 北島 繁孝[2], 檜井 栄一[1] ([1]金沢大院医薬保, [2]東京医科歯科大難治疾患研•遺伝生化)

27M-am13S 骨代謝における AMSH の役割
◷11:24
〇大川原 拓哉[1], 小賀坂 彰浩[1], 永田 隆之[1], 村田 和子[1] ([1]いわき明星大薬)

27M-am14S β-クリプトキサンチン摂取による破骨細胞活性化抑制を介した閉経後骨粗鬆症の予防効果
◷11:36
〇大西 勇気[1], 岡本 舞香[1], 尾崎 翔[1], 深澤 和也[1], 米田 幸雄[1], 金田 勝幸[1], 杉浦 実[2], 檜井 栄一[1] ([1]金沢大院医薬保•薬理, [2]農業•食品産業技術総合研究機構•果樹研究所)

3 月 27 日（日） 午前
N 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 413

内分泌・代謝
田村 和広（東京薬大薬）

27N-am01S 膵 α 細胞からのグルカゴン分泌に対する quercetin の効果
◷9:00
〇山本 清威[1], 水口 博之[2], 小林 誠[2], 佐藤 陽一[1], 福井 裕行[3], 山内 あい子[1] ([1]徳島大院 医薬品情報学分野, [2]徳島大院 分子情報薬理学分野, [3]徳島大院 分子難治性疾患学分野)

27N-am02S ジアシルグリセロールキナーゼ δ は膵 β 細胞において細胞増殖抑制に働く。
◷9:12
〇石渡 千裕[1], 金子 雪子[1], 佐藤 太治[1], 中山 貴寛[1], 石川 揚子[1], 石川 智久[1] ([1]静岡県大薬)

27N-am03S 糖尿病条件下での細胞内 ADMA の蓄積は β 細胞障害を亢進する
◷9:24
〇森岡 亜望[1], 金子 雪子[1], 佐野 実咲[1], 石川 智久[1] ([1]静岡県大薬)

27N-am04S 細胞内 DAG の蓄積によるインスリン分泌抑制機構の解析と 2 型糖尿病病態との関連
◷9:36
〇澤谷 俊明[1], 金子 雪子[1], 石川 智久[1] ([1]静岡県大院薬)

27N-am05S 脂肪組織リモデリングを起点とした肥満病態形成機構の解明
◷9:48
〇小野木 康弘[1], 和田 努[1], 神谷 知江[1], 稲田 健人[1], 山本 誠士[2], 石井 陽子[2], 恒枝 宏史[1], 笹原 正清[2], 笹岡 利安[1] ([1]富山大院薬, [2]富山大院医)

27N-am06 スダチ果皮における抗メタボリックシンドローム作用を有する物質の同定
◷10:00
〇宮本 理人[1], 粟飯原 遥菜[1], 許 文婷[1], 靳 美娜[1,2], 冨田 洋輔[1], 山岡 朋美[2], 田中 直伸[2], 池田 康将[3], 玉置 俊晃[3], 柏田 良樹[2], 土屋 浩一郎[1] ([1]徳島大薬医薬品機能生化学, [2]徳島大薬生薬学, [3]徳島大医薬理学)

化学療法
中村 一基（武庫川女大薬）

27N-am07 新規合成 KSP 阻害剤のヒト卵巣がんに対する抗腫瘍効果
◷10:12
〇武永 美津子[1], 竹内 智起[2], 山本 有貴[1], 都倉 享恵[1], 新美 純[1], 濱口 明美[1], 太田 有紀[3], 淺井 大輔[4], 大石 真也[2], 中島 秀喜[4], 藤井 信孝[2] ([1]聖マリ医大難治研セ, [2]京大院薬, [3]聖マリ医大薬理, [4]聖マリ医大微生)

27N-am08S 新規薬物担体としての間葉系幹細胞の開発と評価：抗腫瘍タンパク MDA-7 の分泌制御
◷10:24
〇唐澤 武司[1], 相良 篤信[1], 児玉 章弘[1], 杉浦 礼衣[1], 山下 睦[1], 大塚 まき[2], 五十嵐 勝秀[2], 成田 道子[1], 葛巻 直子[1], 成田 年[1,2], 加藤 良規[2] ([1]星薬大•薬理, [2]星薬大•先端研)

27N-am09S Na^+イオノフォア Monensin はウイルス感染リンパ腫のミトコンドリア障害と JNK 活性化を介したアポトーシスを誘導する
◷10:36
〇原 尚子[1], 重見 善平[1], 渡部 匡史[1], 賀川 裕貴[1], 藤室 雅弘[1] ([1]細胞生物学 京都薬大)

27N-am10S 肺腺がん細胞へのアデノウイルス感染はP-糖タンパク質の機能を亢進させる
⏲10:48
○伴野 拓巳[1], 柴﨑 由実[2], 矢野 健太郎[2], 荒川 大[2], 荻原 琢男[1]（[1]高崎健康福祉大院, [2]高崎健康福祉大薬）

中枢神経①
大澤 匡弘（名市大院薬）

27N-am11S 脳卒中後疼痛における脊髄部位での high mobility group box-1 の関与
⏲11:00
○松浦 渉[1], 景山 絵理香[1], 原田 慎一[1], 劉 克約[2], 西堀 正洋[2], 徳山 尚吾[1]（[1]神戸学院大薬•臨床薬学, [2]岡山大院医歯薬•薬理学）

27N-am12S 幼少期ストレス負荷による神経障害性疼痛の増強機構における脳内 ERK シグナルの関与
⏲11:12
○藤本 貴士[1], 西中 崇[1], 春日 壮挙[1], 中本 賀寿夫[1], 下條 正仁[2], 徳山 尚吾[1]（[1]神戸学院大薬•臨床薬学研究室, [2]大阪医大•麻酔科学研究室）

27N-am13 脊髄後角における STAT3 依存的なアストロサイト活性化は痒みの慢性化に関与する
⏲11:24
○白鳥 美穂[1], 古賀 啓祐[1], 齊藤 秀俊[1], 高露 雄太[1], 蜂須賀 淳一[3], 岡野 栄之[4], 古江 増隆[3], 井上 和秀[2], 津田 誠[1]（[1]九大院薬ライフイノベーション, [2]九大院薬薬理, [3]九大院医皮膚, [4]慶應大医生理）

27N-am14 華岡青洲処方『通仙散（麻佛散）』の抗侵害刺激作用について（2）
⏲11:36
○福島 康仁[1], 水島 彩佳[1], 石川 愛弓[1], 塙 大介[1], 福田 彩[1], 宮根 浩一[1], 伏谷 眞二[1], 櫻田 誓[1], 高野 文英[1]（[1]日本薬大）

3 月 27 日（日） 午後
N 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 413

中枢神経②
白川 久志（京大院薬）

27N-pm01 高速・高精細全脳イメージング法 FAST によるストレス負荷マウスの脳活動変化の検出
⏲13:15
○笠井 淳司[1], 丹生 光咲[1], 勢力 薫[1], 山口 瞬[2], 中澤 敬信[3], 橋本 均[1,3,4]（[1]阪大院薬•神経薬理, [2]岐阜大医•高次神経形態, [3]阪大院薬•附創薬センターiPS脳神経毒性プロジェクト, [4]阪大院•連合小児•子どものこころセンター）

27N-pm02 AMPA 受容体を介した細胞外 Zn^{2+}流入による維持された長期増強の障害
⏲13:27
○中田 裕之[1], 久恒 麻里衣[2], 藤井 洋昭[1], 村上 拓[2], 玉野 春南[1,2], 武田 厚司[1,2]（[1]静岡県大院•薬, [2]静岡県大•薬）

27N-pm03S 海馬 CA3 野-歯状回における海馬 Sharp wave の発生
⏲13:39
○上村 成章[1], 池谷 裕二[1]（[1]東大院薬）

27N-pm04 ガストリン放出ペプチド（GRP）受容体を介した哺乳類概日時計のリセット機構の解析
⏲13:51
○對馬 千沙都[1], 佐々木 崇志[1], 竹生田 淳[1], 茂木 明日香[1], 鈴木 登紀子[1], 守屋 孝洋[1]（[1]東北大院薬）

27N-pm05 恒明光環境下での発育が成長後のマウス体内時計機能に及ぼす可塑的な影響の解析
⏲14:03
○井上 莉香[1], 竹生田 淳[1], 沢内 美穂[1], 鈴木 登紀子[1], 太田 英伸[2], 守屋 孝洋[1]（[1]東北大薬, [2]国立精神•神経医療研究センター）

27N-pm06S 前頭前皮質 V 層錐体細胞に対するノルアドレナリンの興奮性作用
⏲14:15
○和田 進太郎[1], 上居 寛典[2,3], 宝田 剛志[2], 金田 勝幸[2]（[1]金沢大医薬保, [2]金沢大院医薬保, [3]北大院薬）

中枢神経③
平松 正行（名城大薬）

27N-pm07 低ナノモル濃度アミロイドβによる海馬歯状回 LTP 障害には細胞外 Zn^{2+}が必要である
⏲14:27
○佐々木 美紅[1], 佐藤 祥子[1], 玉野 春南[1], 武田 厚司[1]（[1]静岡県大薬）

27N-pm08S アミロイドβ誘発性歯状回顆粒細胞内 Zn^{2+}増加による長期増強障害
⏲14:39
○天白 宗和[1], 河渕 修平[1], 橋本 若奈[1], 植松 千裕[1], 玉野 春南[1], 武田 厚司[1]（[1]静岡県大薬）

27N-pm09S アストロサイト由来新規 Aβ 分解酵素 KLK7 の病的機能解明
⏲14:51
○建部 卓也[1], 木棚 究[1], 菊池 一徳[1], 斉藤 貴志[3], 大内 尉義[2], 秋下 雅弘[2], 西道 隆臣[3], 岩坪 威[2], 富田 泰輔[1]（[1]東大薬, [2]東大医, [3]理研）

27N-pm10 APP-βCTF に特異的に結合するエンドソームタンパク質の解析
⏲15:03
○高杉 展正[1,2], 今岡 亮介[1], 上原 孝[1], 櫻井 隆[2]（[1]岡山大院医歯薬, [2]順天堂大院医）

27N-pm11 宮古ビデンス・ピローサの筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療薬としての可能性
⏲15:15
○小菅 康弘[1], 兼古 絵里菜[1], 石毛 久美子[1], 伊藤 芳久[1]（[1]日本大薬）

中枢神経④
山口 拓（長崎国際大薬）

27N-pm12S 低濃度 MPP^+によるグルコース飢餓を介したオートファジー機構の異常
⏲15:27
○坂本 修一朗[1], 古武 弥一郎[1], 宮良 政嗣[1,2], 太田 茂[1]（[1]広島大院医歯薬, [2]学振DC）

27N-pm13 神経幹細胞の増殖・分化に対する大豆イソフラボン類の影響の解析
⏲15:39
○沢内 美穂[1], Gilmara BASTOS[1], 竹生田 淳[1], 茂木 明日香[1], 吉田 寛伸[1], 守屋 孝洋[1]（[1]東北大院薬）

27N-pm14S PDI 阻害によるオレキシンニューロンの病理学的変化
⏲15:51
○藤田 一成[1], 倉内 祐樹[1], 久恒 昭哲[2,3], 関 貴弘[1], 香月 博志[1]（[1]熊本大院薬•薬物活性, [2]熊本大院•先導機構, [3]熊本大•リーディング大学院•HIGOプログラム）

27N-pm15 神経特異的ユビキチンリガーゼ RNF182 はオートファジー経路に関与する
⏲16:03
○金子 雅幸[1], 高井 知子[1], 呉 艶[1], 和田 有希子[1], 今泉 和則[1]（[1]広島大院医歯薬•分子細胞情報）

27N-pm16 漢方方剤「香蘇散」煎剤の抗うつ様活性に関連する脳内タンパク質の探索と作用機序の解析
⏲16:15
山中 紀央子[1], ○永井 隆之[1,2,3], 小寺 義男[4,5], 伊藤 直樹[3], 花輪 壽彦[3], 山田 陽城[6], 清原 寛章[1,2,3]（[1]北里大院感染制御, [2]北里大生命研, [3]北里大東洋医学総研, [4]北里大理, [5]北里大理疾患プロテオミクスセ, [6]東京薬大薬）

27N-pm17S 新生仔ラット網膜において観察される異常血管形成には視神経節細胞が関与する
⏲16:27
○中野 歩希[1], 中原 努[1], 牛久保 裕子[1], 森 麻美[1], 坂本 謙司[1], 石井 邦雄[1]（[1]北里大薬 分子薬理）

中枢神経⑤
香月 博志（熊本大院薬）

27N-pm18S グルタミン酸神経毒性に対するコウヤマキ由来ビフラボン類の保護作用
⏲16:39
○平田 弥久[1], 田中 康晶[1], 吉本 幸広[1], 竹森 洋[2], 住吉 孝明[1], 長岡 康夫[1]（[1]関西大化学生命工, [2]医薬基盤研）

27N-pm19 培養アストロサイトでのエンドセリンによる VEGF-R1 の発現変化と受容体シグナル系の増強
⏲16:51
○小山 豊[1], 林 美央[1], 小西 智洋[1]（[1]大阪大谷大薬）

27N-pm20S ミクログリアの iNOS 発現における ERM ファミリーの役割
⏲17:03
○阿部 春果[1], 位田 雅俊[1], 二階堂 七海[1], 栗田 尚佳[1], 保住 功[1]（[1]岐阜薬大•薬•薬物治療）

27N-pm21S 脳内 sodium-glucose transporter type 1 を介したナトリウム流入が脳虚血性神経障害の発現に及ぼす影響
◷17:15
〇山﨑 由衣[1], 原田 慎一[1], 徳山 尚吾[1] ([1]神戸学院大・薬・臨床薬学)

3 月 27 日（日） 午前
O 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 414

循環器①
田野中 浩一（東京薬大薬）

27O-am01S 圧負荷心不全における心臓線維化と DPP-4 の関連について
◷9:00
〇河野 正寛[1], 廣瀬 雅教[1], 小室 早紀[1], 川島 早織[1], 今野 結依[1], 稲川 知子[1], 高野 博之[1] ([1]千葉大院薬)

27O-am02 新規 Nobiletin 標的因子過剰発現マウスモデルは圧負荷で誘導される心不全の進行を抑制した
◷9:12
〇鈴木 杏奈[1], 砂川 陽一[1,2,3], 櫻井 涼賀[1], 稗田 蛍光舞[1], 小川原 慎太郎[1], 刀坂 泰史[1,2,3], 和田 啓道[2], 村上 明[4], 今泉 厚[5], 島津 章[2], 長谷川 浩二[2], 森本 達也[1,2,3] ([1]静岡県大薬 分子病態学分野, [2]京都医療セ 展開医療研, [3]静岡県総病院 臨床研, [4]京大院農 食品生命科学, [5]セラバリューズ)

27O-am03 心筋炎病態において Sca-1 陽性心筋組織幹細胞は心保護的性質へと変化する
◷9:24
〇榎原 正貴[1], 松原 由実[1], 宮脇 昭光[1], 関谷 有紀子[1], 尾花 理徳[1], 前田 真貴子[1], 中山 博之[1], 藤尾 慈[1] ([1]阪大院薬)

循環器②
森本 達也（静岡県大薬）

27O-am04 Pim-1 を介した STAT3 による新規細胞保護機構の解明
◷9:36
〇大谷 勇太[1], 横山 由加里[1], 尾花 理徳[1], 前田 真貴子[1], 中山 博之[1], 藤尾 慈[1] ([1]阪大院薬)

27O-am05 心筋炎病態下における STAT3 を介した成体心筋細胞増殖
◷9:48
〇高家 圭紀[1], 宮脇 昭光[1], 密原 佑介[1], 尾花 理徳[1], 前田 真貴子[1], 中山 博之[1], 藤尾 慈[1] ([1]阪大院薬)

27O-am06S 活性酸素種を標的とした 2-Aminoethyl diphenyl borinate の心虚血再灌流に対する傷害抑制効果
◷10:00
〇森原 啓文[1], 尾花 理徳[1], 川勝 一輝[1], 土山 大介[1], 石田 瑛子[1], 前田 真貴子[1], 藤尾 慈[1], 中山 博之[1] ([1]阪大院薬)

27O-am07S 心筋梗塞時におけるプロトン感知性受容体 T cell death-associated gene 8 (TDAG8) の役割解析
◷10:12
〇小野 達貴[1], 西 俊英[1], 長坂 明臣[1], 仲矢 道雄[1], 岡島 史和[2], 黒瀬 等[1] ([1]九大院薬, [2]群馬大・生調研)

循環器③
山村 寿男（名市大院薬）

27O-am08 低酸素ストレスによる血管内皮細胞のバリア機能障害に対する DPP4 阻害薬の保護効果
◷10:24
〇今野 結依[1], 井熊 研斗[1], 川島 早織[1], 河野 正寛[1], 小室 早希[1], 稲川 知子[1], 高野 博之[1] ([1]千葉大院薬)

27O-am09S ケルセチン生体内代謝産物 quercetin -3-O-β-D-glucuronide による血管内皮細胞保護効果
◷10:36
〇細岡 真由子[1], 石澤 有紀[2], 斎藤 尚子[2], 宮本 理人[1], 今西 正樹[3], 座間味 義人[3,4], 木平 孝高[2], 池田 康将[2], 石澤 啓介[3,4], 玉置 俊晃[2], 土屋 浩一郎[1] ([1]徳島大院医歯薬医薬品機能生化, [2]徳島大院医歯薬薬理, [3]徳島大病院薬, [4]徳島大院医歯薬臨床薬剤)

27O-am10S 糖尿病時のマイクロパーティクルにおける血管内皮機能障害機序の解明
◷10:48
〇飛田 麻里[1], 田口 久美子[1], 渡邊 駿[1], 安藤 眞[1], 松本 貴之[1], 小林 恒雄[1] ([1]星薬大・医薬研・機能形態学)

27O-am11S ラット摘出頸動脈における 5-HT 誘発収縮反応に対する高濃度インスリンおよび 3-phosphoinositide-dependent protein kinase 1 (PDK1) 活性化薬の影響
◷11:00
〇渡邊 駿[1], 松本 貴之[1], 山田 浩介[1], 尾田 未来[1], 高木 淳也[1], 松原 花歩[1], 木本 靖子[1], 野一色 柚葉[1], 比嘉 輝[1], 足立 都将[1], 永田 麻子[1], 安藤 眞[1], 井口 舞香[1], 田口 久美子[1], 小林 恒雄[1] ([1]星薬大・医薬研・機能形態学)

循環器④
川崎 博巳（松山大薬）

27O-am12S SHR ラット大腿動脈におけるノルエピネフリン収縮に対する内皮由来因子、COX 由来プロスタノイドの関与
◷11:12
〇井口 舞香[1], 松本 貴之[1], 渡邊 駿[1], 安藤 眞[1], 山田 浩介[1], 足立 都将[1], 尾田 未来[1], 木本 靖子[1], 高木 淳也[1], 松原 花歩[1], 野一色 柚葉[1], 比嘉 輝[1], 永田 麻子[1], 田口 久美子[1], 小林 恒雄[1] ([1]星薬大・医薬研・機能形態学)

27O-am13S 若齢・老齢 2 型糖尿病ラット摘出腎動脈における血管反応、cPLA2/COX 発現、アポトーシスマーカーの検討
◷11:24
〇安藤 眞[1], 松本 貴之[1], 渡邊 駿[1], 山田 浩介[1], 井口 舞香[1], 田口 久美子[1], 小林 恒雄[1] ([1]星薬大・医薬研・機能形態学)

27O-am14 無機リン刺激による血管平滑筋細胞石灰化における rho-kinase 及び cyclophilinA の関与
◷11:36
〇鍵本 優有[1], 石澤 有紀[2], 今西 正樹[3], 座間味 義人[1,3], 木平 孝高[2], 池田 康将[2], 土屋 浩一郎[4], 玉置 俊晃[2], 石澤 啓介[1,3] ([1]徳島大院医歯薬臨床薬剤, [2]徳島大院医歯薬薬理, [3]徳島大病院薬, [4]徳島大院医歯薬医薬品機能生化)

3 月 27 日（日） 午後
O 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 414

安全性・薬物代謝
奥水 崇鏡（自治医大）

27O-pm01 ヒト iPSC 由来大脳皮質ニューロンの長期活動特性と薬理応答
◷13:15
小田原 あおい[1,2], 加藤 寛樹[1], 松田 直毅[1], 〇鈴木 郁郎[1] ([1]東北工大工, [2]学振特別研究員)

27O-pm02 低用量、長期間のアルコール摂取がマウスの老化度、寿命に及ぼす影響
◷13:27
〇清水 千賀子[1], 沖 泰弘[1], 野村 いづみ[1], 三谷 優[1], 中村 剛[1], 鍋島 俊隆[2,3] ([1]サッポロビール, [2]名城大薬, [3]医薬品適正使用推進機構)

27O-pm03 薬剤の初期胚形成に与える発生毒性を評価する改良型マウス ES 試験
◷13:39
Ruoxing YU[1], Norio MIYAMURA[1], Yoshimi OKAMOTO-UCHIDA[1], Norie ARIMA[1], Mari ISHIGURA-YUASA[2], Hiroyuki KAGECHIKA[2], 〇Hiroshi NISHINA[1] ([1]東京医歯大難研, [2]東京医歯大生材研)

27O-pm04S 特異体質性副作用発現に関与する HLA タンパク質—薬物分子の相互作用の解析
◷13:51
〇長屋 仁織[1], 本間 雅[1,2], 苅谷 嘉顕[1], 加藤 智起[1], 池淵 祐樹[1], 鈴木 洋史[1] ([1]東大病院薬, [2]東大病院薬理動態学講座)

27O-pm05S マウス肝発生過程における薬物代謝酵素 cytochrome P-450 3A の 発現プロファイル解析
◷14:03
〇北岡 論[1], 落合 和[1], 飯村 龍輝[1], 須藤 渉[1], 加藤 春香[1], 中條 佑哉[1], 戸澤 好貴[1], 安川 知花[1], 五十嵐 信智[1], 杉山 清[1] ([1]星薬大・薬動学教室)

27O-pm06S マーモセット肝のワルファリン酸化的代謝の立体選択性
◷14:15
〇河野 未来[1], 上原 正太郎[1], 石井 さくら[1], 宇野 泰広[2], 井上 貴史[3], 鵜藤 雅裕[1,2], 佐々木 えりか[3], 山崎 浩史[1] ([1]昭和薬大, [2]新日本科学, [3]実中研)

27O-pm07S 抗マラリア薬の個別化薬物療法を目指した CYP2D6
14:27 遺伝子多型解析
○菊地 葵[1], 齋藤 雄大[1], 金子 明[2], Jesse GITAKA[3], 平澤 典保[1], 平塚 真弘[1] ([1]東北大薬, [2]大阪市大医, [3]Mt. Kenya Univ.)

消化器
堀江 俊治（城西国際大薬）

27O-pm08 NAFLD (nonalcholic fatty liver disease) モデルマウスにおいて高血糖状態が肝機能、炎症および線維化に与える影響
14:39
○小畑 友紀雄[1], 原田 慎一[1], 中本 賀寿夫[1], 森本 泰子[2], 金 啓二[3], 金 守良[4], 徳山 尚吾[1] ([1]神戸学院大薬•臨床薬学, [2]神戸学院大薬•健康支援•衛生化学, [3]神戸朝日病院•薬, [4]神戸朝日病院•消化器科)

27O-pm09S NASH の病態進行における長鎖脂肪酸受容体 GPR120/FFAR4 の関与
14:51
○宮城 景[1], 中本 賀寿夫[1], 小畑 友紀雄[1], 原田 慎一[1], 森本 泰子[2], 平澤 明[3], 金 啓二[4], 金 守良[5], 徳山 尚吾[1] ([1]神戸学院大学薬•臨床薬学, [2]神戸学院大学薬•衛生化学•健康支援, [3]京大院•薬•薬理ゲノミクス分野, [4]神戸朝日病院•薬, [5]神戸朝日病院•消化器科)

27O-pm10S モルヒネ誘発性便秘症における大腸 AQP3 発現増加メカニズムの解析
15:03
○今 理紗子[1], 五十嵐 信智[1], 早川 晃央[1], 羽賀 裕介[1], 笛木 愛華[1], 落合 和[1], 杉山 清[1] ([1]星薬大)

27O-pm11 胃幽門腺粘液細胞における粘液分泌と 2 つのオートクリン機構とに関する検討
15:15
○末兼 早紀[1], 田中 早織[1], 池田 朋世[1], 幸田 祐佳[1], 松村 人志[1], 島本 史夫[1] ([1]大阪薬大)

27O-pm12 胃幽門腺粘液細胞における粘液分泌機序と細胞内 Ca^{2+}濃度とに関する検討
15:27
○池田 朋世[1], 田中 早織[1], 末兼 早紀[1], 幸田 祐佳[1], 松村 人志[1], 島本 史夫[1] ([1]大阪薬大)

泌尿器
小林 恒雄（星薬大）

27O-pm13 腎疾患モデルラットにおける血漿の脂質メタボローム解析
15:39
○河原﨑 正貴[1], 前川 京子[2], 内尾 こずえ[3], 根本 直[4], 福岡 秀興[5], 齋藤 嘉朗[2] ([1]マルハニチロ中研, [2]国立衛研, [3]医薬基盤•健康•栄養研, [4]産総研, [5]早大)

27O-pm14 慢性腎臓病におけるヘプシジン制御メカニズムの検討
15:51
○渡邉 大晃[1], 池田 康将[2], 濱野 裕章[2,3], 佐藤 明穂[4], 堀之内 裕也[2,3], 石澤 有紀[2], 木平 孝高[2], 宮本 理人[4], 土屋 浩一郎[4], 玉置 俊晃[2], 石澤 啓介[1,3] ([1]徳島大院医歯薬臨床薬剤, [2]徳島大院医歯薬薬理, [3]徳島大病院薬, [4]徳島大院医歯薬医薬品機能生化)

27O-pm15 ラット腎虚血再灌流傷害における miR-340-5p 発現低下による RhoA up-regulation の可能性
16:03
千葉 義彦[1], ○和田 真理奈[1], 森下 智紀[1], 有村 美紀[1], 安藤 友美[1], 花崎 元彦[2], 片山 浩[2] ([1]星薬大•生理分子科学, [2]川崎医大•麻酔•集中治療3)

27O-pm16S ラット腎虚血再灌流傷害における miR-122-5p を介する SLC7A1 発現低下の可能性
16:15
千葉 義彦[1], ○森下 智紀[1], 和田 真理奈[1], 有村 美紀[1], 安藤 友美[1], 花崎 元彦[2], 片山 浩[2] ([1]星薬大•生理分子科学, [2]川崎医大•麻酔•集中治療3)

27O-pm17 シスプラチン誘発性腎障害ラットにおける非対称性ジメチルアルギニンと既存腎障害マーカーの変動
16:27
○北川 絢恵[1], 堀田 祐志[1], 片岡 智哉[2], 前田 康博[1], 川出 義浩[1,3], 木村 和哲[1,2,3] ([1]名市大院薬, [2]名市大院医, [3]名市大病院薬)

27O-pm18 Testosterone 低下による膀胱機能への影響
16:39
○片岡 智哉[1], 堀田 祐志[2], 前田 康博[2], 木村 和哲[1,2,3] ([1]名市大院医, [2]名市大院薬, [3]名市大病院薬)

27O-pm19 雌性モルモットの近位および遠位尿道でのノルアドレナリンの収縮作用に対する各種抗うつ薬の影響
16:51
○小原 圭将[1], 今中 智子[1], 福原 央香[1], 宇野 準二[1,2], 茅野 大介[1], 田中 芳夫[1] ([1]東邦大薬, [2]桶狭間病院薬)

---

3 月 27 日（日） 午前
P 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 415

受容体・チャネル
西田 基宏（岡崎統合バイオ）

27P-am01 Ca^{2+}活性化 K^+チャネル $K_{Ca}2.2$ は前立腺癌の新規治療標的である
9:00
○丹羽 里実[1], 内木 拓[2], 高橋 智[2], 佐々木 昌一[2], 大矢 進[1] ([1]京都薬大, [2]名市大院医)

27P-am02S 活性化 CD4 陽性 T 細胞におけるスプライシング阻害剤による背景 K^+チャネル $K_{2P}5.1$ 活性制御
9:12
○たぎし 和隆[1], 清水 彩夏[1], 遠藤 京子[1], 鬼頭 宏彰[1], 藤井 正徳[1], 大矢 進[1] ([1]京都薬大)

27P-am03 中コンダクタンス Ca^{2+}活性化 K^+チャネルの Ca^{2+}シグナル制御を介した骨芽細胞増殖への関与
9:24
○鬼頭 宏彰[1], 榊原 侑香[1], 森広 晴香[1], 大矢 進[1] ([1]京都薬大)

27P-am04 軟骨細胞株における新規 BK チャネルスプライスバリアント体の機能解析
9:36
○鈴木 良明[1], 大矢 進[2], 山村 寿男[1], Wayne GILES[3], 今泉 祐治[1] ([1]名市大院薬, [2]京都薬大, [3]カルガリー大)

27P-am05S ヒト由来軟骨肉腫細胞株 (OUMS-27) における容量依存性 Cl^-チャネルの機能解析
9:48
○山田 啓史[1], 栗田 卓[1], 山村 寿男[1], 鈴木 良明[1], 今泉 祐治[1] ([1]名市大院薬)

27P-am06 門脈圧亢進症モデルマウスの門脈平滑筋における TMEM16A チャネルの発現低下
10:00
○山村 寿男[1], 近藤 るびい[1], 古川 奈美[1], 鈴木 良明[1], 今泉 祐治[1] ([1]名市大院薬)

27P-am07 肺高血圧症由来肺動脈平滑筋細胞におけるカルシウム感受性受容体拮抗薬の抗増殖作用
10:12
○山村 彩[1], 八木 聡美[1], 鈴村 紗世[1], 大原 直樹[1], 塚本 喜久雄[1] ([1]金城学院大薬)

受容体・トランスポーター・その他
大矢 進（京都薬大）

27P-am08S 酸化ストレス負荷されたアストロサイトにおける細胞内遊離型亜鉛の増大は P2X7 受容体の機能的発現を制御する
10:24
○古田 能裕[1], 向井 あゆみ[1], 西田 健太朗[1], 長澤 一樹[1] ([1]京都薬大)

27P-am09S プロスタグランジン輸送体 *Slco2a1* 遺伝子欠損マウスにおけるリポ多糖誘発性体温上昇の抑制
10:36
○中村 吉伸[1], 中西 猛夫[1], 島田 紘明[1], 清水 淳也[1], 玉井 郁巳[1] ([1]金沢大院医薬保)

27P-am10 ブレオマイシン誘導性肺線維症モデル炎症期におけるプロスタグランジン輸送体 OATP2A1 の役割
10:48
○崎山 栞[1], 中西 猛夫[1], 黄 舒瑩[1], 島田 紘明[1], 玉井 郁巳[1] ([1]金沢大院医薬保)

27P-am11 ヒト肝がん由来 HepG2 細胞の 3 次元培養による核内受容体 CAR の発現への影響
11:00
○東 郁子[1], 横堀 紘祐[1], 小林 カオル[1], 千葉 寛[1] ([1]千葉大院薬)

27P-am12 リガンド誘導体を用いた受容体染色剤の開発
11:12
○長谷川 功紀[1], 伊藤 隆明[2] ([1]京都薬大, [2]熊本大医)

27P-am13 鉄過剰による骨格筋分化抑制作用の解明
11:24
○佐藤 明穂[1], 池田 康将[2], 堀ノ内 裕也[2,4], 濱野 裕章[2,4], 今尾 瑞季[1], 渡邉 大晃[3], 石澤 有紀[2], 木平 孝高[2], 石澤 啓介[3,4], 玉置 俊晃[2], 宮本 理人[1], 土屋 浩一郎[1] ([1]徳島大院医歯薬医薬品機能生化, [2]徳島大院医歯薬薬理, [3]徳島大院医歯薬臨床薬剤, [4]徳島大病院薬)

27P-am14S
◷11:36
バレニクリンはマクロファージにおける酸化 LDL による泡沫化を促進する
○金岡 祐輝[1], 古賀 允久[1], 山内 淳史[1], 片岡 泰文[1]（[1]福岡大薬 薬学疾患管理学）

3 月 27 日（日） 午後
P 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 415

呼吸器①
藤井 健志（同志社大薬）

27P-pm01
◷13:15
慢性閉塞性肺疾患および気管支喘息の病態形成における性差発現の比較解析
○新倉 雄一[1], 石井 崇史[1], 細木 敬祐[1], 山下 直美[1]（[1]武蔵野大薬）

27P-pm02
◷13:27
マウス抗原誘発過敏性気管支平滑筋における RhoA 発現変動に及ぼす低メチル供与食餌の影響
千葉 義彦[1], ○多田 沙織[1], 太田 康介[1], 川田 朋[1], 須藤 航[1], 岩崎 雄介[1], 酒井 寛泰[2], 花崎 元彦[3], 片山 浩[3]（[1]星薬大・生理分子科学, [2]星薬大・疾患病態解析, [3]川崎医大・麻酔・集中治療3）

27P-pm03S
◷13:39
マウス気管支平滑筋の low pH による収縮反応および気道過敏性時のその変化
千葉 義彦[1], ○山根 大和[1], 須藤 航[1], 岩崎 雄介[1], 酒井 寛泰[2]（[1]星薬大・生理分子化学, [2]星薬大・疾患病態解析）

27P-pm04
◷13:51
アレルギー性気道炎症における 1 型および 2 型システイニルロイコトリエン受容体の意義
○入野 俊治[1], 高橋 涼[1], 黒田 晃平[1], 野口 敦史[1], 高橋 瞭陽[1], 関岡 智彦[2], 山下 弘高[1,3], 稲垣 直樹[1,3], 田中 宏幸[1,3]（[1]岐阜薬大・薬理, [2]小野薬品工業, [3]岐阜大院連合創薬）

呼吸器②
川畑 篤史（近畿大薬）

27P-pm05S
◷14:03
アレルギー性気管支喘息時の気道過敏性発現における Mfge8 の役割
○須藤 航[1], 山根 大和[1], 岩崎 雄介[1], 酒井 寛泰[2], 千葉 義彦[1]（[1]星薬大・生理分子, [2]星薬大・疾患病態解析）

27P-pm06
◷14:15
喘息マウスの気管支平滑筋における RhoA 発現に及ぼす複数世代抗原曝露の影響
千葉 義彦[1], ○太田 康介[1], 多田 沙織[1], 川田 朋[1], 須藤 航[1], 岩崎 雄介[1], 酒井 寛泰[2], 花崎 元彦[3], 片山 浩[3]（[1]星薬大・生理分子科学, [2]星薬大・疾患病態解析, [3]川崎医大・麻酔・集中治療3）

27P-pm07
◷14:27
抗原誘発過敏性気管支平滑筋における収縮関連タンパク質を制御する miRNAs の発現変動
千葉 義彦[1], ○川田 朋[1], 太田 康介[1], 多田 沙織[1], 須藤 航[1], 岩崎 雄介[1], 酒井 寛泰[2], 花崎 元彦[3], 片山 浩[3]（[1]星薬大・生理分子科学, [2]星薬大・疾患病態解析, [3]川崎医大・麻酔・集中治療）

27P-pm08S
◷14:39
Ibudilast による気道粘液遺伝子 MUC5AC の発現抑制作用
○齋藤 佳奈[1], 石崎 誉子[1], 石橋 純平[1], 町田 渉[1], 堀江 一郎[1], 礒濱 洋一郎[1]（[1]東京理大薬）

27P-pm09S
◷14:51
シクロスポリン A はヒト肺線維芽細胞および肺線維症モデルマウスにおいて線維化抑制作用を示す
○山崎 璃沙[1], 藤田 哲雄[2,3], 柳原 まどか[1], 中村 浩之[1], 藤野 裕道[1], 粕谷 善俊[2], 村山 俊彦[1]（[1]千葉大院・薬・薬効薬理, [2]千葉大院・医・分子生体制御, [3]千葉大院・医・呼吸器内科）

炎症・免疫①
奈邉 健（摂南大薬）

27P-pm10
◷15:03
スギ花粉粗抽出物誘発鼻炎モデルにおけるプロスタグランジン D_2 受容体（DP1）の意義
○西原 徹[1], 澤田 章央[1], 中野 祥行[2,3], 山下 弘高[1,2], 稲垣 直樹[1,2], 田中 宏幸[1,2]（[1]岐阜薬大・薬理, [2]岐阜大院連合創薬, [3]塩野義製薬）

27P-pm11
◷15:15
アレルギー性鼻炎時の鼻粘膜組織における miRNA を介する NF-κB シグナリング増強の可能性
千葉 義彦[1], ○三好 亮麻[1], 佐々木 佳奈[1], 須藤 航[1], 岩崎 雄介[1], 酒井 寛泰[2], 花崎 元彦[3], 片山 浩[3]（[1]星薬大・生理分子科学, [2]星薬大・疾患病態解析, [3]川崎医大・麻酔・集中治療3）

27P-pm12
◷15:27
アレルギー性鼻炎マウスの鼻粘膜組織における RhoA 発現に及ぼす複数世代抗原曝露の影響
千葉 義彦[1], ○佐々木 佳奈[1], 三好 亮麻[1], 須藤 航[1], 岩崎 雄介[1], 酒井 寛泰[2], 花崎 元彦[3], 片山 浩[3]（[1]星薬大・生理分子科学, [2]星薬大・疾患病態解析, [3]川崎医大・麻酔・集中治療3）

27P-pm13
◷15:39
抗ヒスタミン薬とスプラタスト併用による鼻過敏症症状改善効果
○水口 博之[1], 門田 卓也[1], 折本 直樹[1,2], Asish K. DAS[1,3], 澤田 明歩[1], 古南 隆光[1], 北村 嘉章[4], 武田 憲昭[4], 福井 裕行[5]（[1]徳島大院 分子情報薬理学分野, [2]大鵬薬品, [3]Khuluna大学, [4]徳島大院 耳鼻咽喉科学分野, [5]徳島大院 分子難治性疾患学分野）

27P-pm14S
◷15:51
マウス敗血症モデルへの P2Y11 受容体阻害薬の効果
○二宮 有希[1], 田沼 靖一[1], 月本 光俊[1]（[1]東京理大薬）

27P-pm15
◷16:03
骨髄由来免疫抑制細胞に対する十全大補湯の作用
○今野 真理子[1], 斎藤 賢治[1], 堀江 一郎[1], 礒濱 洋一郎[1]（[1]東京理大薬）

炎症・免疫②
松岡 功（高崎健康福祉大薬）

27P-pm16
◷16:15
BALB/c マウスを用いたローヤルゼリーの抗原性についての検討
○渡辺 大地[1], 上木 麻美[1], 山下 弘高[1,3], 田中 宏幸[1,3], 市原 賢二[2], 稲垣 直樹[1,3]（[1]岐阜薬大・薬理, [2]アピ, [3]岐阜大・院・連合創薬）

27P-pm17
◷16:27
マウス経口免疫寛容モデルにおける食品添加物の影響
○松原 弘季[1], 見尾谷 昇[1], 山下 弘高[1,2], 田中 宏幸[1,2], 稲垣 直樹[1,2]（[1]岐阜薬大・薬理, [2]岐阜大・院・連合創薬）

27P-pm18
◷16:39
IgG による母子免疫を介した食物アレルギーへの影響
○林 祥昌[1], 山下 弘高[1,2], 田中 宏幸[1,2], 稲垣 直樹[1,2]（[1]岐阜薬大・薬理, [2]岐阜大・院・連合創薬）

27P-pm19
◷16:51
ダニ抗原により誘導されるアトピー性皮膚炎様症状における CD4+細胞の役割
○水谷 暢明[1], 奈邉 健[2], 吉野 伸[1]（[1]神戸薬大, [2]摂南大薬）

27P-pm20S
◷17:03
Sjogren 症候群患者血清中の抗 Aquaporin-5 自己抗体の存在とその意義
○大川 竜麻[1], 仲田 帆名美[1], 室井 慎一[1], 堀江 一郎[1], 礒濱 洋一郎[1]（[1]東京理大薬）

27P-pm21
◷17:15
培養 microglia の炎症反応に対する nobiletin の抑制効果
○廣瀬 栄治[1], 伊藤 直樹[3], 及川 哲郎[3], 永井 隆之[1,2,3], 小田口 浩[3], 清原 寛章[1,2,3]（[1]北里大院感染制御, [2]北里大生命研, [3]北里大東洋医学総研）

3 月 27 日（日） 午前
Q 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　416

糖質・タンパク質
川島 博人（千葉大院薬）

27Q-am01S
⏲9:00
トランスジェニックカイコ絹糸腺由来ヒトカテプシン A の分子特性と生物機能評価
〇日高 朋[1], 西岡 宗一郎[1], 小林 功[2], 近藤 まり[3], 笠嶋 めぐみ[2], 月本 準[1], 辻 大輔[1], 瀬筒 秀樹[2,3], 伊藤 孝司[1]（[1]徳島大薬•創薬生命工学分野, [2]生物研•遺伝子組換えカイコ研究開発ユニット, [3]東大院•新領域•応用生物資源学分野）

27Q-am02S
⏲9:12
新規スルファターゼ活性イメージングプローブを利用した神経活動に伴うスルファターゼ活性変化の解析
〇石井 亜実[1], 南 彰[1], 大坪 忠宗[2], 小塩 渚[1], 山下 千晶[1], 目黒 裕芙子[1], 金澤 寛明[3], 池田 潔[2], 鈴木 隆[1]（[1]静岡県大薬•生化学, [2]広島国際大薬•有機合成化学, [3]静岡県大看•機能形態学）

27Q-am03S
⏲9:24
ヒト卵巣がん細胞における希少シアル酸 Neu5Gc 獲得機構の探索
〇水野 春花[1], 疋田 智也[1], 鈴木 隆[1]（[1]静岡県大薬）

27Q-am04
⏲9:36
コラーゲンアレルギーの原因抗原解析
〇山本 崇弘[1], 横大路 智治[2], 福田 光希子[4], 田中 昭[5], 藤本 亘[4], 松尾 裕彰[3]（[1]広島大薬, [2]広島大院•病態解析治療学, [3]広島大病院薬, [4]川崎医大•皮膚科, [5]サーモフィッシャーサイエンティフィック）

27Q-am05S
⏲9:48
PUM ホモロジードメイン（PUM-HD）を用いた新規配列特異的 RNA 結合タンパク質の開発
〇篠田 昂樹[1], 今西 未来[1], 二木 史朗[1]（[1]京大化研）

27Q-am06
⏲10:00
エフェクター機能を示さない Hinge 欠失 IgG Fc 融合技術の開発
〇志賀 有貴[1], 村田 大輔[1], 大島 祐太[1], 多田 稔[2], 石井 明子[2], 竹内 崇[3], 加賀谷 伸治[4], 佐藤 淳[1]（[1]東京工科大, [2]国立医薬品食品衛生研, [3]鳥取大, [4]NRLファーマ）

脂質①
杉本 幸彦（熊本大院薬）

27Q-am07S
⏲10:12
プロスタサイクリン合成酵素 (PGIS) の接触性皮膚炎における役割
〇落合 翔[1], 佐々木 由香[1], 横山 知永子[2], 原 俊太郎[1]（[1]昭和大•薬•衛生薬学, [2]神奈川工大）

27Q-am08
⏲10:24
細胞内ホスホリパーゼ A1 の膵臓癌細胞の増殖、生存への影響
〇小泉 昂範[1], 稲垣 雄介[1], 馬場 沙弥佳[1], 松本 直樹[1], 林 康広[1], 佐々木 洋子[1], 杉浦 隆之[1], 山下 純[1]（[1]帝京大薬）

27Q-am09S
⏲10:36
代謝臓器におけるカロリー制限が及ぼす影響の解析
〇板倉 佳穂[1], 蒲谷 里穂[2], 斉藤 宏樹[2], 須藤 結香[2,3], 樋上 賀一[2,3]（[1]東京理大院薬, [2]東京理大薬, [3]東京理大総研）

27Q-am10
⏲10:48
Niemann-Pick 病 Type C の病態モデル、*Npc1* 欠損細胞の 6-*O*-α-maltosyl-β cyclodextrin によるリソソームへの取り込みとコレステロールレベルの変化
〇上田 恵梨香[1], 岡田 安代[1], 近藤 悠希[3], 石塚 洋一[3], 入江 徹美[3], 東 大志[3], 本山 敬一[3], 有馬 英俊[3], 松尾 宗明[4], 檜垣 克美[5], 大野 耕策[6], 市川 厚[1,2], 西川 淳一[1,2]（[1]武庫川女大薬, [2]武庫川女大バイオサイエンス研, [3]熊本大院薬, [4]佐賀大医小児科, [5]鳥取大生命機能研, [6]鳥取大医 脳神経小児科）

脂質②
横山 和明（帝京大薬）

27Q-am11S
⏲11:00
初期発生の血管形成におけるゼブラフィッシュ・プロスタノイド受容体の役割
〇岩崎 亮[1], 告 恭史郎[1], 岸本 幸一朗[1], 川原 敦雄[2], 稲住 知明[1,3], 土屋 創健[1,3], 杉本 幸彦[1,3]（[1]熊本大院薬, [2]山梨大院医, [3]AMED, CREST）

27Q-am12
⏲11:12
IL-33 によるマスト細胞の炎症性サイトカイン産生におけるプロスタサイクリン受容体 IP の役割
〇宮本 卓馬[1], 鈴木 佑治[1], 渡辺 真由帆[1], 森本 和志[1], 稲住 知明[1,2], 土屋 創健[1,2], 成宮 周[3], 杉本 幸彦[1,2]（[1]熊本大院薬, [2]AMED-CREST, [3]京大院医）

27Q-am13S
⏲11:24
ヒト正常皮膚リンパ管内皮細胞による管腔形成に対する環状ホスファチジン酸の作用
〇新田見 恵祐[1], 水野 晃治[1], 佐藤 隆[1]（[1]東京薬大薬•生化）

27Q-am14S
⏲11:36
スフィンゴミエリン合成酵素 2 ノックアウトマウス皮膚におけるスフィンゴ脂質含量および皮膚バリア機能
〇野本 晃司[1], 杉林 堅次[1], 山下 匡[2], 岡崎 俊朗[3], 徳留 嘉寛[1]（[1]城西大薬, [2]麻布大獣, [3]金沢医大医）

3 月 27 日（日） 午後
Q 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　416

オルガネラ・電子伝達系①
伊藤 孝司（徳島大院医歯薬）

27Q-pm01S
⏲13:15
hMCT1, 4 を介した基質輸送における細胞内ループの役割
〇二木 悠哉[1], 佐々木 将太郎[1], 小林 正紀[1], 井関 健[1]（[1]北大院薬）

27Q-pm02
⏲13:27
Plasmodium falciparum chloroquine resistance transporter (PfCRT) の部位特異的変異導入法を用いた速度論的解析
〇樹下 成信[1], 森山 佐和子[2], 表 弘志[2], 森山 芳則[2]（[1]岡山大•自然生命セ, [2]岡山大•医歯薬•生体膜生化）

27Q-pm03S
⏲13:39
小胞型ヌクレオチドトランスポーター特異的阻害剤の同定とプリン作動性化学伝達の in vivo 制御
〇加藤 百合[1,2], 日浅 未来[1], 門脇 敦志[1], 島 和弘[3], 市川 玲子[4], 岩槻 健[4], 北原 吉朗[4], 井上 剛[1], 遠藤 康男[3], 表 弘志[1], 森山 芳則[1,2], 宮地 孝明[2]（[1]岡山大院医歯薬, [2]岡山大自然研セ, [3]東北大院歯, [4]味の素イノベーション研）

27Q-pm04S
⏲13:51
ロテノン誘発神経細胞死におけるオートファジー・リソソーム系の関与
〇徳永 航[1], 宮良 政嗣[1,2], 古武 弥一郎[1], 太田 茂[1]（[1]広島大院医歯薬, [2]学振DC）

27Q-pm05S
⏲14:03
Ni^{2+}の細胞内への取り込み機構の解析
〇小野寺 亮[1], 浅川 三喜[1], 佐藤 大樹[1], 岸本 祐[1], 高桑 志帆[1], 仲條 嵩久[1], 清水 貴文[1], 平澤 典保[1]（[1]東北大院薬）

27Q-pm06S
⏲14:15
ナノマテリアルの細胞内運動とエンドソームによる輸送の連関解析
〇青山 道彦[1], 吉岡 靖雄[1,2], 東阪 和馬[1,3], 石本 里緒[1], 平井 はるな[1], 新井 由之[4], 永井 健治[1,4], 堤 康央[1,3,5]（[1]阪大院薬, [2]阪大微研, [3]医薬基盤健栄研, [4]阪大産研, [5]阪大MEIセ）

オルガネラ・電子伝達系②
宮地 孝明（岡山大院医歯薬）

27Q-pm07
⏲14:27
GM2 ガングリオシドーシス病患者由来 iPS 細胞を用いた神経系病態モデルの構築及び病態シグナル解析
〇辻 大輔[1], 山口 沙恵香[1], 本窪田 絢加[1], 水谷 安通[1], 伊藤 孝司[1]（[1]徳島大薬•創薬生命工学分野）

27Q-pm08 ABC トランスポーター ABCD4 のリソソームへの局在化はリソソーム膜タンパク質 LMBD1 に制御される
◷14:39
○川口 甲介[1], 岡元 拓海[1], 守田 雅志[1], 今中 常雄[1] ([1]富山大院薬)

27Q-pm09 グリコソーム形成因子をターゲットとした新規抗トリパノソーマ候補化合物の探索
◷14:51
○渡邉 雄一[1], 川口 甲介[1], 柏山 恭範[1], 江頭 慎一郎[2], 米須 清明[2], 岡部 隆義[2], 守田 雅志[1], 今中 常雄[1] ([1]富山大院薬・分子細胞機能学, [2]東大・創薬機構)

27Q-pm10 大理石病患者由来 V-ATPase a3 イソフォーム変異の骨吸収活性への影響
◷15:03
○松元 奈緒美[1], 髙橋 翔平[1], 工藤 昂士[1], 和田(孫) 戈虹[2], 和田 洋[3], 二井 將光[1], 中西(松井) 真弓[1] ([1]岩手医大薬, [2]同志社女大薬, [3]阪大産研)

27Q-pm11 リソソーム蓄積症におけるオートリソソームの形成異常
◷15:15
○本窪田 絢加[1], 辻 大輔[1], 山口 沙恵香[1], 水谷 安通[1], 伊藤 孝司[1] ([1]徳島大薬・創薬生命工学分野)

オルガネラ・電子伝達系③
今中 常雄（富山大院薬）

27Q-pm12 神経症状を呈するリソソーム病モデルマウスにおける オートファジーに関連した病態解析
◷15:27
○水谷 安通[1], 辻 大輔[1,2], 山口 沙恵香[1], 本窪田 絢加[1], Carmine SPAMPANATO[2], Andrea BALLABIO[2], 伊藤 孝司[1] ([1]徳島大薬・創薬生命工学分野, [2]Telethon Institute of Genetics and Medicine, Pozzuoli, Italy)

27Q-pm13S マウス Zrt/lrt-like protein 8 (mZIP8) の亜鉛輸送特性
◷15:39
○小池 晃広[1], 曹 若晶[1], 小川 未佳代[1], 三宅 沙央莉[1], 西田 健太朗[1], 長澤 一樹[1] ([1]京都薬大 衛生化学)

27Q-pm14S 腎尿細管での電解質再吸収における細胞骨格関連タンパク質 Moesin の役割の解明
◷15:51
○川口 高徳[1], 波多野 亮[1], 田村 淳[2], 月田 早智子[2], 浅野 真司[1] ([1]立命館大薬, [2]阪大院生命機能)

27Q-pm15 ミトコンドリアのカルシウムイオンチャネル複合体における EMRE の機能解析
◷16:03
○山本 武範[1,2], 山越 亮平[1,2], 原田 一樹[1,2], 河野 麻由[1,2], 桑原 かな[1,2], 南 尚希[1,2], 山田 安希子[2], 寺田 弘[3], 篠原 康雄[1,2] ([1]徳島大疾患プロテオゲノム研セ, [2]徳島大医歯薬, [3]新潟薬大)

27Q-pm16 カロリー制限が骨格筋線維タイプ別の機能に与える影響
◷16:15
○後藤 彰文[1], 斉藤 宏樹[2], 蒲谷 里穂[2], 須藤 結香[2,3], 樋上 賀一[2,3] ([1]東京理大院薬, [2]東京理大薬, [3]東京理大総研)

細胞接着①
野水 基義（東京薬大）

27Q-pm17S テネイシン C 由来のインテグリン活性化ペプチドによる神経膠芽腫細胞の悪性化進展
◷16:27
○俵 博希[1], 長井 怜雄[1], 堀越 ひかる[1], 藤田 元道[1], 伊豫田 拓也[1,2], 山本 哲哉[3], 深井 文雄[1,2] ([1]東京理大薬 分子病態学教室, [2]東京理大 RIST TRセンター, [3]筑波大附属病院 脳神経外科制御医学教室)

27Q-pm18S 大腸発がんおよびその悪性化進展におけるテネイシン C の関与
◷16:39
○菊池 優希[1], 渡辺 ひかる[1], 伊豫田 拓也[1], 鈴木 英雄[2], 深井 文雄[1] ([1]東京理大薬 分子病態学研究室, [2]筑波大人間総合科学研究科 病態制御医学専攻 消化器病態医学分野)

27Q-pm19S 膜型タンパク質翻訳伸長因子 eEF1A を介したペプチド FNIII14 の反接着作用の発現とその生理的意義
◷16:51
○猪股 弘基[1], 久我 章[1], 今泉 貴大[1], 伊豫田 拓也[1,2], 深井 文雄[1,2] ([1]東京理大薬 分子病態研究室, [2]東京理大 RIST TR センター)

細胞接着②
深井 文雄（東京理大薬）

27Q-pm20S ペプチド-アルギン酸マトリックスを用いたヒトラミニン α5G ドメイン活性配列の同定
◷17:03
○熊井 準[1], 中川 生彩[1], 片桐 文彦[1], 保住 建太郎[1], 吉川 大和[1], 野水 基義[1] ([1]東京薬大薬)

27Q-pm21 低分子化合物によるタイトジャンクションの制御
◷17:15
○天野 剛志[1], 野田 翔太[1], 中倉 由香子[1], 合田 名都子[1], 廣明 秀一[1] ([1]名大院創薬)

---

3 月 27 日（日） 午前
R 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 417

遺伝子構造・修復
宮澤 宏（徳島文理大香川薬）

27R-am01S ErbB4 によるチロシンリン酸化を介したヒストンメチル化制御
◷9:00
○中條 暖奈[1], 石橋 賢一[1], 青山 和正[1], 久保田 翔[1], 長谷川 仁美[1], 柴崎 美里[1], 山口 憲孝[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬・分子細胞生物学)

27R-am02S c-Abl による bHLH 転写制御因子のチロシンリン酸化の役割
◷9:12
○中村 怜央[1], 山口 憲孝[1], 柴崎 美里[1], 中條 暖奈[1], 阿蘇 拓也[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬・分子細胞生物学)

27R-am03 ヒストン脱アセチル化酵素 HDAC9 とハンチントン病関連因子の相互作用
◷9:24
○長田 茂宏[1], 新美 有希[1], 山口 桃子[1], 中村 真也[1], 今川 正良[1] ([1]名市大院薬)

27R-am04 PCNA のモノユビキチン化の制御によるヒト細胞での酸化的 DNA 損傷誘発突然変異抑制機構
◷9:36
○金尾 梨絵[1], 柏葉 脩一郎[1], 増田 雄司[1,2], 松尾(楠本) 理加[1], 花岡 文雄[3], 益谷 央豪[1] ([1]名大環医研, [2]名大院医, [3]学習院大理)

27R-am05 Rad17 における 9-1-1 複合体との相互作用に関わるモチーフの同定と解析
◷9:48
○福本 泰典[1], 池内 正剛[2], 中山 祐治[2], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬・分子細胞生物学, [2]京都薬大・生化学)

転写・スプライシング・アポトーシス①
益谷 央豪（名大環医研）

27R-am06S c-Abl は FOXA1 のチロシンリン酸化を介してエストロゲンシグナルを増強する
◷10:00
○柴崎 美里[1], 山口 憲孝[1], 久保田 翔[1], 青山 和正[1], 中條 暖奈[1], 山口 弘美[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬・分子細胞生物学)

27R-am07 アロマターゼ遺伝子の脳特異的プロモーター活性を制御するタンパク質の解析
◷10:12
○本田 伸一郎[1], 原田 信広[2], 小迫 知弘[1], 坂田 晃[1], 相川 晃慶[1], 刀根 菜七子[1], 添田 秦司[1] ([1]福岡大薬, [2]藤田保健衛生大医)

27R-am08 肝脂肪蓄積を促す LXRα による *FSP27* 遺伝子の発現調節機構の解析
◷10:24
○藍原 大甫[1], 松末 公彦[1], 松尾 康平[1], 瀧口 総一[2], 山野 茂[1] ([1]福岡大薬, [2]九州がんセンター臨床研究部)

27R-am09S 新規 GATA4 結合タンパク質 WDR5 は心筋細胞肥大を抑制する
◷10:36
○天野 七菜[1], 刀坂 泰史[1,2,3], 永井 陽介[1], 砂川 陽一[1,2,3], 和田 啓道[2], 島津 章[2], 長谷川 浩二[2], 森本 達也[1,2,3] ([1]静岡県大薬, [2]京都医療センター, [3]静岡県立総合病院)

27R-am10 atRA-RARα による *Tal2* 遺伝子転写調節機構の解明
◷10:48
○小林 隆信[1], 二宮 李恵[1], 鈴木 雅代[1], 喜納 克仁[1], 宮澤 宏[1] ([1]徳島文理大香川薬)

転写・スプライシング・アポトーシス②
山口 直人（千葉大院薬）

27R-am11 ◷11:00 薬用植物クララにおけるトランスクリプトーム解析
○韓 栄春[1], 高橋 弘喜[2], 中村 道美[1], Somnuk BUNSUPA[1], 吉本 尚子[1], 山本 浩文[3], 鈴木 秀幸[4], 柴田 大輔[4], 山崎 真巳[1], 斉藤 和季[1,5]（[1]千葉大院薬, [2]千葉大真菌センター, [3]東洋大生命, [4]かずさDNA研, [5]理研CSRS）

27R-am12 ◷11:12 改変 U1 snRNA を用いたヒトカテプシン A の遺伝子発現における スプライシング異常の是正
○池 啓伸[1], 山崎 尚志[2], 金澤 慶祐[2], 木村 麻里安[2], 南川 典昭[3], 辻 大輔[1], 伊藤 孝司[1]（[1]徳島大薬•創薬生命工学分野, [2]徳島大薬•臨床薬理学分野, [3]徳島大薬•生物有機化学分野）

27R-am13S ◷11:24 トリプトファンは ROS を介した肝細胞死を抑制する
○木村 拓也[1], 渡辺 恵史[1]（[1]武蔵野大薬）

27R-am14 ◷11:36 悪性中皮腫に対し，cSBL とペメトレキセドの併用は相乗的に抗腫瘍効果を示す
○佐藤 稔之[1], 立田 岳生[1], 菅原 栄紀[1], 菅野 秀一[1], 細野 雅祐[1]（[1]東北薬大）

---

3 月 27 日（日） 午後
R 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 417

ストレス
原 俊太郎（昭和大薬）

27R-pm01 ◷13:15 免疫応答におけるプレコンディショニング作用の解析
○前田 和宏[1], 平田 祐介[1], 野口 拓也[1], 松沢 厚[1]（[1]東北大•院薬•衛生化学）

27R-pm02 ◷13:27 Hsp70 の機能欠損体が示す細胞非自律的な変性抑制
○武内 敏秀[1,2], 鈴木 マリ[2], 坂井 聖子[1], 二木 史朗[1], 和田 圭司[2], 永井 義隆[2]（[1]京大化研, [2]国立精神•神経セ）

27R-pm03 ◷13:39 Hsp70 誘導および温熱感受性におけるサイトカインシグナル伝達系転写因子 Stat3 の関与
○齊藤 洋平[1], 的崎 雅史[1], 湯川 明久[1], 多田 円香[1], 久家 貴寿[1], 中山 祐治[1]（[1]京都薬大）

27R-pm04 ◷13:51 グルココルチコイドを介した海馬 CA1 LTP 誘導障害は細胞外 Zn^{2+}キレーターで回避できる
○鈴木 美希[1], 天白 宗和[1], 大橋 加純[1], 玉野 春南[1], 武田 厚司[1]（[1]静岡県大薬）

免疫・生体防御①
天野 富美夫（大阪薬大薬）

27R-pm05 ◷14:03 抗原の特徴的分布（ASDIS）を指標とする簡便で迅速な新規アレルギーマウスモデルの確立
○八巻 耕也[1], 吉野 伸[1]（[1]神戸薬大）

27R-pm06S ◷14:15 レチノイン酸による TSLP 発現制御機構の解析
○畑山 昂大[1], 平澤 典保[1]（[1]東北大院薬）

27R-pm07S ◷14:27 ヒト単球における Ni^{2+}による IL-8 産生誘導機序の解析
○浅川 三喜[1], 小野寺 亮[1], 岸本 祐[1], 高桑 志帆[1], 仲條 嵩久[1], 清水 貴文[1], 佐藤 大樹[1], 平澤 典保[1]（[1]東北大院薬）

27R-pm08 ◷14:39 リン酸化部位特異的抗体を用いた高親和性 IgE 受容体γ鎖のチロシンリン酸化の解析
山下 由美[1], 小谷 政晴[1], 高井 俊行[2], ○山下 俊之[1]（[1]奥羽大薬, [2]東北大加齢研）

27R-pm09S ◷14:51 腫瘍溶解性ウイルスであるレオウイルスは骨髄由来免疫抑制細胞の免疫抑制能を TLR3 シグナル依存的に阻害する
○片山 由貴[1], 大屋 有佳子[1], 寺沢 優一[1], 立花 雅史[1], 小檜山 康司[2,3], 石井 健[2,3,5,6], 審良 静男[3,4], 水口 裕之[1,2,7], 櫻井 文教[1]（[1]阪大院薬, [2]医薬健栄研, [3]免疫フロンティア研究セ, [4]阪大微研, [5]阪大院医, [6]阪大院生命機能, [7]阪大MEIセ）

27R-pm10S ◷15:03 各種構造改変キメラ抗原受容体の構築とそれらのマウス T 細胞における発現解析
○藤原 健人[1], 徳永 佑亮[1], 常井 彩加[1], 廣部 祥子[1], 中川 晋作[1], 岡田 直貴[1]（[1]阪大院薬）

免疫・生体防御②
平澤 典保（東北大院薬）

27R-pm11S ◷15:15 担がんマウスにおける腫瘍特異的 CD8+ T 細胞の機能低下に関する基礎的検討
○徳永 佑亮[1], 藤原 健人[1], 廣部 祥子[1], 中川 晋作[1], 岡田 直貴[1]（[1]阪大院薬）

27R-pm12 ◷15:27 *Lactobacillus helveticus* SBT2171 投与による実験的自己免疫性脳脊髄炎の症状緩和とその作用機序
○山下 舞亜[1], 浮辺 健[1], 小畠 英史[1], 江口 慧[1], 松原 由美[2], 馬場 一信[2], 猪村 帝[2], 中川 久子[2], 宮崎 忠昭[2]（[1]雪印メグミルク•ミルクサイエンス研, [2]北海道大•遺伝子病制御研）

27R-pm13S ◷15:39 気管支喘息における骨髄由来免疫抑制細胞の役割
○矢澤 佳奈[1], 斎藤 賢治[1], 堀江 一郎[1], 礒濱 洋一郎[1]（[1]東京理大薬）

27R-pm14S ◷15:51 マウス腹腔マクロファージの活性化に及ぼす培地の影響
○川上 智也[1], 河村 佳奈[1], 小池 敦資[1], 藤森 功[1], 天野 富美夫[1]（[1]大阪薬大•薬•生体防御）

27R-pm15 ◷16:03 シコニンと LPS の併用によって誘導されるマクロファージ細胞死を抑制する化合物の探索
○小池 敦資[1], 芝野 真喜雄[1], 藤森 功[1], 天野 富美夫[1]（[1]大阪薬大）

27R-pm16 ◷16:15 クルクミンと LPS によって誘導されるマクロファージの細胞障害性の解析
○齋藤 英美加[1], 小池 敦資[1], 藤森 功[1], 天野 富美夫[1]（[1]大阪薬大）

免疫・生体防御③
岡田 直貴（阪大院薬）

27R-pm17S ◷16:27 全身系投与型アデノウイルスベクターワクチンによる粘膜免疫誘導に重要なⅠ型 IFN シグナルの解析
○邊見 昌久[1], 立花 雅史[1], 藤本 夏希[1], 庄司 正樹[1], 櫻井 文教[1], 小檜山 康司[2,3], 石井 健[2,3], 審良 静男[3,4], 水口 裕之[1,2,5]（[1]阪大院薬, [2]医薬健栄研, [3]免疫フロンティア研究セ, [4]阪大微研, [5]阪大MEIセ）

27R-pm18 ◷16:39 D-アミノ酸型抗菌ペプチド KLKLLLLLKLK は L-アミノ酸型よりも細胞壁成分に高親和性である
○眞鍋 貴行[1], 川崎 清史[1]（[1]同志社女大）

27R-pm19S ◷16:51 好中球における ATP 分泌機構とその生理的意義の解明
○原田 結加[1], 日浅 未来[1], 宮地 孝明[2], 表 弘志[1], 森山 芳則[1]（[1]岡山大院医歯薬, [2]岡山大自然研セ）

27R-pm20 ◷17:03 オートファジーによる NLRP3 インフラマソーム活性化の制御
○齊藤 達哉[1], 髙濱 充寛[1]（[1]徳島大 酵素センター シグナル伝達）

27R-pm21 ◷17:15 リンパ球ホーミング阻害に基づくアレルギー性鼻炎抑制
○平川 城太朗[1,2], 今井 康之[2], 川島 博人[1,2,3]（[1]星薬大, [2]静岡県大薬, [3]千葉大院薬）

---

3 月 27 日（日） 午前
S 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 418

翻訳・翻訳後修飾①
藤室 雅弘（京都薬大）

27S-am01S ◷9:00 非 AUG コドンによる翻訳開始が担う機能的意義
○松下 永[1], 相澤 康則[2]（[1]東工大生命, [2]東工大バイオ）

27S-am02S ポリアミンによるコンドロイチン硫酸合成調節機構の解明
⏲9:12
○山口 勝利[1], 東 恭平[1], 今村 正隆[1], 西村 和洋[1], 柏木 敬子[2], 五十嵐 一衛[1,3], 戸井田 敏彦[1] ([1]千葉大院薬, [2]千葉科学大薬, [3]アミンファーマ研)

27S-am03S RNA 品質管理因子 Dom34 による新規抗ウイルス防御機構
⏲9:24
○西浦 久達[1], 野木森 拓人[1], 川島 生[1], 永井 貴広[1], 細田 直[1], 今高 寛晃[2], 星野 真一[1] ([1]名市大院薬, [2]兵庫県大院工)

翻訳・翻訳後修飾②
星野 真一（名市大院薬）

27S-am04S 心肥大期から心不全期にかけて p300 によるヒストンアセチル化修飾部位は変化する
⏲9:36
○船本 雅文[1,2], 砂川 陽一[1,2,3], 清水 果奈[1,2], 刀坂 泰史[1,2,3], 和田 啓道[2], 島津 章[2], 長谷川 浩二[2], 森本 達也[1,2,3] ([1]静岡県大薬, [2]京都医療セ, [3]静岡県立総合病院)

27S-am05S 単純ヘルペスウイルス感染によるユビキチン活性化酵素のユビキチン化の亢進
⏲9:48
○池田 茉莉那[1], 松廣 淳平[1], 賀川 裕貴[1], 渡部 匡史[1], 藤室 雅弘[1] ([1]京都薬大)

27S-am06S 心肥大応答を司る転写因子 GATA4 のホモ二量体化形成は Zinc フィンガードメインを介して行われる
⏲10:00
○清水 聡史[1], 依光 奈津美[1], 砂川 陽一[1,2,3], 刀坂 泰史[1,2,3], 和田 啓道[2], 島津 章[2], 長谷川 浩二[2], 森本 達也[1,2,3] ([1]静岡県大薬, [2]京都医療センター, [3]静岡県立総合病院)

細胞分裂・周期調節①
古川 龍彦（鹿児島大院医歯）

27S-am07 分裂期微小管の動態を指標とした，新規細胞分裂関連タンパク質の探索
⏲10:12
○上田 菜津美[1], 岩本 絵里香[1], 奥村 大喜[1], 久家 貴寿[1], 齊藤 洋平[1], 中山 祐治[1] ([1]京都薬大)

27S-am08S 細胞分裂後期特異的なリン酸化タンパク質の探索
⏲10:24
○岡田 美咲[1], 久家 貴寿[1], 齊藤 洋平[1], 足立 淳[2], 朝長 毅[2], 中山 祐治[1] ([1]京都薬大, [2]医薬基盤健栄研)

27S-am09 新規チューブリン免疫染色法による微小管構造制御に関連する分子の探索
⏲10:36
○居藤 亜弥[1], 久家 貴寿[1], 齊藤 洋平[1], 中山 祐治[1] ([1]京都薬大)

27S-am10S ERK による染色体整列の制御
⏲10:48
○岩本 絵里香[1], 上田 菜津美[1], 松井 優紀[2], 久家 貴寿[1], 齊藤 洋平[1], 山口 直人[2], 中山 祐治[1] ([1]京都薬大, [2]千葉大院薬)

27S-am11S Hsp105 による染色体分配制御機構
⏲11:00
○柿花 采那[1], 大東 優衣[1], 齊藤 洋平[1], 久家 貴寿[1], 中山 祐治[1] ([1]京都薬大 生化学)

細胞分裂・周期調節②
中山 祐治（京都薬大）

27S-am12S Prophase における Src 型チロシンキナーゼ基質の核局在の解析
⏲11:12
○平田 健介[1], 山口 憲孝[1], 森井 真理子[1], 米谷 詩織[1], 榎本 杏子[1], 佐藤 里香[1], 武田 祐美[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大•院薬•分子細胞生物)

27S-am13S v-Src 誘導発現株を用いた核の形態変化の解析
⏲11:24
○鈴木 亘[1], 本田 拓也[1], 岩澤 脩斗[1], 帶刀 隆[1], 山口 憲孝[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬•分子細胞生物学)

27S-am14S 核小体の完全性維持機構による細胞分裂制御と抗腫瘍薬の開発
⏲11:36
○川畑 拓斗[1,2], 河原 康一[1], 上條 陽平[1,2], 白石 岳大[1,3], 堀口 史人[1,2], 山本 雅達[1], 新里 能成[1], 南 謙太朗[1], 有馬 一成[2], 濱田 季之[2], 古川 龍彦[1] ([1]鹿児島大院医歯 分子腫瘍学分野, [2]鹿児島大院理工 生命化学専攻, [3]鹿児島大理 生命化学科)

3 月 27 日（日） 午後
S 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 418

生理活性物質①
高橋 典子（星薬大）

27S-pm01 加齢による脳梗塞リスクの上昇には、ポリアミン代謝の活性化とグルタチオン合成の低下が関わる
⏲13:15
○植村 武史[1,2], 渡辺 健太[2], 石橋 美咲[2], 斎木 遼太郎[1], 西村 和洋[2], 戸井田 敏彦[2], 五十嵐 一衛[1,2] ([1]アミンファーマ研, [2]千葉大院薬)

27S-pm02 シェーグレン症候群患者唾液中のアクロレイン結合免疫グロブリンの増加
⏲13:27
廣瀬 直雄[1], 斎木 遼太郎[1,2], 植村 武史[2], 鈴木 健裕[3], 堂前 直[3], 伊藤 聡[4,5], 高橋 芳右[5], 石井 伊都子[1], 戸井田 敏彦[1], ○柏木 敬子[6], 五十嵐 一衛[1,2] ([1]千葉大院薬, [2]アミンファーマ研, [3]理化学研, [4]新潟県立リウマチセンター, [5]新潟県立加茂病院, [6]千葉科学大薬)

27S-pm03 低コラーゲン皮膚モデルに及ぼす diosgenin 経口摂取の影響とそのメカニズム
⏲13:39
○渡瀬 大輔[1], 長田－赤穂 菜美[1], 楠田 真理子[1], 松永 和久[1], 加留部 善晴[1], 髙田 二郎[1] ([1]福岡大薬)

生理活性物質②
西村 和洋 （千葉大院薬）

27S-pm04S ビタミン A の抗癌作用とその機構の解明
⏲13:51
○李 川[1], 今井 正彦[1], 長谷川 晋也[1], 山崎 正博[1], 高橋 典子[1] ([1]星薬大医薬研病態機能制御学)

27S-pm05 難治がんに対する cinnamic acid 誘導体による増殖抑制作用
⏲14:03
○今井 正彦[1], 伊藤 優理香[1], 岩本 優花[1], 濱野 雄貴[1], 横江 弘雅[2], 津吹 政可[2], 高橋 典子[1] ([1]星薬大医薬研病態機能制御学, [2]星薬大医薬研生体分子有機化学)

27S-pm06 硫黄含有化合物 ONA の腫瘍関連マクロファージの活性化制御を介した抗腫瘍作用
⏲14:15
○藤原 章雄[1], 坪木 純子[1], 野原 稔弘[2], 池田 剛[2], 片渕 秀隆[1], 竹屋 元裕[1], 菰原 義弘[1] ([1]熊本大院生命科学, [2]崇城大薬)

酵素・酸化還元①
久下 周佐（東北薬大）

27S-pm07S c-Abl による TGF-β シグナル活性化メカニズムの解析
⏲14:27
○幸 龍三郎[1], 帯刀 隆[1], 青山 和正[1], 久保田 翔[1], 山口 憲孝[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬)

27S-pm08 高精度第一原理計算を用いた DPP-4 阻害薬に関する理論的研究 4
⏲14:39
○岡崎 誠司[1,2], 松尾 直也[1], 石坪 江梨花[1], 島野 仁[3], 常盤 広明[1,2] ([1]立教大理, [2]立教大未来分子研セ, [3]筑波大医)

27S-pm09 がん形質におけるシアリダーゼ NEU2 の機能解析
⏲14:51
○渡部 あゆみ[1], 疋田 智也[1], 鈴木 隆[1] ([1]静岡県大薬)

酵素・酸化還元②
常盤 広明（立教大理）

27S-pm10S DSS 惹起大腸炎マウスの CD14-TLR4-NF-κB シグナル経路に対する NO の作用
⏲15:03
○トン シン[1], 安川 圭司[2], 山田 健一[1,3] ([1]九大院薬, [2]第一薬大, [3]JSTさきがけ)

27S-pm11 過酸化水素の感知と代謝制御におけるペルオキシレドキシンの新機能
⏲15:15
○色川 隼人[1], 松山 由香[2], 本橋 ほづみ[3], 岩井 健太[1], 久下 周佐[1] ([1]東北薬大•微生物, [2]東北大•医•医化学, [3]東北大•加齢研)

27S-pm12S
15:27
ヒト血清アルブミンにおける活性イオウ分子種の検出と構造・機能への影響
○池田 真由美[1,2], 異島 優[1], 渡邊 博志[1], 大内 雄也[4], Xian MING[3], 赤池 孝章[5], 丸山 徹[1] ([1]熊本大院薬, [2]熊本大リーディング院HIGOプログラム, [3]Washington State Univ., [4]同仁化学, [5]東北大院医)

細胞内情報伝達①
土井 健史（阪大院薬）

27S-pm13
15:39
慢性骨髄増殖性腫瘍由来 JAK2 V617F 変異体による形質転換における EpoR リン酸化の役割
○上田 史仁[1], 多胡 めぐみ[1], 田村 悦臣[1] ([1]慶應大薬)

27S-pm14
15:51
RSK1 によるユビキチン連結酵素 UBE2R1/CDC34 のリン酸化と抗がん剤耐性
○片山 和浩[1], 野口 耕司[1], 杉本 芳一[1] ([1]慶應大薬)

27S-pm15
16:03
PKCα による Pim-1L の制御
○高見 麻由[1], 片山 和浩[1], 野口 耕司[1], 杉本 芳一[1] ([1]慶應大薬)

27S-pm16S
16:15
TGF-β シグナルにおける核内タンパク質の c-Abl によるリン酸化
○岩澤 脩斗[1], 九鬼 和雅[1], 幸 龍三郎[1], 柴崎 美里[1], 阿蘇 拓也[1], 帯刀 隆[1], 鈴木 亘[1], 山口 憲孝[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬•分子細胞生物学)

細胞内情報伝達②
多胡 めぐみ（慶應大薬）

27S-pm17S
16:27
乳腺上皮細胞における miRNA-205 の発現は ERK/MAPK シグナルを介した DNA のメチル化により制御されている
○長谷川 拓也[1], 岩片 仁志[1], 竹野 考慶[1], 佐藤 浩二[1], 酒巻 利行[1] ([1]新潟薬大薬)

27S-pm18
16:39
pseudokinase TRB1 によるインスリンを介した糖代謝関連因子の新たな発現制御機構
○都築 香里[1], 伊藤 友香[1], 井上 靖道[1], 林 秀敏[1] ([1]名市大院薬•細胞情報)

27S-pm19
16:51
ヒト栄養膜細胞の cAMP 誘導性細胞融合における OVOL1/2 発現制御
○草間 和哉[1], 白 汝嵐[1], 今川 和彦[1] ([1]東大院農)

27S-pm20S
17:03
細胞内光クロスリンク法による病態モデル細胞内でのタンパク質間相互作用解析技術の開発
○喜多 絢海[1], 東 咲子[1], 廣田 康二[1], 高島 成二[2], 樋野 展正[1], 土井 健史[1] ([1]阪大院薬, [2]阪大院医)

3 月 27 日（日） 午前
T 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　419

老化
板部 洋之（帝京大薬）

27T-am01S
9:00
強力な抗酸化物質である AP 誘導体の抗炎症作用
○掛 貴達[1], 高増 綾香[1], 森 美智[1], 今井 正彦[1], 長谷川 晋也[1], 高橋 典子[1] ([1]星薬大医薬研病態機能制御学)

27T-am02
9:12
Nutraceuticals in amelioration of protein oxidation loads during aging in mice
○Ramesh SHARMA[1,2], Preeticia DKHAR[1], Keiko ODERA[2], Ryoya TAKAHASHI[2] ([1]Dept. Biochem., North-Eastern Hill Univ., [2]Dept. Biochem., Fac. Pharm. Sci., Toho Univ.)

27T-am03
9:24
脂質過酸化由来の翻訳後修飾タンパク質の解析
○日坂 真輔[1], 鶴見 沙樹[1], 澤野 亜矢[1], 近藤 芳皓[1], 吉村 知優里[1], 田嶋 翔一[1], 赤津 裕康[2,3], 大澤 俊彦[4], 能勢 充彦[1] ([1]名城大薬, [2]名市大院, [3]福祉村病院, [4]愛知学院大心身科学)

細胞応答①
厚味 厳一（帝京大薬）

27T-am04S
9:36
転写共役因子 YAP 誘導性細胞突出現象の解析
○石原 えりか[1], 千葉 恭敬[1,2], 小川 佳宏[2], 仁科 博史[1] ([1]東京医歯大難研, [2]東京医歯大院医歯)

27T-am05S
9:48
c-Abl を介した TGF-β シグナル制御のメカニズム解析
○帯刀 隆[1], 幸 龍三郎[1], 岩澤 脩斗[1], 鈴木 亘[1], 山口 憲孝[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬分子細胞生物学研究室)

27T-am06S
10:00
機能的ポリマーを用いた浮遊培養法における血管平滑筋細胞の増殖抑制
○名取 知美[1], 内田 雅士[2], 金木 達朗[3], 安部 菜月[3], 藤吉 正哉[1], 有吉 範高[2], 石井 伊都子[1,2] ([1]千葉大院薬, [2]千葉大病院薬, [3]日産化学工業)

27T-am07S
10:12
Ridaifen-B 構造類縁体によって誘導されるオートファジーにはコレステロール蓄積が関係している
○岩澤 卓弥[1], 酒井 博遥[1], 水澤 彰人[2], 太田 のぞみ[2], 中田 健也[3], 椎名 勇[2], 四宮 貴久[4], 長原 礼宗[1] ([1]東京電大理工, [2]東京理大理, [3]島根大総合理工, [4]青森大薬)

27T-am08
10:24
細胞がん化における TRB1 の生理機能とがん分子標的としての可能性
○井上 靖道[1], 宮嶋 ちはる[1,2], 鈴木 千晶[1], 伊藤 友香[1], 林 秀敏[1] ([1]名市大院薬, [2]浜松医大)

細胞応答②
仁科 博史（東京医歯大難研）

27T-am09
10:36
Ⅰ型コラーゲン 3 次元培養系における血管平滑筋細胞増殖抑制における PI3K の関与
○三浦 寄子[1], 内田 雅士[2], 藤吉 正哉[1], 有吉 範高[1,2], 石井 伊都子[1,2] ([1]千葉大院薬, [2]千葉大病院薬)

27T-am10S
10:48
脂肪細胞由来マイクロパーティクルが示す血液凝固亢進作用の強さの違いについて
○中谷 絵理子[1], 内藤 靖雄[1], 石橋 賢一[1], 大藏 直樹[1], 相内 敏弘[2], 板部 洋之[2], 厚味 厳一[1] ([1]帝京大薬, [2]昭和大)

27T-am11
11:00
エパルレスタットによる Nrf2 制御抗酸化因子の発現誘導に関する研究
○山 佳織[1], 村尾 優[1], 佐藤 恵亮[1], 立浪 良介[1], 丹保 好子[1] ([1]北海道薬大)

27T-am12S
11:12
血管内皮細胞におけるカドミウム及びエパルレスタットの影響
○村尾 優[1], 佐藤 恵亮[1], 立浪 良介[1], 山 佳織[1], 丹保 好子[1] ([1]北海道薬大)

27T-am13
11:24
ホモシステイン誘導細胞傷害に対するアミノ酸欠乏の影響
○佐藤 恵亮[1], 村尾 優[1], 立浪 良介[1], 山 佳織[1], 丹保 好子[1] ([1]北海道薬大)

27T-am14
11:36
エライジン酸が脂肪細胞の GLUT4 の移行に与える影響について
○石橋 賢一[1], 根橋 佳奈[1], 大藏 直樹[1], 厚味 厳一[1] ([1]帝京大薬)

3 月 27 日（日） 午後
T 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　419

発生・形態形成・その他
林 秀敏（名市大院薬）

27T-pm01
13:15
肝臓においてグルタチオンがオートファジー機能に及ぼす影響
○東端 里佳子[1], 水之江 雄平[1], 須藤 結香[1], 樋上 賀一[1] ([1]東京理大薬)

27T-pm02S
13:27
乳がんの上皮間葉転換（EMT）における FOXA1 の機能
○安斎 絵里菜[1], 柴崎 美里[1], 山田 千愛[1], 森井 真理子[1], 平田 健介[1], 帯刀 隆[1], 岩澤 脩斗[1], 阿蘇 拓也[1], 山口 憲孝[1], 山口 直人[1] ([1]千葉大院薬•分子細胞生物学)

27T-pm03 脂肪組織由来間葉系幹細胞で高発現する Nr4a1/2/3 の機能解析
13:39
○山口 賢彦[1], 嘉山 節子[1], 内山 瑛美[1], 須山 大輔[1], 高橋 茉那[1], 石村 裕樹[1], 山崎 泰広[1], 五十里 彰[2], 菅谷 純子[1]（[1]静岡県大薬, [2]岐阜薬大）

3 月 27 日（日） 午前
U 会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 511+512

微生物①
三宅 正紀（静岡県大薬）

27U-am01S *Streptococcus agalactiae* が分離された診療科と分離菌の特徴
9:00
○鈴木 雅恵[1], 輪島 丈明[1], 野口 雅久[1]（[1]東京薬大•薬•病原微生物）

27U-am02S 緑膿菌が III 型エフェクター ExoS を上皮細胞内に注入するために必要な IV 型線毛の機能解析
9:12
○松井 直之[1], 四方 基嗣[1], 石山 彩奈[1], 前川 結[1], 林 直樹[1], 後藤 直正[1]（[1]京都薬大•微生物•感染制御学分野）

27U-am03S 腸管上皮細胞が緑膿菌によるムチン層透過を亢進する機構の解析
9:24
○横谷 篤[1], 古曽志 まり子[1], 森田 眞由[1], 福西 千晶[1], 山本 昌美[1], 林 直樹[1], 後藤 直正[1]（[1]京都薬大•微生物•感染制御学分野）

27U-am04 マラリア原虫の膜タンパク質輸送マシーナリーの解析
9:36
○宮崎 真也[1], 加賀谷 渉[1,2], Xiaotong ZHU[1], Chitama BEN[1], 矢幡 一英[1], 金子 修[1]（[1]長崎大•熱研•原虫学分野, [2]東医歯大院•国際環境寄生虫病学分野）

27U-am05S 皮膚マイクロバイオーム環境の適正化：細菌と真菌の相互作用
9:48
○齊藤 知慧[1], 張 音実[1], 杉田 隆[1]（[1]明治薬大）

微生物②
黒田 照夫（岡山大院医歯薬）

27U-am06S 水痘帯状疱疹ウイルス portal タンパクを標的とする新規抗ウイルス化合物の同定と作用機序の解析
10:00
○安井 瑠香[1], 井上 直樹[1]（[1]岐阜薬大）

27U-am07 プロトン輸送 ATPase を標的とする抗歯周病化合物の探索
10:12
○関谷 瑞樹[1], 高橋 歩実[1], 小田原 大樹[1], 下山 佑[2], 木村 重信[2], 中西（松井）真弓[1]（[1]岩手医大薬, [2]岩手医大歯）

27U-am08S 第一原理計算および分子動力学シミュレーションを用いた抗ヒトパラインフルエンザ薬に関する理論的研究
10:24
○松尾 直也[1], 岡崎 誠司[1,2], 池田 潔[3], 高橋 忠伸[4], 鈴木 隆[4], von Itzstein MARK[5], 常盤 広明[1,2]（[1]立教大•理, [2]立教大•未来分子研究セ, [3]広島国際大•薬, [4]静岡県大•薬, [5]Inst. Glycomics Griffith Univ.）

27U-am09 微生物培養液からの赤痢アメーバ特異的システイン生合成経路阻害物質の探索
10:36
○深澤 航[1], 柘植 聡志[2], 森 美穂子[2,3], 野中 健一[2,3], 松本 厚子[2,3], 野崎 智義[4], 大村 智[3], 塩見 和朗[2,3]（[1]北里大理, [2]北里大感染制御, [3]北里大生命研, [4]感染研）

27U-am10 微生物二次代謝産物からのミトコンドリア標的にした農薬リード化合物の探索
10:48
○渡邊 善洋[1], 須賀 拓弥[1], 成沢 里美[2], 岩月 正人[1,3], 中島 琢自[3], 野中 健一[1,3], 塩月 孝博[4], 篠原 康雄[5], 一丸 直哉[6], 浅見 行弘[1,3], 三芳 秀人[7], 大村 智[3], 塩見 和朗[1,3]（[1]北里大感染制御, [2]北里大理, [3]北里生命研, [4]農生資研, [5]徳島大院薬, [6]京都学園大バイオ環境, [7]京大院農）

微生物③
後藤 直正（京都薬大）

27U-am11 ニキビ患者由来表皮ブドウ球菌におけるキノロン耐性化の分布
11:00
○中瀬 恵亮[1], 野口 雅久[1]（[1]東京薬大薬 病原微生物学）

27U-am12S 肺炎球菌結合型ワクチン市販後における莢膜型の変化と新たに出現した無莢膜型株の特徴
11:12
○大里 隆二[1], 輪島 丈明[1], 野口 雅久[1]（[1]東京薬大•薬•病原微生物）

27U-am13S 臨床分離されたメチシリン耐性黄色ブドウ球菌の抗菌薬耐性と型別に関する解析
11:24
○藤岡 充史[1], 森田 大地[2], 杉山 哲大[3], 近藤 祥代[3], 塩田 澄子[4], 黒田 照夫[1,2]（[1]岡山大薬, [2]岡山大院医歯薬, [3]津山中央病院薬, [4]就実大薬）

27U-am14S 大腸菌 AcrB-AcrA 融合タンパクの解析と AcrAB-TolC 構成比の決定
11:36
○林 克彦[1,2,3], 中島 良介[2], 櫻井 啓介[2], 北川 公惠[2], 山崎 聖司[1,2], 西野 邦彦[1,2], 山口 明人[2]（[1]阪大院薬, [2]阪大産研, [3]学振DC1）

3 月 27 日（日） 午後
U 会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 511+512

微生物④
鈴木 隆（静岡県大薬）

27U-pm01 貪食による Toll like receptor シグナル経路の増強
13:15
○上野 貴之[1], 安藤 美菜子[1], 金谷 詩織[1], 山本 理絵[1], 川崎 清史[1]（[1]同志社女大薬）

27U-pm02S 小胞体保留シグナルを利用した分泌型 IgA の植物での生産性向上
13:27
○森兼 捷太[1], 細川 奈緒[1], 中西 勝宏[1], 黒羽子 孝太[1], 丹羽 康夫[2], 小林 裕和[2], 今井 康之[1]（[1]静岡県大薬, [2]静岡県大院食品）

27U-pm03S 抗 HIV-1 活性を持つ宿主性タンパク質 glyceraldehyde 3-phosphate dehydrogenase によるウイルス前駆体タンパク質のキャプチャリング機構
13:39
○伊賀 望[1], 岸本 直樹[2], 鬼塚 彩乃[1], 桐原 知江[1], 高宗 暢暁[3], 庄司 省三[2], 三隅 将吾[2]（[1]熊本大薬•環境分子保健学, [2]熊本大院生科•環境分子保健学, [3]熊本大KICO）

27U-pm04 miR-27 による Cyclin G1 の発現抑制がアデノウイルス感染に与える影響
13:51
○町谷 充洋[1], 櫻井 文教[1], 若林 圭作[1], 立花 雅史[1], 水口 裕之[1,2,3]（[1]阪大院薬, [2]医薬健栄研, [3]阪大MEIセ）

微生物⑤
川崎 清史（同志社女大）

27U-pm05 インフルエンザウイルスの感染・増殖に伴うヌクレオプロテインのアセチル化修飾
14:03
○畠山 大[1], 庄司 正樹[1], 楊 理奈[1], 大海 菜穂[1], 山吉 誠也[2], 竹中 志織[1], 新垣 優美絵[1], 増田 麻来[1], 小松 嗣典[1], 中野 雅博[3], 野田 岳志[3], 河岡 義裕[2], 葛原 隆[1]（[1]徳島文理大•薬•生化学, [2]東大•医科研•ウイルス感染分野, [3]京大•ウイルス研）

27U-pm06S インフルエンザウイルス核タンパク質のアセチル化に関与する宿主酵素の解析
14:15
○竹中 志織[1], 庄司 正樹[1], 畠山 大[1], 大海 菜穂[1], 葛原 隆[1]（[1]徳島文理大薬•生化学）

27U-pm07S H7N9 型トリインフルエンザウイルス NA の基質特異性の解析
14:27
○田本 千尋[1], 高橋 忠伸[1], 紅林 佑希[1], 池田 潔[2], 河岡 義裕[3], 鈴木 隆[1]（[1]静岡県大薬, [2]広島国際大薬, [3]東大医科研）

27U-pm08 ㋓14:39 異なる細胞融合活性をもつ重症熱性血小板減少症候群ウイルス株の解析
〇津田 祥美[1], 西尾 佐奈恵[1], 伊東 諒[1], 清水 健太[1], 吉松 組子[1], 有川 二郎[1] ([1]北大院医)

脳・神経系・老化①
竹内 春樹（東大院薬）

27U-pm09 ㋓14:51 脳形成に必須な巨大分泌タンパク質リーリンの新規作用の解明
〇末永 舞[1], 柳生 隼太[1], 河野 孝夫[1], 服部 光治[1] ([1]名市大院薬)

27U-pm10 ㋓15:03 アミロイドβペプチドが分泌タンパク質リーリンに及ぼす影響の解明
〇山影 祐子[1], 河野 孝夫[1], 服部 光治[1] ([1]名市大院薬)

27U-pm11 ㋓15:15 緑茶の抗ストレス作用に関する検討
〇海野 けい子[1,2], 原 文音[1], 井口 和明[1], 林 美智子[2], 中村 順行[2] ([1]静岡県大薬•統合生理学, [2]静岡県大院•茶学総合研究センター)

27U-pm12S ㋓15:27 ラットにおける洞察による学習促進
〇牧野 健一[1], 池谷 裕二[1] ([1]東大院薬)

27U-pm13S ㋓15:39 物体認識記憶の獲得における扁桃体外側基底核Zn2+シグナリングの関与
〇藤瀬 裕貴[1], 窪田 充泰[1], 鈴木 美希[1], 玉野 春南[1], 武田 厚司[1] ([1]静岡県大薬)

脳・神経系・老化②
武田 厚司（静岡県大薬）

27U-pm14S ㋓15:51 脳梗塞急性期におけるヘパラン硫酸分解機構の解明
〇石川 涼太[1], 東 恭平[1], 服部 奈津子[1], 降幡 知巳[1], 藤吉 正哉[1], 石井 伊都子[1], 五十嵐 一衛[1,2], 戸井田 敏彦[1] ([1]千葉大院薬, [2]アミンファーマ研)

27U-pm15 ㋓16:03 扁桃体における神経活動と連動したシアリダーゼ活性の変化と機能解析
大塚 妃織[1], 〇南 彰[1], 播摩 沙希[1], 大坪 忠宗[2], 池田 潔[2], 鈴木 隆[1] ([1]静岡県立大薬•生化学, [2]広島国際大薬•有機合成化学)

27U-pm16S ㋓16:15 C9orf72 結合タンパク質 SMCR8 の機能の解析
〇三好 潤子[1], 滝谷 美香[1], 紀 嘉浩[1], 佐藤 準一[1] ([1]明治薬大)

27U-pm17S ㋓16:27 オペラントシステムを用いた恒常法によるマウス限界フリッカー値の同定
〇野村 悠一郎[1], 三田 純平[1,2], 有村 琢磨[1], 生田 昌平[1,2], 瀧澤 伸剛[1,2], 鈴木 慎一郎[4], 坪 泰宏[5], 天野 晃[2,4], 下ノ村 和弘[3], 瀬谷 安弘[5], 小池 千恵子[1,2] ([1]立命館大薬, [2]立命館大院生命科学, [3]立命館大理工, [4]立命館大生命科学, [5]立命館大情報理工)

脳・神経系・老化③
服部 光治（名市大院薬）

27U-pm18S ㋓16:39 網膜における小胞型ポリアミントランスポーターの発現と局在
〇森山 理美[1], 日浅 未来[1], 宮地 孝明[2], 表 弘志[1], 森山 芳則[1,2] ([1]岡山大院医歯薬, [2]岡山大自然研セ)

27U-pm19S ㋓16:51 マウス嗅覚系における神経活動依存的な回路形成機構
〇伊原 尚樹[1], 中嶋 藍[1], 池谷 裕二[1], 竹内 春樹[1] ([1]東大院薬)

27U-pm20 ㋓17:03 老齢ラットの海馬過剰興奮による記憶障害と細胞外 Zn^{2+}の関与
〇小池 勇太[1], 大澤 美紗[2], 玉野 春南[2], 武田 厚司[2] ([1]静岡県大院薬, [2]静岡県大薬)

27U-pm21S ㋓17:15 テネイシン C に由来するペプチドは細胞老化誘導を介してがん化に関与する
〇大澤 琢郎[1], 萩原 裕[1], 山下 理菜[1], 伊豫田 拓也[1,2], 深井 文雄[1,2] ([1]東京理大 分子病態学研究室, [2]東京理大 RIST TRセンター)

環境・衛生系薬学（口頭発表）

3 月 27 日（日） 午後
T 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 419

衛生化学・公衆衛生学①
姫野 誠一郎（徳島文理大薬）

27T-pm04
◷13:51
機能性食品含有プロテオグリカンおよびグリコサミノグリカンの分別定量
○岡本 悠佑[1], 東 恭平[1], 真野 貴[2], 和田 竜哉[2], 戸井田 敏彦[1]（[1]千葉大院薬, [2]日本薬品）

27T-pm05S
◷14:03
薬剤耐性インフルエンザウイルスの迅速かつ選択的な検出分離法の確立
○紅林 佑希[1], 高橋 忠伸[1], 大坪 忠宗[2], 田本 千尋[1], 池田 潔[2], 鈴木 隆[1]（[1]静岡県大薬, [2]広島国際大薬）

27T-pm06
◷14:15
ナノ銀粒子曝露による DNA メチル化酵素の mRNA 発現に与える影響
○真木 彩花[1], 東阪 和馬[1,2], 吉岡 靖雄[1,3], 青山 道彦[1], 西川 雄樹[1], 石坂 拓也[1], 笠原 淳平[1], 堤 康央[1,2,4]（[1]阪大院薬, [2]医薬基盤健栄研, [3]阪大微研, [4]阪大MEIセ）

27T-pm07
◷14:27
ナノマテリアルの胎盤関門透過性へ与える影響の評価
○清水 雄貴[1], 吉岡 靖雄[1,2], 東阪 和馬[1,3], 青山 道彦[1], 難波 佑貴[1], 泉 雅大[1], 柳原 格[4], 堤 康央[1,3,5]（[1]阪大院薬, [2]阪大微研, [3]医薬健栄研, [4]大阪母子医療セ, [5]阪大MEIセ）

衛生化学・公衆衛生学②
早川 麿紀男（東京薬大薬）

27T-pm08
◷14:39
重合緑茶カテキンを豊富に含む香煎茶の肥満改善効果の検討
○筒井 優介[1], 刀坂 泰史[1,2], 砂川 陽一[1,2], 井上 達秀[3], 森脇 秀明[3], 清水 篤[4], 鳴嶋 茂治[5], 和田 啓道[2], 長谷川 浩二[2], 森本 達也[1,2,3]（[1]静岡県大薬, [2]京都医療センター展開医療研究部, [3]静岡県立総合病院, [4]サンダイヤ, [5]ティークラフト）

27T-pm09
◷14:51
油脂中のオレイン酸含量が SHRSP 寿命短縮に与える影響
○近藤 佑香[1], 立松 憲次郎[1], 大原 直樹[2]（[1]岐阜薬大, [2]金城学院大薬）

27T-pm10S
◷15:03
内皮細胞のシンデカン-4 は TGF-β_1 により二相性に発現調節される
○原 崇人[1], 吉田 映子[1], 藤原 泰之[2], 山本 千夏[3], 鍜冶 利幸[1]（[1]東京理大薬, [2]東京薬大薬, [3]東邦大薬）

27T-pm11S
◷15:15
クルクミンとモノアセチルクルクミンによるオートファジーの誘導発現メカニズムの解明
○松田 慎也[1], 小野寺 章[1], 藤井 綾子[1], 谷口 甲介[1], 井崎 泰徳[1], 川崎 真司[1], 森川 ありさ[1], 屋山 勝俊[1], 水品 善之[2], 河合 裕一[1]（[1]神戸学院大薬, [2]信州大院農学）

環境科学①
吉田 成一（大分県立看護科学大）

27T-pm12S
◷15:27
自動車排出粒子の細胞内取り込みとサイトカイン産生についての検討
○森川 ありさ[1], 小野寺 章[1], 川崎 真司[1], 藤井 綾子[1], 井崎 泰徳[1], 松田 慎也[1], 谷口 甲介[1], 屋山 勝俊[1], 河合 裕一[1]（[1]神戸学院大薬）

27T-pm13S
◷15:39
自動車排出粒子の経鼻投与によるマウスの学習・記憶への影響
○川崎 真司[1], 小野寺 章[1], 井崎 泰徳[1], 谷口 甲介[1], 藤井 綾子[1], 松田 慎也[1], 森川 ありさ[1], 屋山 勝俊[1], 河合 裕一[1]（[1]神戸学院大薬）

27T-pm14S
◷15:51
低用量のディーゼル排ガス曝露が呼吸器系のセラミド代謝に及ぼす影響
○小野田 淳人[1,2,3], Hazem M. E. SHAHEEN[1,4], 中村 仁幸[2], 新海 雄介[1], Ashraf A. EL-GHONEIMY[1,5], 武田 健[1], 梅澤 雅和[1,6]（[1]東京理大•研究推進機構•総研院•環境次世代健康セ, [2]東京理大院薬, [3]日本学術振興会特別研究員DC, [4]Faculty of Veterinary Medicine, Damanhur University, Egypt, [5]Faculty of Veterinary Medicine, South Valley University, Egypt, [6]東京理大•研究推進機構•総研院•イメージングフロンティア）

27T-pm15S
◷16:03
抗アンドロゲン剤ばく露による肝臓の糖代謝異常を伴う脂肪蓄積の亢進と脂肪肝の誘発
○髙木 康平[1], 藤谷 航平[1], 青木 明[1], 中西 剛[1], 永瀬 久光[1]（[1]岐阜薬大）

環境科学②
黄 基旭（東北大院薬）

27T-pm16
◷16:15
土壌環境における非結核性抗酸菌の群集構造解析
○一條 知昭[1], 鍵村 直樹[1], 菅田 真理[2], 山口 進康[1], 那須 正夫[1]（[1]阪大院薬, [2]阪大薬）

27T-pm17
◷16:27
溶液中 FISH 法の開発およびマイクロ流路システムを用いた危害細菌の特異的検出
山口 進康[1], ○後藤 聡子[1], 那須 正夫[1]（[1]阪大院薬）

27T-pm18
◷16:39
バンコマイシンによる IL-1β 分泌機構の解析
○西舘 亜紀子[1], 平田 祐介[1], 野口 拓也[1], 松沢 厚[1]（[1]東北大•院薬•衛生化学）

27T-pm19
◷16:51
GC-MS/MS による大気粉塵中多環芳香族炭化水素キノン類の発生源評価
○本間 千春[2], 宇於崎 和香[1], 北 将大[2], 唐 寧[2], 早川 和一[2], 鳥羽 陽[2]（[1]金沢大薬, [2]金沢大院医薬保）

27T-pm20S
◷17:03
日本海及び中国長江における多環芳香族炭化水素類の濃度推移とその要因解析
○牧野 史弥[1], 唐 寧[1], 鳥羽 陽[1], 功刀 正行[2], 早川 和一[1,2]（[1]金沢大•薬, [2]金沢大•環日セ）

3 月 28 日（月） 午後
K 会場 パシフィコ横浜 会議センター 3F 313+314

社会薬学
中村 武夫（近畿大薬）

28K-pm13S
◷15:39
医薬分業の発達の歴史的分析—1970 年代の進展の要因
○赤木 佳寿子[1]（[1]一橋大社）

28K-pm14S
◷15:51
全国の中学校における「医薬品に関する教育」の指導実態調査
寺町 ひとみ[1], ○江﨑 宏樹[1], 舘 知也[1], 齊藤 康介[1], 加藤 未紗[1], 臼井 一将[1], 野口 義紘[1], 勝野 眞吾[1]（[1]岐阜薬大）

28K-pm15
◷16:03
電子お薬手帳システム harmo のジェネリック置換率への影響分析
○五十嵐 中[1], 福士 岳歩[2], 新谷 眞介[2], 高木 芳徳[2], 渡邉 普[2]（[1]東大院薬, [2]ソニー）

レギュラトリーサイエンス
恩田 光子（大阪薬大）

28K-pm16
◷16:15
当院における G-CSF 先行品およびバイオ後続品での安全性比較
○鎌田 泉[1], 小林 哲[2], 石井 明子[2], 豊島 聰[3]（[1]三宿病院薬, [2]国衛研, [3]武蔵野大薬）

28K-pm17
16:27
上皮成長因子受容体，血管内皮増殖因子受容体を介する情報伝達系を標的とする抗体医薬品と受容体チロシンキナーゼ阻害薬のレギュラトリーサイエンス
○西村（鈴木）多美子[1,2], 田中 伸枝[2], 青木 孝文[2,3]（[1]就実大薬, [2]就実大院薬, [3]MSD）

28K-pm18S
16:39
本邦特有の薬価制度である市場拡大再算定と新薬創出・適応外薬解消等加算における矛盾点の指摘
○柴田 翔洋[1], 川口 ひとみ[2], 植村 良太郎[2], 中村 洋[3], 鈴木 岳之[1,2]（[1]慶應大院薬, [2]慶應大薬, [3]慶應大院経営管理）

28K-pm19
16:51
薬事と知財を連結するアカデミア創薬の効率的な推進
○内海 潤[1]（[1]がん研究会）

医療系薬学（口頭発表）

3 月 28 日（月） 午前
K 会場　パシフィコ横浜　会議センター　3F　313+314

分布・代謝
山崎 浩史（昭和薬大）

28K-am08S
◷10:24
SGLT2 阻害薬 dapagliflozin のラット皮膚組織移行性に及ぼす投与量の影響
〇渡邊 こと美[1], 河渕 真治[1], 吉岡 涼輔[1], 伊藤 由佳子[1], 栄田 敏之[1]（[1]京都薬大）

28K-am09S
◷10:36
SGLT2 阻害薬 canagliflozin のラット皮膚組織移行性
〇矢野 京香[1], 中野 一樹[1], 河渕 真治[1], 伊藤 由佳子[1], 栄田 敏之[1]（[1]京都薬大）

28K-am10S
◷10:48
I 型アレルギー誘発マウスでのイミプラミンとフェナセチンの体内動態
〇駒田 爽[1], 谷野 公俊[1], 上田 耕士[1], 上田 ゆかり[1], 櫻井 栄一[1]（[1]徳島文理大薬）

28K-am11
◷11:00
プロバイオティクスの CYP3A4 制御を介した脂質異常症治療の有用性の評価
〇班目 陽一[1], 清水 美貴子[1], 松本 光晴[2], 田村 悦臣[1]（[1]慶應大薬, [2]協同乳業 研究所）

ADME・PK/PD
黄倉 崇（帝京大薬）

28K-am12
◷11:12
B 型肝炎ウイルス新規候補治療薬 4'-CN-2'-deoxyinosine (SK14-061a) 及び 4'-CN-2'-deoxyguanosine (SK13-140) の体内動態解析
〇橋本 麻衣[1], 田口 和明[1], 石黒 貴子[1], 向後 悟[2], 満屋 裕明[2,3,4], 小田切 優樹[1,5]（[1]崇城大薬, [2]国際医療研セ, [3]熊本大医, [4]NIH, [5]崇城大DDS研）

28K-am13S
◷11:24
新規抗高尿酸血症化合物の探索ならびに生物薬剤学的解析
〇仁平 拓也[1], 後 英理[1], 松田 周作[2], 岡 周作[2], 水元 隆博[2], 佐藤 秀行[1], 世戸 孝樹[1], 尾上 誠良[1]（[1]静岡県大薬, [2]ILS）

28K-am14
◷11:36
オキサリプラチン誘発末梢神経障害の発現リスクと血漿中体内動態との関連性
〇清水 理紗[1], 高橋 千春[1], 武貞 和希[1], 武田 茉子[1], 森本 実希[1], 河渕 真治[1], 伊藤 由佳子[1], 栄田 敏之[1]（[1]京都薬大•薬物動態）

3 月 28 日（月） 午前
L 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　411

トランスポーター
久保 義行（富山大薬）

28L-am01
◷9:00
ABCB5 はグルタチオン合成阻害薬の効果を低下させる
〇近藤 慎吾[1], 片山 和浩[1], 野口 耕司[1], 杉本 芳一[1]（[1]慶應大薬•化学療法）

28L-am02
◷9:12
各種 Brijs を用いた Quinidine の消化管吸収性の改善及び P-gp の機能抑制機構の解明
〇趙 婉廷[1], 草森 浩輔[1], 勝見 英正[1], 坂根 稔康[1], 山本 昌[1]（[1]京都薬大）

28L-am03S
◷9:24
ヒト腎臓がん細胞の P-gp および MRPs 輸送機能における足場タンパクの関与
〇加藤 木綿子[1], 矢野 健太郎[1], 井戸田 陽子[1], 荒川 大[1], 荻原 琢男[2]（[1]高崎健康福祉大薬, [2]高崎健康福祉大院）

28L-am04S
◷9:36
末期腎不全患者血清を曝露させた大腸がん由来細胞株における SN-38 感受性の低下
〇小澤 将一[1], 辻本 雅之[1], 内山 仁[2], 伊藤 なつこ[1], 森下 智恵[1], 入江 怜祐[1], 坂下 透子[1], 山本 瑞紀[1], 古久保 拓[3], 和泉 智[3], 立木 秀尚[2], 山川 智之[4], 峯垣 哲也[1], 西口 工司[1]（[1]京都薬大•臨床薬学, [2]東和薬品, [3]仁真会 白鷺病院薬, [4]仁真会 白鷺病院 診療部）

28L-am05
◷9:48
葉酸トランスポーター RFC によるメトトレキサートの取り込みと肺障害誘発との関連解析
〇川見 昌史[1], 原林 六華[1], 宮本 未緒花[1], 湯元 良子[1], 高野 幹久[1]（[1]広島大院医歯薬）

28L-am06
◷10:00
Slc6a GABA/taurine トランスポーターによるヒポタウリン輸送活性の比較
〇西村 友宏[1], 吉田 裕子[1], 樋口 慧[1,2], 登美 斉俊[1], 中島 恵美[1]（[1]慶應大薬, [2]帝京大薬）

薬物間相互作用
前田 和哉（東大院薬）

28L-am07S
◷10:12
ヒト有機アニオントランスポータ 3(hOAT3)を介したペメトレキセドの輸送に及ぼすプロトンポンプ阻害薬の影響
〇濱田 裕悟[1], 池村 健治[1,2], 岩本 卓也[1,2], 奥田 真弘[1,2]（[1]三重大院医, [2]三重大病院薬）

28L-am08
◷10:24
関節リウマチに対するプロバイオティクスの有用性とメトトレキサートとの相互作用の検討
〇鈴木 真伍[1], 清水 美貴子[1], 松本 光晴[2], 袴田 潤[1], 橋口 正行[1], 望月 眞弓[1], 田村 悦臣[1]（[1]慶應大薬, [2]協同乳業 研究所）

28L-am09S
◷10:36
アリスキレンの肝消失過程に及ぼす有機アニオン輸送ポリペプチド 1B1 及び 1B3 の関与
〇入江 裕子[1], 辻本 雅之[1], 吉田 拓弥[1,2], 藤岡 春乃[1], 川上 祥代[1], 中谷 沙紀[1], 住本 菜摘[1], 須本 真理子[1], 中川 智加[1], 松本 光司[1], 峯垣 哲也[1], 西口 工司[1]（[1]京都薬大臨床薬学分野, [2]仁真会 白鷺病院薬）

28L-am10S
◷10:48
脂質異常症治療薬エゼチミブによる α-トコフェロールの消化管吸収抑制とその回避策
〇梨本 俊亮[1], 佐藤 夕紀[1], 鷲見 正人[1], 武隈 洋[1], 菅原 満[1]（[1]北大院薬）

28L-am11
◷11:00
肝ミクロソームを用いたカルベジロールのグルクロン酸抱合反応系に及ぼすアミオダロンの影響
〇関本 真[1], 高森 徹[1], 勝眞 愛梨沙[1], 中村 早稀[1], 田口 雅登[1]（[1]富山大院薬）

薬剤学（iPS 細胞）
宇都口 直樹（帝京大薬）

28L-am12S
◷11:12
遺伝子導入技術を用いたヒト iPS 細胞から小腸上皮細胞への高効率な分化誘導法の開発
〇根来 亮介[1], 高山 和雄[1,2,3], 立花 雅史[1], 櫻井 文教[1], 水口 裕之[1,3,4]（[1]阪大院薬, [2]京阪神コンソ, [3]医薬健栄研, [4]阪大MEIセ）

28L-am13S
◷11:24
ATF5, c/EBPα, PROX1 遺伝子導入によるヒト iPS 細胞由来肝細胞の成熟化
〇中森 大貴[1], 高山 和雄[1,2,3], 立花 雅史[1], 櫻井 文教[1], 水口 裕之[1,3,4]（[1]阪大院薬, [2]京阪神コンソ, [3]医薬健栄研, [4]阪大MEIセ）

28L-am14S
◷11:36
肝細胞の培養上清によるヒト iPS 細胞由来肝細胞の成熟化
〇三谷 成二[1], 高山 和雄[1,2,3], 立花 雅史[1], 櫻井 文教[1], 水口 裕之[1,3,4]（[1]阪大院薬, [2]京阪神コンソ, [3]医薬健栄研, [4]阪大MEIセ）

3 月 28 日（月） 午後
L 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 411

消化管吸収
加藤 将夫（金沢大院医薬保）

28L-pm01S
◷13:15
高分子医薬品の小腸吸収改善に資するヒト小腸透過性環状ペプチドの同定
〇山口 駿介[1], 伊藤 慎悟[1,2,3], 平山 未央[1,2,3], 大槻 純男[1,2,3]（[1]熊本大薬, [2]熊本大院生命科学研究部, [3]AMED-CREST）

28L-pm02S
◷13:27
インスリンの消化管吸収性に及ぼす各種有機酸の影響
〇吉田 健吾[1], 日夏 優太[1], 杉本 寛明[1], 出口 貴雅[1], 岩佐 一毅[1], 草森 浩輔[1], 勝見 英正[1], 坂根 稔康[1], 山本 昌[1]（[1]京都薬大）

28L-pm03
◷13:39
Alendronate の消化管吸収性に及ぼす N-アシルアミノ酸塩の影響ならびに吸収促進機構の解明
〇中矢 有華[1], 高屋 麻由[1], 日夏 優太[1], 勝山 麻美[1], 加藤 夢可[1], 草森 浩輔[1], 勝見 英正[1], 坂根 稔康[1], 山本 昌[1]（[1]京都薬大）

28L-pm04S
◷13:51
5-FU による消化管障害時には P-gp の発現量が著明に増大する
〇四元 敬一[1], 秋好 健志[1], 今岡 鮎子[1], 大谷 壽一[1]（[1]慶應大薬）

28L-pm05
◷14:03
小腸における β - ラクタム系抗生物質の吸収機構に関する免疫組織化学的研究
〇進 正志[1], 齋田 哲也[1], 藤原 邦雄[1]（[1]崇城大生物生命）

28L-pm06
◷14:15
柑橘類含有ヘプタメトキシフラボンの体内動態：dry study および wet study による基礎的検討
垣内 綾乃[1], 奥山 聡[1], 古川 美子[1], 〇水間 俊[1]（[1]松山大薬）

経皮吸収
小幡 誉子（星薬大）

28L-pm07
◷14:27
生体適合性材料を用いた新規ソリッドマイクロニードルパッチの開発
〇廣部 祥子[1], 小野 彰彦[1], 中川 晋作[1], 岡田 直貴[1]（[1]阪大院薬）

28L-pm08S
◷14:39
経皮ワクチン製剤の貼付に伴う樹状細胞サブセットの遊走と局在
〇江口 涼介[1], 廣部 祥子[1], 吉田 淳哉[2], 小山田 孝嘉[2], 中川 晋作[1], 岡田 直貴[1]（[1]阪大院薬, [2]富士フィルム）

28L-pm09S
◷14:51
経皮免疫製剤に適用可能なアジュバント候補物質の探索
〇伊藤 沙耶美[1], 廣部 祥子[1], 小野 彰彦[1], 中川 晋作[1], 岡田 直貴[1]（[1]阪大院薬）

28L-pm10
◷15:03
ドネペジル塩酸塩内包ナノ粒子の経皮吸収製剤化
〇竹下 朋芳[1], 鈴木 健一[3], 稲木 敏男[3], 竹内 一成[1,2], 牧野 公子[1,2]（[1]東京理大薬, [2]東京理大DDS研セ, [3]興和 富士研）

28L-pm11
◷15:15
白色ワセリンまたはミリスチン酸イソプロピルを基剤として用いたウフェナマートの皮膚移行挙動の解明
〇飯野 隼人[1], 藤井 まき子[2], 藤野 真奈美[1], 鈴木 桃子[1], 小原 静香[1], 吉良 瞳[1], 小泉 直也[1], 渡辺 善照[1]（[1]昭和薬大, [2]日本大薬）

28L-pm12
◷15:27
皮膚に適用した易代謝性エステル化合物の皮膚中濃度評価を目的とした酵素カクテルの開発
〇中里 優花[1], 井上 貴暁[1], Wesam R. KADHUM[1], 藤堂 浩明[1], 畑中 朋美[1,2], 杉林 堅次[1]（[1]城西大薬, [2]東海大医）

粘膜吸収①
大槻 純男（熊本大院薬）

28L-pm13
◷15:39
Tight junction binder による核酸医薬の経口投与法開発に関する基盤研究
〇渡利 彰浩[1], 藤原 果奈[1], 渡辺 知恵[2], 仁科 一隆[3], 永田 哲也[3], 近藤 昌夫[1], 横田 隆徳[3], 村上 正裕[2], 八木 清仁[1]（[1]阪大院薬, [2]大谷大薬, [3]医科歯科大学医）

28L-pm14S
◷15:51
Tricellular tight junction を標的とした新規バリア制御技術、angubindin-1 の開発
〇山本 浩樹[1], 井口 大輔[1], 早石 知浩[1], Susanne M. KRUG[2], Michael FROMM[2], 渡利 彰浩[1], 岡田 欣晃[1], 竹田 浩之[3], 永浜 政博[4], 土井 健史[1], 澤崎 達也[3], 近藤 昌夫[1], 八木 清仁[1]（[1]阪大院薬, [2]ベルリン大医, [3]愛媛大PROS, [4]徳島文理大薬）

28L-pm15
◷16:03
異なる溶解性および膜透過性のモデル薬物を含有する粉末微粒子の薬物膜透過性
〇鵜飼 あすか[1], 浅井 歩[1], 園田 恵梨菜[1], 奥田 知将[1], 岡本 浩一[1]（[1]名城大薬）

28L-pm16S
◷16:15
薬剤による肺胞上皮細胞 RLE/Abca3 の上皮間葉転換とその防御
〇出口 純也[1], 川見 昌史[1], 湯元 良子[1], 高野 幹久[1]（[1]広島大院医歯薬）

粘膜吸収②
永井 純也（大阪薬大）

28L-pm17S
◷16:27
粉末製剤化医薬品の経鼻吸収性に関する研究―鼻粘膜表面における水分量変化の影響―
〇田中 晶子[1], 堀 智貴[1], 下村 理奈[1], 井上 大輔[2], 古林 呂之[2], 草森 浩輔[1], 勝見 英正[1], 坂根 稔康[1], 山本 昌[1]（[1]京都薬大, [2]就実大薬）

28L-pm18
◷16:39
細胞膜透過ペプチドの生体膜透過ブースティング作用を基盤技術とするインターフェロン β 経鼻送達システムの開発
〇亀井 敬泰[1], 岩瀬 由布子[1], El-Sayed KHAFAGY[1,2], 宮本 美津子[3], 武田 真莉子[1]（[1]神戸学院大薬, [2]Suez Canal Univ., [3]東レ）

28L-pm19
◷16:51
不活化 H1N1 インフルエンザウイルスとオリゴアルギニン固定化高分子を共経鼻投与したマウスにおける投与ウイルス株に対する感染予防効果
〇宮田 康平[1,2], 毛利 浩太[1], 遠藤 力斗[1], 森本 奈保喜[2], 落合 恭平[2], 日渡 謙一郎[2], 椿 和文[2], 飛田 悦男[2], 宇都 倫史[3], 馬場 昌範[4], 佐久間 信至[1]（[1]摂南大薬, [2]ADEKA ライフ研, [3]宮崎大医, [4]鹿児島大院医歯）

3 月 28 日（月） 午前
M 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 412

遺伝子 DDS①
石田 竜弘（徳島大院医歯薬）

28M-am01S
◷9:00
コンドロイチン硫酸と siRNA リポプレックスの連続投与とドキソルビシンの併用療法による肝転移がんに対する抗腫瘍効果の検討
〇菊地 拓人[1], 服部 喜之[1], 大西 啓[1]（[1]星薬大•医療薬剤学）

28M-am02S
◷9:12
正電荷コレステロール誘導体を用いて調製した脂質ナノ粒子製剤によるがん細胞への siRNA 及びプラスミド DNA の導入
〇町田 曜子[1], 服部 喜之[1], 八木 彩奈[1], 長島 由佳[1], 本田 真歩[2], 大野 浩章[2], 藤井 信孝[2], 大西 啓[1]（[1]星薬大•医療薬剤学, [2]京大•院薬•ケモゲノミクス•薬品有機製造）

28M-am03
◷9:24
経胆管投与を利用した膵臓ランゲルハンス氏島への核酸導入法の開発
〇山田 勇磨[1], 田端 麻衣[1], 原島 秀吉[1]（[1]北大院薬）

28M-am04S
◷9:36
siRNA および Verteporfin を用いたがん併用療法
〇橋本 正寛[1], 浅井 知浩[1], 清水 広介[1], 小出 裕之[1], 出羽 毅久[2], 奥 直人[1]（[1]静岡県大院薬, [2]名工大工）

28M-am05S 低濃度 RNA 干渉を目指した新規ポリカチオンリポソームの設計と有用性評価
◷9:48
○迫 真理子[1], 李 嬌[1], 岡本 彩香[1], 浅井 知浩[1], 出羽 毅久[2], 奥 直人[1]（[1]静岡県大薬, [2]名工大院工）

遺伝子 DDS②
服部 喜之（星薬大）

28M-am06 合成致死性を利用した PTEN 欠損がんに対する RNA 干渉療法
◷10:00
○櫻井 尚之[1], 磯村 秀樹[1], 横田 将史[1], 浅井 知浩[1], 出羽 毅久[2], 奥 直人[1]（[1]静岡県大薬, [2]名工大工）

28M-am07 PCL/siRNA 複合体凍結融解による簡便な siRNA の内封
◷10:12
○小出 裕之[1], 岡本 彩香[1], 出羽 毅久[2], 浅井 知浩[1], 奥 直人[1]（[1]静岡県大薬, [2]名工大工）

28M-am08S 微弱電流処理は細胞取込みと細胞質輸送を促進する
◷10:24
○Mahadi HASAN[1], 西本 明功[1], 扇田 隆司[1], 濵 進[1], 樫田 啓[2], 浅沼 浩之[2], 小暮 健太朗[1]（[1]京都薬大, [2]名大院工）

28M-am09 凍結乾燥法を用いた siRNA/自己組織化ナノ粒子の処方最適化
◷10:36
○西口 祥生[1], 杉浦 朋恵[1], 奥田 知将[1], 岡本 浩一[1]（[1]名城大薬）

遺伝子 DDS③
浅井 知浩（静岡県大薬）

28M-am10S Intelligent shRNA expression device の in vitro, in vivo における有用性評価
◷10:48
○金城 望[1], 安藤 英紀[1], 田良島 典子[1], 南川 典昭[1], 石田 竜弘[1]（[1]徳島大薬）

28M-am11S 各種グリコサミノグリカンにおけるステアリルアミン縮合体の LPS 誘導性マクロファージ炎症反応抑制効果
◷11:00
○柳本 真弥[1], 阪居 伸哉[1], Hasan BABAZADA[2], 山下 富義[1,2], 橋田 充[1,2]（[1]京大院薬, [2]京大物質―細胞統合システム拠点）

28M-am12 アデノウイルス外殻蛋白質に対する抗体がアデノウイルスベクターによる遺伝子導入に与える影響の解析
◷11:12
○冨田 恭子[1], 櫻井 文教[1], 町谷 充洋[1], 立花 雅史[1], 水口 裕之[1,2,3]（[1]阪大院薬, [2]医薬健栄研, [3]阪大MEIセ）

28M-am13 CRISPR/Cas9 システム搭載 Ad ベクターの開発と機能評価
◷11:24
○中谷 光佑[1], 町谷 充洋[1], 高山 和雄[1,2,3], 立花 雅史[1], 櫻井 文教[1], 水口 裕之[1,3,4]（[1]阪大院薬, [2]京阪神コンソ, [3]医薬健栄研, [4]阪大MEIセ）

28M-am14S インターフェロン-β 持続発現ベクターの開発とがん遺伝子治療への適用
◷11:36
○濵名 温志[1], 高橋 有己[1], 西川 元也[1], 高倉 喜信[1]（[1]京大院薬）

---

3 月 28 日（月） 午後
M 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 412

製剤の設計①
米持 悦生（星薬大）

28M-pm01 HPMC-AS による難水溶性薬物の過飽和状態安定化メカニズムの解明
◷13:15
○植田 圭祐[1], 東 顕二郎[1], 森部 久仁一[1]（[1]千葉大院薬）

28M-pm02S 3 成分 γ-シクロデキストリン複合体の溶解特性に及ぼすゲスト薬物の影響
◷13:27
○劉 楠[1], 植田 圭祐[1], 東 顕二郎[1], 山本 恵司[1], 森部 久仁一[1]（[1]千葉大院薬）

28M-pm03 医薬品 Cocrystal の探索スクリーニングにおける携帯型ラマン分光計を用いた迅速分析
◷13:39
○鈴木 郁也[1], 高橋 春秋[1], 久田 浩史[1], 井上 元基[1], 深水 啓朗[1]（[1]明治薬大）

28M-pm04S 水中における両親媒性グラフトコポリマーの可溶化構造メカニズムの解明
◷13:51
○黒川 剛志[1], 門田 和紀[1], 戸塚 裕一[1]（[1]大阪薬大）

28M-pm05S クラリスロマイシン/脂質 mixture におけるクラリスロマイシン結晶転移メカニズムの解明
◷14:03
○渡邉 美笛[1], 溝口 緑理[1], 青木 肇[1], 岩尾 康範[1], 野口 修二[1], 板井 茂[1]（[1]静岡県大薬）

製剤の設計②
藤井 まき子（日本大薬）

28M-pm06S オロパタジン塩酸塩口腔内崩壊錠の官能的マスキングを用いた服用性の改善
◷14:15
○外山 真衣[1], 内田 信也[1], 田中 紫茉子[1], 袴田 晃央[2], 小田切 圭一[2], 乾 直輝[2], 渡邉 裕司[2], 並木 徳之[1]（[1]静岡県大薬, [2]浜松医大医）

28M-pm07S セサミンの新規固形製剤開発ならびに生物薬剤学的特性の評価
◷14:27
○田畑 藍子[1], 青木 麻子[1], 佐藤 秀行[1], 世戸 孝樹[1], 尾上 誠良[1]（[1]静岡県大薬）

28M-pm08 Self-micellizing solid dispersion system による Cyclosporine A の薬物動態制御
◷14:39
○佐藤 秀行[1], 上野 宏大[1], 鈴木 寛貴[1], 水元 隆博[2], 世戸 孝樹[1], 尾上 誠良[1]（[1]静岡県大薬, [2]ILS）

28M-pm09S Fine Droplet Drying 工法による高機能性固体分散体製剤の開発（2）―高分子医薬品 cyclosporine A への戦略的応用と評価―
◷14:51
○鈴木 寛貴[1], 森谷 樹[2], 森永 匡彦[2], 荻野 水紀[1], 世戸 孝樹[1], 佐藤 秀行[1], 尾上 誠良[1]（[1]静岡県大薬, [2]リコー）

28M-pm10S 口腔粘膜への局所投与を目的とした口腔粘膜付着錠の調製と評価
◷15:03
○伴 孝仁[1], 池内 由里[1], 石原 千津子[2], 三浦 英里佳[1], 戸田 紗衣[1], 大西 啓[1]（[1]星薬大, [2]日本合成化学工業）

製剤の設計③
高山 幸三（星薬大）

28M-pm11S トラマドール塩酸塩含有ハイドロゲル製剤からの薬物放出挙動および鎮痛効果の検討
◷15:15
○芝野 優希[1], 山中 沙織[1], 河野 弥生[1], 吉澤 一巳[1], 廣木 章博[2], 田口 光正[2], 花輪 剛久[1]（[1]東京理大薬, [2]日本原子力研究開発機構）

28M-pm12S 界面反応を伴う薬物の溶解挙動解析のための数理モデルの構築と評価
◷15:27
○平井 大貴[1], 岩尾 康範[1], 野口 修治[1], 板井 茂[1]（[1]静岡県大薬）

28M-pm13 有効表面積を指標とした外部滑沢と内部滑沢の比較
◷15:39
○増田 瑠梨[1], 神谷 貴行[1], 岩尾 康範[1], 野口 修治[1], 板井 茂[1]（[1]静岡県大薬）

28M-pm14S マイクロウェーブを利用した漢方粉末含有口腔内崩壊錠の設計と評価
◷15:51
○泉川 雅裕[1], 田中 大智[1], 岩尾 康範[1], 野口 修治[1], 板井 茂[1]（[1]静岡県大薬）

28M-pm15 転動造粒における音響－近赤外スペクトルの同時測定による球形化プロセスの解析
◷16:03
○細越 貴裕[1], 服部 祐介[1], 大塚 誠[1]（[1]武蔵野大薬）

製剤の設計④
戸塚 裕一（大阪薬大）

28M-pm16S RAM 法と薬剤含有一体型デバイスによる新規吸入粉末剤の開発
◷16:15
○田仲 涼眞[1], 高橋 直之[3], 中村 保昭[3], 服部 祐介[1], 芦澤 一英[2], 大塚 誠[1]（[1]武蔵野大薬, [2]武蔵野大SSCI研, [3]大和製罐）

28M-pm17 ㋓16:27
錠剤コーティングプロセスの近赤外モニタリングによる製剤特性の予測
〇菅田 光涼[1], 鎌田 人志[2], 長門 琢也[2], 服部 祐介[1], 大塚 誠[1] ([1]武蔵野大薬, [2]パウレック)

28M-pm18 ㋓16:39
トラニラストナノ結晶を用いた新規経眼瞼適用剤の開発とその涙液移行性評価
〇上野 祥奈[1], 長井 紀章[1], 伊藤 吉將[1], 岡本 紀夫[2], 下村 嘉一[2] ([1]近畿大薬, [2]近畿大医)

28M-pm19 ㋓16:51
ケトプロフェン・ナノ結晶を用いた新規経皮適用製剤の設計とその有用性評価
〇岩前 亜弥[1], 長井 紀章[1], 伊藤 吉將[1], 松井 誠[2], 守本 英二[2] ([1]近畿大薬, [2]ジェムインターナショナル)

28M-pm20 ㋓17:03
点眼による網膜治療を目指した新規ナノ結晶点眼製剤の開発：シロスタゾールを用いた糖尿病網膜症治療
〇田辺 航[1], 古瀬 のぞみ[1], 出口 粧央里[1], 長井 紀章[1], 伊藤 吉將[1], 岡本 紀夫[2], 下村 嘉一[2] ([1]近畿大薬, [2]近畿大医)

3 月 28 日（月） 午前
N 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　413

薬剤疫学
中村 敏明（福井大病院薬）

28N-am01S ㋓9:00
慢性 C 型肝炎治療の地域差：全国規模のデータベースによるゲノタイプ毎の解析
〇井出 和希[1], 川崎 洋平[1], 山田 浩[1], 正木 尚彦[2] ([1]静岡県大院•薬, [2]肝炎情報センター)

28N-am02 ㋓9:12
大規模市販後副作用報告データを用いた抗精神病薬の有害事象の解析：傾向スコア法の検討
〇森川 馨[1], 石田 和也[2], 大塚 知子[1] ([1]帝京大薬, [2]タクミインフォメーションテクノロジー)

28N-am03S ㋓9:24
ベンゾジアゼピン系薬剤の処方実態調査と新たな不眠治療への介入第 3 報～エチゾラム処方外来患者の追跡調査～
〇松山 奈央[1], 外ノ池 文乃[2,3], 戸田 裕二[1], 堀田 祐志[3], 川出 義浩[2,3], 近藤 勝弘[2], 中山 明峰[4,5], 木村 和哲[2,3,5] ([1]名市大薬, [2]名市大病院薬, [3]名市大院薬, [4]名市大病院睡眠セ, [5]名市大院医)

28N-am04 ㋓9:36
ベンゾジアゼピン系薬剤の処方実態調査と新たな不眠治療への介入　第 2 報～過去 1 年間の外来での処方調査～
〇外ノ池 文乃[1,3], 松山 奈央[2], 戸田 裕二[2], 堀田 祐志[3], 川出 義浩[1,3], 近藤 勝弘[1], 中山 明峰[4,5], 木村 和哲[1,3,5] ([1]名市大病院薬, [2]名市大薬, [3]名市大院薬, [4]名市大病院睡眠セ, [5]名市大院医)

28N-am05 ㋓9:48
大規模副作用報告データベースに腎機能障害が報告された高齢者における有害事象の解析
〇大塚 知子[1], 東小野 励[1], 森川 馨[1] ([1]帝京大薬)

28N-am06 ㋓10:00
傾向スコアマッチングを用いた大規模副作用報告データからの有害事象の推定
〇石田 和也[1], 大塚 知子[2], 佐藤 耕一[1], 森川 馨[2] ([1]タクミインフォメーションテクノロジー, [2]帝京大薬)

28N-am07 ㋓10:12
メンタルヘルスケア研究：唾液アミラーゼ活性による職業ストレス評価
〇須磨 一夫[1,2,3], 髙浦 佳代子[1,5], 井原 香名子[1], 中村 朝実[1], 小栗 一輝[1], 末元 吹季[1], 奥薗 彰吾[1], 轟 伊佐雄[4], 髙橋 京子[1,5] ([1]阪大院薬, [2]須磨伊兵衛薬局, [3]陸自大協本部, [4]陸自中部衛, [5]阪大博)

ターゲティング①
根岸 洋一（東薬大）

28N-am08S ㋓10:24
三次元構造化 DNA の免疫細胞および非免疫細胞との相互作用解析
〇大槻 昇三[1], 高橋 有己[1], 井上 貴雄[2], 高倉 喜信[1], 西川 元也[1] ([1]京大院薬, [2]国立医薬品食品衛生研)

28N-am09 ㋓10:36
温度による選択的細胞取り込みを志向した機能性リポソームの開発
〇根本 遼[1], 王 堅[1], 蛭田 勇樹[1], 菱田 真史[2], 綾野 絵理[1], 米谷 芳江[1], 金澤 秀子[1] ([1]慶應大薬, [2]筑波大数理物質系)

28N-am10S ㋓10:48
新規 PET プローブを用いたリポソーム化 FK506 の脳保護効果解析
〇福田 達也[1], 浅井 知浩[1], 原田 典弘[2], 塚田 秀夫[2], 奥 直人[1] ([1]静岡県大院薬, [2]浜松ホトニクス 中央研PETセ)

ターゲティング②
鈴木 亮（帝京大薬）

28N-am11 ㋓11:00
スギ花粉抗原 Cry j 1 修飾リポソームのスギ花粉症治療への応用
〇阿形 寿規[1], 齋藤 大騎[1], 伊藤 あゆみ[1], 後藤 峻吾[1], 清水 広介[1], 浅井 知浩[1], 奥 直人[1] ([1]静岡県大薬)

28N-am12 ㋓11:12
生体内で毒素を中和する“リポソーム解毒剤”の開発
〇土田 大貴[1], 小出 裕之[1], 仲本 正彦[2], 星野 友[2], 奥 直人[1] ([1]静岡県大院薬, [2]九大工)

28N-am13S ㋓11:24
マクロファージを標的としたリポソーム DDS の応用による動脈硬化不安定プラークの近赤外蛍光イメージング
〇成田 雄大[1], 大塚 和摩[4], 清水 広介[1], 小川 美香子[2], Marten MAESS[3], 間賀田 泰寛[3], 奥 直人[1] ([1]静岡県大院薬, [2]北大院薬, [3]浜松医大 メディカルフォトニクス研究センター, [4]静岡県大薬)

28N-am14S ㋓11:36
Fasudil 内封リポソームと血栓溶解剤併用療法による脳梗塞治療
〇柳田 洋翼[1], 福田 達也[1], 浅井 知浩[1], 奥 直人[1] ([1]静岡県大薬)

3 月 28 日（月） 午後
N 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　413

コントロールドリリース
山本 浩充（愛知学院大薬）

28N-pm01 ㋓13:15
The Effective-Loading of Metal-Chloroquine into PEGylated Neutral or Cationic liposomes for Malaria Parasite-Infected Red Blood Cells
〇Shaimaa IBRAHIM[1], 田上 辰秋[1], 尾関 哲也[1] ([1]名市大院薬)

28N-pm02 ㋓13:27
Laserphyrin を封入したレーザー応答型リポソーム製剤に関する検討
〇布施 俊樹[1], 田上 辰秋[1], 尾関 哲也[1] ([1]名市大院薬)

28N-pm03S ㋓13:39
遠心転動造粒法を用いた難溶性薬物徐放性中空粒子の設計と評価
〇吉原 尚輝[1], 大杉 祐貴子[1], 岩尾 康範[1], 野口 修治[1], 淺田 拓海[2], 落合 康[2], 板井 茂[1] ([1]静岡県大薬, [2]大日本住友製薬)

28N-pm04S ㋓13:51
マクロファージ混合スフェロイドの構築と機能評価
〇田中 悠太郎[1], 西川 元也[1], 高橋 有己[1], 高倉 喜信[1] ([1]京大院薬)

28N-pm05 ㋓14:03
In vivo での VEGF 徐放による心筋シートへの血管網構築促進の検討
〇南雲 悠平[1,2], 長瀬 健一[1], Hey Jin CHUNG[3], Hee Jung KIM[3], Heiwon KYUNG[3], Miri KIM[3], 関根 秀一[1], 清水 達也[1], 金澤 秀子[2], 岡野 光夫[1], Seung Jin LEE[3], 大和 雅之[1] ([1]東京女子医大 先端生命研, [2]慶應大薬, [3]Ewha Womans Univ.)

がん治療 DDS①
丸山 一雄（帝京大薬）

28N-pm06S
⏲14:15
ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤封入リポソームの開発とがん治療への応用
〇深谷 菜月[1], 浅井 知浩[1], 福田 達也[1], 濱田 直樹[1], 奥 直人[1]（[1]静岡県大薬）

28N-pm07S
⏲14:27
Tissue factor 標的リポソームによるがんマルチターゲティング DDS 製剤の開発
〇大塚 和摩[1], 竹内 祥人[1], 成田 雄大[1], 清水 広介[1], 松村 保広[2], 奥 直人[1]（[1]静岡県大薬, [2]国立がん研究センター東病院）

28N-pm08
⏲14:39
リンパ管構築ががん組織内リポソームトラフィックに及ぼす影響
〇清水 広介[1], 村岡 英一[1], 中村 元気[1], 奥 直人[1]（[1]静岡県大薬）

28N-pm09S
⏲14:51
一酸化窒素徐放性リポソームによる腫瘍選択的血管拡張と EPR 効果の向上
〇芳川 拓真[1], 田原 宥[1], 岸村 顕広[1], 森 健[1], 片山 佳樹[1]（[1]九大院工）

28N-pm10S
⏲15:03
Doxil 投与による腫瘍内免疫細胞の変動とこの変動による抗腫瘍効果への影響
〇高山 拓磨[1], 清水 太郎[1], 鵜川 真実[1], 石田 竜弘[1]（[1]徳島大薬）

28N-pm11
⏲15:15
TRAIL-R1 を標的とした新規 3 価 VHH 抗体を分泌するビフィズス菌によるがん治療
〇西川 毅[1], 平 裕一郎[1], 平 郁子[1], 斎藤 浩美[1], 磯田 勝広[1], 石田 功[1]（[1]帝京平成大薬）

28N-pm12
⏲15:27
腹膜播種治療に有用なトコフェロールコハク酸を基盤としたナノベシクルの開発
〇西 貴之[1], 濱 進[1], 西本 明功[1], 桐村 直子[1], 鈴木 智子[1], 福澤 健治[2], 小暮 健太朗[1]（[1]京都薬大, [2]安田女大薬）

がん治療 DDS②
遠藤 朋宏（星薬大）

28N-pm13S
⏲15:39
エキソソームのマクロファージによる取り込みにおけるホスファチジルセリンの関与
〇松本 明宏[1], 高橋 有己[1], 佐野 紘平[1], 森下 将輝[1], Chonlada CHAROENVIRIYAKUL[1], 西川 元也[1], 佐治 英郎[1], 高倉 喜信[1]（[1]京大院薬）

28N-pm14
⏲15:51
抗がん剤封入ヒト血清アルブミンナノ粒子の設計・評価
〇木村 虎太郎[1], 山崎 啓之[1,2], 田口 和明[1], 中村 秀明[1], 原武 衛[1], 小田切 優樹[1,2]（[1]崇城大, [2]崇城大DDS研）

28N-pm15
⏲16:03
アルブミンとリポソームを融合した新規 DDS キャリアの創製
〇岡本 侑子[1], 田口 和明[1], 山崎 啓之[1,2], 櫻木 美菜[3], 黒田 俊一[4,5], 小田切 優樹[1,2]（[1]崇城大薬, [2]崇城大DDS研, [3]崇城大工, [4]阪大院理, [5]名古屋大農）

28N-pm16
⏲16:15
水溶性薬物の角膜透過性向上を可能とする新技術“ミネラルナノキャリア”の開発
〇長井 紀章[1], 山岡 咲絵[1], 真野 裕[1], 伊藤 吉將[1], 岡本 紀夫[2], 下村 嘉一[2]（[1]近畿大薬, [2]近畿大医）

新規剤型
有馬 英俊（熊本大院薬）

28N-pm17
⏲16:27
アレンドロン酸ナトリウム含有経口ゼリー剤からのアレンドロン酸ナトリウムの初期溶出性の評価とその制御
〇柴田 明香[1], 栗田 拓朗[1], 徳村 忠一[1]（[1]徳島文理大香川薬）

28N-pm18S
⏲16:39
ナノ化技術を用いた新たなメロキシカム経口製剤の開発とその有用性評価
〇真野 裕[1], 山岡 大起[1], 上田 利香[1], 長井 紀章[1], 伊藤 吉將[1]（[1]近畿大薬）

28N-pm19S
⏲16:51
毛髪のダメージ改善を目的とした脂質ナノ粒子製剤のヘアケア分野への応用
〇舟越 由香[1], 岩尾 康範[1], 野口 修治[1], 板井 茂[1]（[1]静岡県大院薬）

28N-pm20
⏲17:03
OTC テープ剤に含まれるフェルビナクのラマンイメージング
〇飯田 康人[1], 井上 元基[1], 久田 浩史[1], 小出 達夫[2], 深水 啓朗[1]（[1]明治薬大, [2]国立衛研）

28N-pm21S
⏲17:15
ソリフェナシン含有クリーム製剤およびテープ製剤における in vitro 皮膚透過性
〇山下 ひかり[1], 橋本 千尋[1], 松井 良幹[1], 柏倉 康治[1], 内田 信也[1], 並木 徳之[1]（[1]静岡県大薬）

---

3 月 28 日（月） 午前
O 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 414

疾患と遺伝子・遺伝子治療、病態モデル
中村 克徳（琉球大病院薬）

28O-am01S
⏲9:00
ウイルス遺伝子の発現を抑制可能な新規アデノウイルスベクターの新生仔マウスにおける遺伝子導入特性の解析
〇飯塚 俊輔[1], 櫻井 文教[1], 立花 雅史[1], 大橋 一夫[1], 水口 裕之[1,2,3]（[1]阪大院薬, [2]医薬健栄研, [3]阪大MEIセ）

28O-am02
⏲9:12
ATP8B1 多型は原発性胆汁性肝硬変患者の UDCA 治療応答性に関与する
〇後藤 奈津海[1], 鵜池 美希[1], 谷口 隼輔[1], 稲嶺 達夫[1], 近藤 新二[1], 中村 稔[2], 塚元 和弘[1]（[1]長崎大院医歯薬, [2]国立病院機構長崎医療センター）

28O-am03
⏲9:24
PSCA 多型はピロリ菌陽性者の胃粘膜萎縮の進展に関与する
〇上田 遥香[1], 西 由梨絵[1], 竹下 慎太郎[1], 稲嶺 達夫[1], 近藤 新二[1], 福田 大輔[2], 磯本 一[3], 塚元 和弘[1]（[1]長崎大院医歯薬, [2]福田外科医院, [3]鳥取大医）

28O-am04
⏲9:36
IFN-β 発現遺伝子を用いたがん遺伝子治療に対するヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の併用効果
〇相原 浩人[1], 西村 伶[1], 木村 元気[1], 住吉 孝明[1], 長岡 康夫[1]（[1]関西大化学生命工）

28O-am05
⏲9:48
銅・亜鉛スーパーオキサイドディスムターゼの金属イオン結合状態を識別できる新規抗体の開発と筋萎縮性側索硬化症の病理解明への応用
〇徳田 栄一[1], 森崎 佑太[2], 三澤 日出巳[2], 渡邊 征爾[3], 山中 宏二[3], 大原 慎司[4], 古川 良明[1]（[1]慶應大理工, [2]慶應大薬, [3]名大•環境医学, [4]まつもと医療センター•神経内科）

臨床生化学
栄田 敏之（京都薬大）

28O-am06S
⏲10:00
酵素補充療法を受けたファブリー病患者における酵素製剤に対する抗体産生と酵素活性阻害作用
〇重永 雅志[1], 月村 考宏[1], 佐藤 温子[1], 芝崎 太[2], 兎川 忠靖[1], 櫻庭 均[1]（[1]明治薬大, [2]東京都医学研）

28O-am07
⏲10:12
妊娠高血圧症候群（PIH）の予防のために行う情報提供に必要なエビデンスの構築
〇髙田 裕子[1], 野村 恭子[2,3], 木戸 浩一郎[2], 笹森 幸文[2], 名取 泰博[4], 綾部 琢哉[2], 厚味 厳一[1]（[1]帝京大薬, [2]帝京大医, [3]帝京大女性医師•研究者支援センター, [4]岩手医大薬）

28O-am08
⏲10:24
血管内皮細胞と血管内皮細胞由来マイクロパーティクルの組織因子発現に対する LPS とヒスタミンの影響
〇柳瀬 雄輝[1], 中谷 絵理子[2], 厚味 厳一[2], 内田 一恵[1], 秀 道広[1]（[1]広島大医, [2]帝京大薬）

がん①
岡村 昇（武庫川女大）

28O-am09
⏲10:36
低酸素環境下の臨床的放射線耐性癌細胞におけるミトコンドリアのターンオーバーの活性化
〇西本 明功[1], 濱 進[1], 中村 伊吹[1], 桑原 義和[2], 福本 学[2], 小暮 健太朗[1]（[1]京都薬大, [2]東北大）

28O-am10 ◷10:48 抗がん剤創製を目指したM期キネシンCENP-E阻害化合物の探索
○山根 正敬[1], 澤田 潤一[1], 小郷 尚久[1,2], 大場 舞[1,2], 浅井 章良[1] ([1]静岡県大院薬, [2]静岡県環衛研)

28O-am11 ◷11:00 PKC及びMEK阻害剤によるオキサリプラチン誘発末梢神経障害の抑制及び抗腫瘍効果の増強
○椿 正寛[1], 武田 朋也[1], 木野 稔己[1], 藤原 大一朗[1,2], 山添 譲[3], 阪口 勝彦[2], 西田 升三[1] ([1]近畿大薬•薬物治療, [2]日本赤十字和歌山医療センター薬, [3]近畿大病院薬)

28O-am12S ◷11:12 Nicotinamide phosphoribosyltransferase阻害剤に対する耐性がん細胞の樹立とその特性
○荻野 暢子[1], 佐藤 聡[1], 葛城 粛貴[1], 柴崎 由梨[1], 高井 祐輔[1], 吉森 篤史[2], 大山 貴央[3], 阿部 英明[3], 田沼 靖一[1,4] ([1]東京理大薬•生化学, [2]理論創薬研究所, [3]ヒノキ新薬, [4]東京理大ゲノム創薬研セ)

28O-am13S ◷11:24 BET阻害剤に対する耐性メカニズムの検討
○石塚 周平[1], 野口 耕司[1], 片山 和浩[1], 杉本 芳一[1] ([1]慶應大薬•化学療法)

28O-am14 ◷11:36 KSHV RTAによるinterleukin-10プロモーターの活性化
○宮澤 雅典[1], 野口 耕司[1], 片山 和浩[1], 杉本 芳一[1] ([1]慶應大薬•化学療法)

3月28日（月） 午後
O会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 414

がん②
武田 泰生（鹿児島大病院薬）

28O-pm01S ◷13:15 ラフト構成糖脂質スルファチドによるがん形質制御機構の解析
○関田 理沙[1], 疋田 智也[1], 鈴木 隆[1] ([1]静岡県大薬)

28O-pm02S ◷13:27 腫瘍溶解性ウイルスであるレオウイルスの担癌マウス由来癌関連線維芽細胞に対する殺細胞効果に関する検討
○上撫 忠孝[1], 立花 雅史[1], 水口 裕之[1,2,3,4], 櫻井 文教[1] ([1]阪大院薬, [2]医薬健栄研, [3]MEIセンター, [4]阪大院医)

28O-pm03S ◷13:39 ショットガンプロテオミクス解析に基づく、大腸癌における新規治療標的CyclophilinAの役割。
○高倉 英樹[1], 山本 哲志[1], 三田村 邦子[1], 工藤 光洋[2], 内藤 善哉[2], 多賀 淳[1] ([1]近畿大薬, [2]日医大)

28O-pm04 ◷13:51 腎癌におけるRNAエピジェネティクス意義
○西本 愛[1], 大塩 郁幹[1], 河口 恵[1], 小垣 孝弘[1], 小林 巧明[1], 北惠 郁緒里[1], 神宮司 健太郎[1], 上田 裕子[1], 深田 宗一朗[1], 中田 渡[2], 藤田 和利[2], 植村 元秀[2], 野々村 祝夫[2], 辻川 和丈[1] ([1]阪大院薬, [2]阪大院医)

28O-pm05 ◷14:03 ABH8の活性酸素種制御を介した膀胱癌細胞の生存性への影響
○島ノ江 知樹[1], 塚田 陽平[1], 大塩 郁幹[1], 北惠 郁緒里[1], 神宮司 健太郎[1], 上田 裕子[1], 深田 宗一朗[1], 足立 淳[2], 朝長 毅[2], 中田 渡[3], 藤田 和利[3], 植村 元秀[3], 野々村 祝夫[3], 辻川 和丈[1] ([1]阪大院薬, [2]医薬基盤研究所プロテオームリサーチセンター, [3]阪大院医)

28O-pm06 ◷14:15 膀胱癌におけるmiR-301bの機能解析
○中辻 由乃[1], 江川 博[1], 廣野 貴之[1], 広瀬 遼[1], 北惠 郁緒里[1], 神宮司 健太郎[1], 上田 裕子[1], 深田 宗一朗[1], 中田 渡[2], 藤田 和利[2], 植村 元秀[2], 野々村 祝夫[2], 辻川 和丈[1] ([1]阪大院薬, [2]阪大院医)

がん③
松永 民秀（名市大院薬）

28O-pm07 ◷14:27 β1インテグリン活性化に基づくビタミンAによるがんの分化誘導療法の効率化の試み
○平野 悠[1], 笹田 学[1], 伊豫田 拓也[1,2], 深井 文雄[1,2] ([1]東京理大薬 分子病態学研究室, [2]東京理大RIST TRセンター)

28O-pm08 ◷14:39 慢性骨髄性白血病細胞におけるチロシンキナーゼ阻害剤による細胞内エネルギー代謝の変化が抗がん剤感受性に与える影響
○平尾 卓也[1], 青木 重樹[1], 伊藤 晃成[1] ([1]千葉大院薬生物薬剤学教室)

28O-pm09S ◷14:51 ヒト乳がん細胞の運命を支配する亜鉛トランスポーターと亜鉛イオン
中瀬 朋夏[1], ○波多野 有紀[1], 松井 千紘[1], 川原 さと実[1], 髙橋 幸一[1] ([1]武庫川女大薬)

28O-pm10S ◷15:03 乳癌ALDH1陽性癌幹細胞におけるatypical protein kinase C依存的な解糖系代謝制御機構の役割
○片山 鈴花[1], 野崎 優香[1], 中根 裕美[1], 稲田 将大[1], 小野寺 佑佳[1], 神保 美穂[5], 原 泰志[3], 今井 美沙[7], 安部 良[3], 田沼 靖一[1,4], 大野 茂男[6], 川上 隆雄[5], 秋本 和憲[1,2] ([1]東京理大薬, [2]東京理大TRセ, [3]東京理大生命研, [4]東京理大ゲノム創薬研セ, [5]メディカルプロテオスコープ, [6]横浜市大医, [7]順天堂大院JLRCDR)

28O-pm11S ◷15:15 ヒト乳癌におけるAtypical protein kinase C (aPKC)λ/ιと糖代謝機構との関連
○本村 瞳[1], 片山 鈴花[1], 多森 翔馬[1], 松村 将史[1], 柳川 拓哉[1], 和氣 由布子[1], 高澤 涼子[1,4], 田沼 靖一[1,4], 宮城 洋平[6], 長嶋 洋治[5], 今井 美沙[7], 佐藤 圭子[2,3], 秋本 和憲[1,3] ([1]東京理大•薬, [2]東京理大•理工, [3]TRセンター, [4]ゲノム創薬研セ, [5]東京女子医大病院, [6]神奈川県立がんセ, [7]順天堂大院JLRCDR)

28O-pm12 ◷15:27 脂肪細胞分化関連遺伝子fad104は上皮間葉転換を制御する
○後藤 元晴[1], 加藤 大輝[1], 長田 茂宏[1], 西塚 誠[1], 今川 正良[1] ([1]名市大院薬)

がん④
野口 耕司（慶應大薬）

28O-pm13 ◷15:39 Survivinは多発性骨髄腫のvincristine耐性獲得に寄与する
○木野 稔己[1], 椿 正寛[1], 武田 朋也[1], 眞下 恵次[1,2], 山添 譲[3], 阪口 勝彦[2], 西田 升三[1] ([1]近畿大薬•薬物治療, [2]日本赤十字和歌山医療センター薬, [3]近畿大病院薬)

28O-pm14 ◷15:51 NIK阻害剤による多発性骨髄腫の細胞死誘導効果及びその作用機序の解明
○武田 朋也[1], 椿 正寛[1], 木野 稔己[1], 眞下 恵次[1,2], 山添 譲[3], 阪口 勝彦[2], 西田 升三[1] ([1]近畿大薬•薬物治療, [2]日本赤十字和歌山医療センター薬, [3]近畿大病院薬)

28O-pm15 ◷16:03 神経芽腫に対するburchellin誘導体の抗腫瘍効果の検索
○栗田 雅弘[1], 高田 知美[1], 若林 範子[1], 内山 武人[1], 浅見 覚[1], 鈴木 孝[1,2] ([1]日本大薬, [2]日本大医)

28O-pm16S ◷16:15 β1インテグリン活性化に基づくレチノイン酸による神経芽腫分化誘導の促進
○浅山 龍文[1,2], 笹田 学[1,2], 伊豫田 拓也[1,2], 深井 文雄[1,2] ([1]東京理大薬 分子病態学教室, [2]東京理大RIST TRセ)

28O-pm17 ◷16:27 非小細胞肺癌におけるDNA脱メチル化酵素ABH3の機能解析
○小垣 考弘[1], 仲井 秀一[1], 大塩 郁幹[1], 河口 恵[1], 西本 愛[1], 北惠 郁緒里[1], 小林 巧明[1], 神宮司 健太郎[1], 上田 裕子[1], 深田 宗一朗[1], 辻川 和丈[1] ([1]阪大院薬)

28O-pm18S ◷16:39 悪性胸膜中皮腫同所移植マウスに対する抗ポドプラニン抗体NZ-12とペメトレキセドの併用効果の検討
○和泉 俊尋[1], 阿部 真治[1], 佐藤 智恵美[1], 岡田 直人[1], 加藤 幸成[2], 西岡 安彦[3], 川添 和義[1] ([1]徳島大薬, [2]東北大医, [3]徳島大医)

3 月 28 日（月） 午前
P 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 415

調剤薬局
中込 啓一（武蔵野大薬）

28P-am01S
⏲9:00
飲み残した処方薬に関する調査研究
〇秋山 鈴香[1], 中元 りさ[1], 世羅 綾香[1], 瀬川 慶一[2], 加藤 雅也[3], 澤江 貴士[4], 藤原 一雄[5], 新佛 暢康[6], 吉川 由希子[7], 蔵本 恵[8], 加藤 広毅[9], 下田代 幹太[10], 中野 有子[11], 村山 良太[12], 横野 史津子[13], 島原 隆行[14], 箱田 真里[15], 垰 文子[16], 新井 茂昭[1], 水内 義明[1]（[1]安田女大薬, [2]エリア薬局, [3]おちあい薬局, [4]オリーブ薬局, [5]ぎおん中央薬局, [6]口田薬局, [7]口田南薬局, [8]蔵本薬局, [9]にしはらの加藤薬局, [10]びーだま薬局, [11]ふかわ薬局, [12]ぶどう薬局, [13]緑井薬局, [14]ミント薬局, [15]もろき薬局, [16]友愛薬局）

28P-am02
⏲9:12
服薬および注射のアドヒアランスに影響する生活習慣
〇菊池 千草[1], 藤田 直希[1], 菅沼 千枝[1], 松永 民秀[1], 鈴木 匡[1]（[1]名市大院薬）

28P-am03S
⏲9:24
長期処方患者に対する薬剤師による中間介入研究：初回登録内容から見た患者背景
〇山菅 友理子[1], 池田 佳弘[1], 赤沢 学[1]（[1]明治薬大）

28P-am04S
⏲9:36
「かかりつけ薬局」推進のために必要なクラウド型情報共有システムの検討 ―京都府における実証実験を通して―
〇小林 篤史[1], 宇野 進[2], 神林 純二[2], 内海 桃絵[3], 澤田 砂織[4], 乙須 舞[5], 杉山 正[1], 野本 愼一[6]（[1]岐阜薬大 実践社会薬学研究室, [2]ゆう薬局グループ, [3]京大医, [4]京都高度技術研究所, [5]たるみやま薬局, [6]滋賀県立リハビリテーションセンター）

28P-am05
⏲9:48
OTC 医薬品（ファモチジン）の適正使用に向けた取り組み～GerdQ 問診票を利用した受診勧奨アルゴリズムによるトリアージ～
〇小平 久正[1,2], 高萩 雅史[2], 落合 詠美[2], 新治 厚[2], 福田 美幸[2], 吉山 友二[1]（[1]北里大薬, [2]薬局トモズ）

在宅医療
篠原 久仁子（フローラ薬局）

28P-am06
⏲10:00
在宅患者の服薬状況及び QOL 向上に及ぼす保険薬剤師による患者宅訪問指導の影響
〇藤原 邦彦[1], 大月 沙耶香[1], 中村 有貴[1], 鈴木 勝宏[1], 松田 佳和[1], 境 愛美[2], 芳澤 正士[2], 宮野 廣美[2], 松島 喜久夫[2], 齊田 征弘[2], 畑中 典子[2], 池田 里江子[2], 黒澤 章[2], 斉藤 祐次[2], 鯉渕 肇[2], 謝村 錦芳[3]（[1]日本薬大臨床薬学教育センター, [2]埼玉県薬剤師会, [3]埼玉県保健医療部薬務課）

28P-am07
⏲10:12
心不全患者の在宅医療で活躍できる薬剤師育成プログラムの開発を目指して
〇小室 早希[1], 関根 祐子[1], 川島 早織[1], 今野 結衣[1], 河野 正寛[1], 高橋 由佳[1], 山下 純[1], 高野 博之[1]（[1]千葉大院薬）

28P-am08
⏲10:24
薬局薬剤師を対象とした緩和ケア研修の構築と評価
〇長谷川 千晶[1], 森井 博朗[1], 炭 昌樹[1], 星野 信夫[1], 寺田 智祐[1]（[1]滋賀医大病院薬）

28P-am09
⏲10:36
千葉市の保険薬局を対象とした在宅医療に関する実態調査
〇川島 早織[1], 小室 早希[1], 今野 結依[1], 河野 正寛[1], 山下 純[1], 関根 祐子[1], 高野 博之[1]（[1]千葉大院薬）

地域医療
新井 茂昭（安田女大薬）

28P-am10
⏲10:48
脂質検体測定イベントから見えた地域住民の脂質異常の実態
〇岩田 紘樹[1,2], 増尾 涼[1], 岡崎 光洋[3,4], 福本 正勝[5], 藤本 和子[1], 小林 典子[1], 山浦 克典[1,2]（[1]慶應大薬, [2]慶應大薬局, [3]北大院保健科, [4]スマートヘルスケア協会, [5]長岡福祉協会首都圏事業部）

28P-am11
⏲11:00
全国調査による検体測定室の普及と継続を阻害する要因の解明
〇山浦 克典[1,2], 吉田 加奈[1], 岩田 紘樹[1,2], 小林 典子[1], 藤本 和子[1], 岡崎 光洋[3,4]（[1]慶應大薬, [2]慶應大薬局, [3]北大院保, [4]スマートヘルスケア協会）

28P-am12
⏲11:12
院外処方箋への臨床検査値表示とその有用性評価
〇片山 美幸[1], 渡邊 裕之[1], 金谷 朗子[1], 末次 王卓[1], 秦 晃二郎[1], グリム 理恵子[1], 池末 裕明[1], 田中 瑠美[1], 高木 淳一[2], 瀬尾 隆[2], 増田 智先[1]（[1]九大院薬, [2]福岡市薬剤師会）

28P-am13
⏲11:24
ひたちなか健康 IT ネットを活用した、抗がん剤処方チェックプロトコールの構築
〇堀 晴香[1], 平井 利幸[1], 寺門 祐介[1], 秋山 裕史[1], 関 利一[1]（[1]日立製作所 ひたちなか総合病院薬）

28P-am14
⏲11:36
院外処方せん疑義照会プロトコールの構築と地域保険調剤薬局からの評価
〇平井 利幸[1], 西野 理恵子[1], 藤貫 晴奈[1], 塙 真也[2], 乾 守男[2], 篠原 久仁子[3], 渡邉 文之[4], 亀井 美和子[4], 関 利一[1]（[1]日立製作所ひたちなか総合病院, [2]ひたちなか薬剤師会, [3]フローラ薬局, [4]日本大薬 医療コミュニケーション学研究室）

3 月 28 日（月） 午後
P 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 415

TDM・投与設計①
平田 純生（熊本大院薬）

28P-pm01S
⏲13:15
血漿中プレガバリン濃度の迅速測定法の開発とその神経障害性疼痛患者への適用
〇吉川 望美[1], 内藤 隆文[1], 八木 達也[1], 川上 純一[1]（[1]浜松医大病院薬）

28P-pm02
⏲13:27
シクロスポリンおよびタクロリムスの血中濃度測定系に対するアゾール系抗真菌薬の影響
〇岩上 智香[1], 津田 真弘[1,2], 杉本 充弘[1], 米澤 淳[1], 都築 徹教[1], 松原 惇起[1], 中川 俊作[1], 矢野 育子[1,2], 中川 貴之[1], 松原 和夫[1]（[1]京大病院薬, [2]京大院薬）

28P-pm03
⏲13:39
小児及び成人てんかん患者におけるトピラマートの母集団薬物動態解析
〇竹内 理人[1,2], 伊藤 聡子[1,2], 矢野 育子[1,2], 杉本 充弘[2], 米澤 淳[2], 池田 昭夫[3], 松原 和夫[2]（[1]京大院薬, [2]京大病院薬, [3]京大院医てんかん•運動異常生理学講座）

28P-pm04
⏲13:51
持続的血液濾過透析施行中におけるバンコマイシンのクリアランスの評価と体内動態に与える影響因子の検討
〇建部 泉希[1], 山崎 伸吾[2], 鈴木 達也[2], 高塚 博一[2], 藤吉 正哉[1], 鈴木 貴明[2], 有吉 範高[1,2], 石井 伊都子[1,2]（[1]千葉大院薬, [2]千葉大病院薬）

TDM・投与設計②
田﨑 嘉一（旭川医大病院薬）

28P-pm05
⏲14:03
Clinical pharmacometrics を基盤としたテイコプラニンの個別化初期投与設計の実現
〇尾田 一貴[1,2], 田上 直美[1], 本田 義輝[1], 城野 博史[1,2], 齋藤 秀之[1,2]（[1]熊本大病院薬, [2]熊本大院薬 臨床薬物動態学講座）

28P-pm06 ㋐14:15 セファゾリンのタンパク結合に及ぼす人工心肺の影響
〇小高 瑞穂[1], 永田 将司[1], 水野 友裕[2], 内田 篤治郎[3], 倉島 直樹[4], 石渡 泰芳[1], 高橋 弘充[1], 槇田 浩史[3], 荒井 裕国[2], 越前 宏俊[5], 安原 眞人[6] ([1]東医歯大病院薬, [2]東医歯大院心血管外科学, [3]東医歯大院麻酔学, [4]東医歯大病院MEセ, [5]明治薬大, [6]東医歯大院薬物動態学)

28P-pm07S ㋐14:27 第 Xa 因子阻害剤の薬物動態および薬効の個人差を考慮した最適用量調節のシミュレーション
〇吉岡 英樹[1], 樋坂 章博[1], 佐藤 洋美[1] ([1]千葉大院薬 臨床薬理学研究室)

28P-pm08 ㋐14:39 徐放性バルプロ酸製剤の後発品から先発品への切り替えに伴う血中濃度の変動に対する要因分析
〇森岡 悠紀[1], 田中 寛之[1], 遠藤 雅之[1], 伊林 至洋[2] ([1]国立病院機構北海道がんセンター 薬剤部, [2]国立病院機構北海道がんセンター 脳神経外科)

医薬品適正使用
河原 昌美（金沢市立病院薬）

28P-pm09 ㋐14:51 P-糖タンパク質を介したタクロリムスの経細胞輸送に及ぼすリスペリドンの影響
〇渡辺 直[1], 東 宏伎[1], 中村 早稀[1], 野村 恵子[2], 足立 雄一[2], 田口 雅登[1] ([1]富山大院薬, [2]富山大院医)

28P-pm10S ㋐15:03 尿毒症物質の有機アニオン輸送ポリペプチド 1B1 阻害作用に対する健常者血清成分の増強効果
〇勝部 友理恵[1], 辻本 雅之[1], 落合 愛[1], 小出 博義[1], 北条 亜矢子[1], 小川 佳織[1], 神原 健吾[1], 鳥居 奈央[1], 古久保 拓[2], 和泉 智[2], 山川 智之[3], 峯垣 哲也[1], 西口 工司[1] ([1]京都薬大 臨床薬学分野, [2]仁真会 白鷺病院 薬, [3]仁真会 白鷺病院 診療部)

28P-pm11S ㋐15:15 フェブキソスタットの尿酸低下作用に影響を及ぼす患者背景因子の探索
〇小出 博義[1,2], 平 大樹[2], 辻本 雅之[1], 峯垣 哲也[1], 森田 真也[2], 西口 工司[1], 寺田 智祐[2] ([1]京都薬大 臨床薬学分野, [2]滋賀医大病院薬)

28P-pm12 ㋐15:27 腎排泄型薬剤の院外処方状況と患者腎機能に基づいた投与量適正化の取り組み
〇山下 勇樹[1], 長谷川 佳孝[2], 前田 守[2], 西尾 優作[2], 月岡 良太[2], 森澤 あずさ[2], 大石 美也[2] ([1]アインファーマシーズ アイン薬局伏見店, [2]アインホールディングス)

28P-pm13 ㋐15:39 抗真菌薬適正使用の必要性
〇宮脇 康至[1,2], 萩谷 英大[2], 吉田 寿雄[2], 勝浦 正人[1], 門脇 裕子[1], 三輪 芳弘[1], 朝野 和典[2] ([1]阪大病院薬, [2]阪大病院感染制御部)

リスクマネージメント
井関 健（北大病院薬）

28P-pm14 ㋐15:51 多剤処方における副作用発現頻度評価ツール～眠気・口渇・便秘・転倒・EPS の発現評価と代替薬提案～
佐藤 和佳子[1], 大竹 麻衣子[1], 〇東條 隆明[1], 浜田 康次[2], 富口 匡史[3], 林 誠一郎[4], 川上 準子[1], 星 憲司[1], 青木 空眞[1], 佐藤 憲一[1] ([1]東北薬大 医薬情報科学教室, [2]日本医大千葉北総病院薬, [3]アポック毛呂岩井薬局, [4]明治薬大)

28P-pm15 ㋐16:03 抗がん剤投与時におけるインラインフィルターの適切な使用に関するアンケート調査
〇諸角 一成[1], 佐藤 由美子[1], 本田 渉[1], 山本 靖子[2], 妹尾 恭司[3], 全並 秀司[4], 山田 浩一[1] ([1]名古屋市立西部医療センター薬剤科, [2]名古屋市立西部医療センター看護部, [3]名古屋市立西部医療センター消化器内科, [4]名古屋市立西部医療センター化学療法部)

28P-pm16 ㋐16:15 薬局におけるリスクマネージメントの現状
〇白川 滋大[1], 大澤 友範[1], 小椋 祐二[1], 小野 勇次[1], 小泉 晴香[1], 高野 聖也[1], 西村 詩央里[1], 佐生 健宏[1] ([1]キリン堂)

28P-pm17S ㋐16:27 高齢者における消化管内視鏡検査の呼吸循環動態に関する検討
〇﨑尾 真帆[1], 高野 美菜[1], 家田 知美[1], 川島 佳恵[1], 内藤 雅人[1], 島本 史夫[1] ([1]大阪薬大)

28P-pm18 ㋐16:39 インスリンスライディングスケールに関連したインシデント減少への取り組み
〇原田 紗希[1], 西田 承平[1], 岡安 伸二[2], 小林 亮[1], 鈴木 昭夫[1,3], 玉井 小百合[3], 熊田 恵介[3], 村上 啓雄[3], 伊藤 善規[1] ([1]岐阜大病院薬, [2]村上記念病院薬, [3]岐阜大病院医療安全管理室)

28P-pm19 ㋐16:51 薬局薬剤師による処方箋に記載された診療情報の活用
〇西村 詩央里[1], 渡邊 藍子[1], 北村 里香[1], 的場 俊哉[1], 原田 理沙[1], 佐生 健宏[1] ([1]キリン堂)

28P-pm20 ㋐17:03 インフリキシマブ先行品と後続品における糖鎖構造の比較
〇津田 真弘[1,2], 大谷 祐基[1], 米澤 淳[1], 池見 泰明[1], 大村 友博[1], 中川 俊作[1], 今井 哲司[1], 中川 貴之[1], 矢野 育子[1,2], 松原 和夫[1] ([1]京大病院薬, [2]京大院薬)

---

3 月 28 日（月） 午前
Q 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 416

製剤試験・その他
豊口 禎子（山形大病院）

28Q-am01 ㋐9:00 カンデサルタンシレキセチル製剤の溶出性に対する簡易懸濁法の影響について
〇野島 梨華子[1], 栗田 拓朗[1], 森田 豊[2], 徳村 忠一[1] ([1]徳島文理大香川薬, [2]エルメッド エーザイ 研究開発部)

28Q-am02 ㋐9:12 自動分割分包機に残留する製剤量に関する検討：テオドール DS20%、ゾンネ、アセトアミノフェン原末、オノン DS10%、ザジテン DS0.1%における製剤残留量の比較
〇安元 あい[1], 栗田 拓朗[1], 中妻 章[1], 横田 ひとみ[1], 二宮 昌樹[1], 徳村 忠一[1] ([1]徳島文理大香川薬)

28Q-am03 ㋐9:24 錠剤の粉砕調剤に対する最適化実験
〇北田 里華[1], 川上 充希[1], 山本 秀紀[1], 山本 宏[2], 栗田 拓朗[1], 徳村 忠一[1] ([1]徳島文理大香川薬, [2]四国こどもとおとなの医療セ薬)

28Q-am04 ㋐9:36 口腔内崩壊錠の製剤学的評価～一包化調剤への適応性に関する検討～
〇岡山 未来[1], 久野 雄一[1], 峯 昌敏[1], 辻 敏和[1], 江頭 伸昭[1], 増田 智先[1] ([1]九大病院薬)

薬物治療（がん）①
西村 信弘（島根大病院）

28Q-am05 ㋐9:48 食道癌術前化学療法施行時の血漿中鉄濃度の一過性上昇
〇中村 任[1], 高橋 稔[1], 新潟 里歩[2], 久米 学[3], 山下 和彦[3], 平井 みどり[3], 安井 裕之[2] ([1]姫路獨協大薬, [2]京都薬大, [3]神戸大病院薬)

28Q-am06 ㋐10:00 悪性リンパ腫に対する Short Hydration 法を用いた GDP 療法の外来治療への移行を見据えた認容性の評価
〇伊佐治 麻里子[1], 元茂 拓法[2], 田中 寛之[2], 遠藤 雅之[2] ([1]小樽市立病院薬, [2]北海道がんセンター薬)

28Q-am07S ㋐10:12 Lipid A 類縁体とアルキル化剤との併用による効果的な肺がん治療
〇國谷 美果[1], 竹内 一成[1], 寺田 弘[2], 牧野 公子[1] ([1]東京理大薬, [2]新潟薬大薬)

28Q-am08 【演題取り下げ】

28Q-am09S ㋐10:36 レチノイン酸誘導体による肺がん細胞増殖抑制効果の検討
〇秋田 智后[1], 堀口 道子[1,2], 首藤 紘一[3], 寺田 弘[2], 山下 親正[1,2] ([1]東京理大院薬, [2]東京理大 再生医療とDDSの融合研究部門, [3]日本医薬情報セ)

薬物治療（がん）②
三浦 昌朋（秋田大病院）

28Q-am10S
⏲10:48
トリプルネガティブ乳がんの低酸素環境適応性と Na+/H+交換輸送体 NHE1 の役割
〇細谷 麻衣子[1], 中瀬 朋夏[1], 松井 千紘[1], 川原 さと実[1], 髙橋 幸一[1]（[1]武庫川女大薬）

28Q-am11
⏲11:00
持続型 G-CSF 製剤の使用状況および発熱性好中球減少発症予防効果・経済的有用性の検討
〇井上 昌樹[1], 渋江 理恵[1], 玉木 宏樹[1], 西村 信弘[1], 直良 浩司[1]（[1]島根大病院薬）

28Q-am12
⏲11:12
ゲムシタビン塩酸塩の性状が異なる先発医薬品と後発医薬品における有害事象の比較検討
〇久保 靖憲[1], 三嶋 一登[1], 小野 尚志[1], 木村 周古[1], 安達 知輝[1], 大滝 康一[1,2], 福士 将秀[1], 田崎 嘉一[1]（[1]旭川医大病院薬, [2]北海道薬大）

28Q-am13S
⏲11:24
スニチニブによる口内炎発症メカニズムのゲノム薬理学的解析
〇渡邉 愛未[1,2], 山本 和宏[2], 平田 佐智[2], 原田 健一[3], 藤澤 正人[3], 中川 勉[1,2], 平井 みどり[1,2]（[1]神戸大院医・薬物動態学分野, [2]神戸大病院薬, [3]神戸大院医・腎泌尿器科学分野）

28Q-am14
⏲11:36
重症心身障害児者（SMID）てんかんにおける酸化ストレスと新規抗てんかん薬の関連
〇森本 真仁[1,2], 里村 茂子[2], 橋本 俊顕[2], 浜田 茂明[2], 土屋 聡史[1], 吉岡 三郎[1], 京谷 庄二郎[1]（[1]徳島文理大薬, [2]徳島赤十字ひのみね総合療育センター）

---

3 月 28 日（月） 午後
Q 会場　パシフィコ横浜　会議センター　4F　416

薬物治療（基礎）①
小林 道也（北医療大薬）

28Q-pm01S
⏲13:15
1 型糖尿病合併脂質異常症に対するインスリン療法と小腸の形態的・機能的変化に関する検討
〇鎌野 安紀子[1], 高野 美菜[1], 堀口 まり奈[1], 渡邉 直美[1], 川瀬 寛子[1], 木村 美保子[1], 高橋 唯[1], 藤田 純佳[1], 宮崎 誠[1], 島本 史夫[1]（[1]大阪薬大）

28Q-pm02S
⏲13:27
2 型糖尿病合併脂質異常症に対するインスリン療法と小腸 MGAT2 発現量に関する検討
〇堀口 まり奈[1], 高野 美菜[1], 鎌野 安紀子[1], 渡邉 直美[1], 川瀬 寛子[1], 木村 美保子[1], 高橋 唯[1], 藤田 純佳[1], 宮崎 誠[1], 島本 史夫[1]（[1]大阪薬大）

28Q-pm03S
⏲13:39
2 型糖尿病合併脂質異常症に対する高脂肪・低脂肪食摂取と小腸の形態的・機能的変化に関する検討
〇渡邉 直美[1], 高野 美菜[1], 鎌野 安紀子[1], 堀口 まり奈[1], 川瀬 寛子[1], 木村 美保子[1], 高橋 唯[1], 藤田 純佳[1], 宮崎 誠[1], 島本 史夫[1]（[1]大阪薬大）

28Q-pm04
⏲13:51
懸濁インスリンアナログ製剤の均一化の重要性
〇富岡 節子[1], 信田 重成[2], 山崎 勝弘[1]（[1]いわき明星大薬, [2]いわき明星大学電子顕微鏡室）

薬物治療（基礎）②
倉本 敬二（東京薬大薬）

28Q-pm05S
⏲14:03
マウス腎臓における P-glycoprotein 発現の概日リズムに及ぼす性差の影響
〇金堂 有起[1], 小柳 悟[1], 楠瀬 直喜[2], 鶴留 優也[1], 金光 拓海[1], 加藤 泉希[1], 松永 直哉[1], 大戸 茂弘[1]（[1]九大院薬, [2]大分大医）

28Q-pm06S
⏲14:15
マウス線条体におけるドパミン D3 受容体(DRD3)の発現リズム制御機構
〇松田 将希[1], 高露 恵理子[2], 松永 直哉[1], 荒牧 弘範[2], 小柳 悟[1], 大戸 茂弘[1]（[1]九大院薬, [2]第一薬大）

28Q-pm07S
⏲14:27
化学物質誘発性原発がんの発症における時計遺伝子 *Clock* の機能解析
〇橋川 健一[1], 小柳 悟[1], 片宗 千春[1], 白水 翔也[1], 松永 直哉[1], 大戸 茂弘[1]（[1]九大院薬）

28Q-pm08S
⏲14:39
転写因子に着目した難治性乳がんの新規治療法の検討
〇荻野 敬史[1], 松永 直哉[1], 原 幸稔[1], 渡邊 美弥子[1], 田仲 孝広[1], 吉種 光[2], 深田 吉孝[2], 小柳 悟[1], 大戸 茂弘[1]（[1]九大院薬, [2]東大院理）

28Q-pm09
⏲14:51
骨髄播種癌細胞の増殖抑制・抗癌剤耐性化における自律的 TGFβ2-SDF1-CXCR4 シグナルの役割
〇城野 博史[1], 神力 悟[2], 松井 啓隆[2], 安東 由喜雄[3], 齋藤 秀之[1]（[1]熊本大病院薬, [2]熊本大院医, [3]熊本大院医）

薬物治療（基礎）③
並木 徳之（静岡県大薬）

28Q-pm10
⏲15:03
記憶の忘却に作用する薬の探索
〇小島 寛人[1], 増田 文貴[1], 野村 洋[1], 池谷 裕二[1]（[1]東大院薬・薬品作用）

28Q-pm11
⏲15:15
外傷性出血性ショック時のヘモグロビン小胞体及び赤血球蘇生が輸血関連急性肺障害の発症に与える影響
〇得能 正裕[1], 田口 和明[1], 山﨑 啓之[1,2], 酒井 宏水[3], 小田切 優樹[1,2]（[1]崇城大薬, [2]崇城大DDS研, [3]奈良県医大）

28Q-pm12S
⏲15:27
エラスターゼ誘導性肺気腫モデルマウスにおける合成レチノイド Am80 の効果
〇松原 理恵[1], 竹内 一成[1], 堀口 道子[1], 山下 親正[1], 寺田 弘[2], 首藤 紘一[1], 牧野 公子[1]（[1]東京理大薬, [2]新潟薬大薬）

28Q-pm13
⏲15:39
バイオマーカー解析に基づく tranilast の大腸炎症抑制作用の評価
〇世戸 孝樹[1], 加藤 滉基[1], 池谷 萌優[1], 外山 皓基[1], 鈴木 寛貴[1], 佐藤 秀行[1], 尾上 誠良[1]（[1]静岡県大薬）

28Q-pm14S
⏲15:51
バンコマイシンによる尿細管上皮細胞のアポトーシス分子機構と cAMP アナログによる保護効果
〇坂本 裕哉[1], 矢野 貴久[2], 花田 有希[1], 竹下 亜希[1], 稲垣 芙美佳[1], 松永 直哉[1], 小柳 悟[1], 大戸 茂弘[1]（[1]九大院薬, [2]九大病院薬）

薬物治療（基礎）④
外山 聡（新潟大医歯学総合病院）

28Q-pm15S
⏲16:03
アルクチゲニンのグルクロン酸抱合における反応性に関する検討
〇浅野 美佳[1], 岩谷 朋香[1], 大島 祐太[1], 村越 誠[1], 畑 茉莉子[1], 平岡 碧[1], 松本 邦洋[1], 大野 恵子[1], 川島 孝則[2], 与茂田 敏[2], 江角 浩安[3], 岸野 吏志[1]（[1]明治薬大, [2]クラシエ製薬漢方研, [3]東京理大生命医科学研）

28Q-pm16S
⏲16:15
アトピー性皮膚炎モデルマウスを用いたタクロリムス軟膏皮膚適用後の全身および皮膚局所移行性に及ぼす皮膚状態の影響
〇間 祐太朗[1], 内田 亘[1], 前川 俊久[1], 三木 涼太郎[1], 大島 新司[1], 江川 祐哉[1], 関 俊暢[1]（[1]城西大薬）

28Q-pm17S
⏲16:27
DHMEQ 坐剤の体内動態及び炎症抑制効果の検討（2）～慢性疾患モデル～
〇桑山 裕多[1], 田口 悠香[1], 橋爪 朝美[1], 丸 貴之[1], 柴崎 拓也[1], 高橋 理寛[1], 松本 邦洋[1], 大野 恵子[1], 藤堂 省[2], 梅澤 一夫[3], 岸野 吏志[1]（[1]明治薬大, [2]聖マリア病院, [3]愛知医大医）

28Q-pm18S
⏲16:39
蛍光誘導体化 4β-OHC の高感度定量法に関する検討
〇吉田 早希[1], 新井 聡太[1], 伏木 彩[1], 中場 康太[1], 浅見 麻由佳[1], 須賀 梓[1], 松本 邦洋[1], 大野 恵子[1], 岸野 吏志[1]（[1]明治薬大）

医薬品情報
大津 史子（名城大薬）

28Q-pm19
⏲16:51
JADER を用いた妊娠に関連する有害事象リスクの検討（第 3 報）―妊娠時の第二世代抗精神病薬の有害事象リスク―
〇酒井 隆全[1], 大津 史子[1], 関谷 泰明[2], 森 千与[1], 坂田 洋[3], 田辺 公一[1], 後藤 伸之[1]（[1]名城大薬, [2]岐阜大院, [3]春日井市民病院薬）

28Q-pm20 味覚センサを用いたゾピクロン錠およびエスゾピクロン錠の飲料による苦味マスキング効果の検討
◷17:03
○吉田 都[1], 宇田 篤史[2], 原口 珠実[1], 小島 穂菜美[1], 内田 享弘[1], 山本 和宏[2], 平井 みどり[2,3] ([1]武庫川女大薬, [2]神戸大病院薬, [3]神戸大院医)

28Q-pm21 NSAIDs を含む医薬品配合剤の味評価に関する研究
◷17:15
○中村 早貴[1], 原口 珠実[1], 白石 早祐子[1], 小島 穂菜美[1], 吉田 都[1], 内田 享弘[1] ([1]武庫川女大薬)

3 月 28 日（月） 午後
R 会場 パシフィコ横浜 会議センター 4F 417

薬物治療（臨床）①
井上 俊夫（日本薬大）

28R-pm12 糖尿病薬の処方組み合わせとそのヘモグロビン A1c の解析から薬効を評価する試み
◷15:27
○嶋村 弘史[1], 田中 広紀[2,3], 向後 麻里[2,3], 竹ノ内 敏孝[4], 中野 泰子[5], 富田 基郎[5], 佐々木 忠徳[3,6], 谷山 松雄[7], 平野 勉[8] ([1]昭和大東病院薬, [2]昭和大藤が丘病院薬, [3]昭和大薬病院薬剤学講座, [4]昭和大薬在宅チーム医療教育推進室, [5]昭和大薬, [6]昭和大病院薬, [7]昭和大藤が丘病院内分泌•代謝科, [8]昭和大東病院糖尿病•代謝•内分泌内科)

28R-pm13 ラメルテオンの LDL-C 値に及ぼす影響の検討
◷15:39
○鳥井 栄貴[1], 谷崎 百合子[1], 大宮 由梨奈[1], 安田 大将[1], 清水 るみ子[1], 平岡 義範[1], 橋田 亨[2], 久米 典昭[1] ([1]神戸学院大薬, [2]神戸市立医療センター中央市民病院薬)

28R-pm14S 高吸収クルクミンは COPD 患者の動脈硬化に関連する炎症を抑えた
◷15:51
○清水 果奈[1,2], 船本 雅文[1,2], 砂川 陽一[1,2,3], 刀坂 泰史[1,2,3], 今泉 厚[4], 浅原 哲子[2], 山陰 一[2], 和田 啓道[2], 長谷川 浩二[2], 森本 達也[1,2,3] ([1]静岡県大薬, [2]京都医療セ, [3]静岡県立総合病院, [4]セラバリューズ)

28R-pm15 ワルファリンからアピキサバンへの切り替え後のプロトロンビン時間は年齢と切り替え前のプロトロンビン時間から推定可能である
◷16:03
○宇波 奈央子[1], 片山 志郎[1] ([1]日本医科大病院薬)

28R-pm16S 高齢者における血液検査基準範囲に関する検討
◷16:15
○川島 佳恵[1], 高野 美菜[1], 家田 知美[1], 﨑尾 真帆[1], 内藤 雅人[1], 島本 史夫[1] ([1]大阪薬大)

薬物治療（臨床）②
久米 典昭（神戸学院大薬）

28R-pm17S 飲酒と上部消化管病変との相関に関する研究
◷16:27
○家田 知美[1], 高野 美菜[1], 川島 佳恵[1], 﨑尾 真帆[1], 内藤 雅人[1], 島本 史夫[1] ([1]大阪薬大)

28R-pm18 ラモトリギン誘発皮膚障害発現に及ぼす併用薬の影響
◷16:39
○有村 洋平[1], 永田 健一郎[1], 白濱 雅史[1], 池末 裕明[1], 渡邊 裕之[1], 江頭 伸昭[1], 増田 智先[1] ([1]九大病院薬)

28R-pm19 肝臓分解物のヒト認知機能改善効果
◷16:51
○松田 佳和[1], 井上 俊夫[1], 羽二生 久夫[2], 中村 有貴[1], 打田 友里[1], 鈴木 里奈[1], 笠原 大輝[1], 村上 可南子[1], 手代木 藍[1], 杉田 和夫[3], 江水 保[4], 佐藤 和三郎[4] ([1]日本薬大, [2]信州大•バイオメディカル研, [3]熊谷総合病院, [4]シュガーレディ化粧品)

28R-pm20 自家造血幹細胞移植併用大量化学療法における味覚障害の発現に関与する危険因子の探索
◷17:03
○岡田 直人[1,2], 花房 剛志[3], 阿部 真治[1], 佐藤 智恵美[1], 中村 敏己[2], 寺岡 和彦[2], 石澤 啓介[2,4], 川添 和義[1] ([1]徳島大院医歯薬臨床薬学実務教育, [2]徳島大病院薬, [3]徳島大薬, [4]徳島大院医歯薬臨床薬剤)

28R-pm21 冠動脈硬化症に関与する心外膜脂肪組織由来サイトカインの探索
◷17:15
○齋藤 アユミ[1], 刀坂 泰史[1,2,3], 砂川 陽一[1,2,3], 秋本 剛秀[4], 植木 力[4], 和田 啓道[2], 島津 章[2], 長谷川 浩二[2], 坂口 元一[4], 森本 達也[1,2,3] ([1]静岡県大薬 分子病態学分野, [2]京都医療セ 臨床研セ, [3]静岡県総病院 臨床研, [4]静岡県総病院 心臓血管外科)

教育系薬学・その他（口頭発表）

3 月 28 日（月） 午後
K 会場　パシフィコ横浜　会議センター　3F　313+314

薬学教育①
井上 みち子（東京薬大）

28K-pm01
13:15
次世代の若者に向けた高大連携「医療・薬学」講座の開講
○杉原 多公通[1], 飯村 菜穂子[1], 星名 賢之助[1], 酒巻 利行[1], 朝倉 俊成[1], 川原 浩一[1], 福原 正博[1], 田代 卓哉[1], 北川 幸己[1]（[1]新潟薬大薬）

28K-pm02
13:27
薬剤師活動への薬学生の意識調査
○倉元 涼[1], 佐藤 宏樹[2], 三木 晶子[2], 児島 恵美子[1], 澤田 康文[2]（[1]メディセレスクール, [2]東大院薬）

28K-pm03
13:39
薬学部 3 年生を対象とした医学薬学専門英語の指導と学習効果の検証
○天ヶ瀬 葉子[1], スミス 朋子[2], 野口 ジュディー[3]（[1]同志社女大薬•病態生理, [2]大阪薬大•薬, [3]神戸学院大•グローバルコミュニケーション）

28K-pm04
13:51
名古屋市立大学薬学部の製剤学実習における味覚センサー導入の試み～第 5 報～
○田上 辰秋[1], 石亀 貴欣[1], 瀧 萌子[1], 竹内 堂朗[1], 福重 香[1], 小内 ゆい[1], 後藤 瑛一[1], 安藤 睦美[1], 林原 純希[1], 阿部 憲太郎[2], 池崎 秀和[2], 尾関 哲也[1]（[1]名市大院薬, [2]インセント）

薬学教育②
大井 一弥（鈴鹿医療大薬）

28K-pm05
14:03
薬学実務実習生の高齢者イメージに関する研究
○川出 義浩[1,2], 山本 美由紀[3], 江崎 哲夫[2], 坡下 真大[1], 岩尾 岳洋[1], 赤津 裕康[4], 早野 順一郎[4], 鈴木 匡[1], 木村 和哲[1,2,4]（[1]名市大院薬, [2]名市大病院薬, [3]名市大看護, [4]名市大院医）

28K-pm06
14:15
実務実習事前学習における学習者の態度評価の客観性と自己評価の検討
○福井 楓[1], 土肥 弘久[1], 萩原 幸彦[1], 堀口 よし江[1], 増田 豊[1], 北島 潤一[1], 高野 昭人[1], 千葉 良子[1], 濱島 肇[1], 濵本 知之[1], 廣原 正宜[1], 福森 隆次[1], 小野寺 敏[1], 渡部 一宏[1], 山本 健[1], 山本 美智子[1]（[1]昭和薬大）

28K-pm07
14:27
先導的薬剤師養成に向けた多職種間連携学習の実践とその成果
○飯村 菜穂子[1], 宮下 しずか[1], 福原 正博[1], 安藤 昌幸[1], 阿部 学[1], 坂爪 重明[1], 杉原 多公通[1], 松井 由美子[2], 永井 洋一[2], 遠藤 和男[2], 金谷 光子[2], 西川 薫[2], 中山 和美[2], 渡邉 榮吉[2], 真柄 彰[2], 吉嶺 文俊[3], 藤澤 純一[3], 小川 洋平[3], 井口 清太郎[3]（[1]新潟薬大薬, [2]新潟医療福祉大, [3]新潟大医歯学総合病院）

28K-pm08
14:39
地域のニーズにマッチした医療人材育成システムの開発
○森本 達也[1], 刀坂 泰史[1], 宮嵜 靖則[1], 井上 和幸[1], 辻 大樹[1], 谷澤 康玄[1], 砂川 陽一[1], 柏倉 康治[2], 鈴木 美希[1], 黒羽子 孝太[1], 野口 博司[1], 賀川 義之[1], 新井 英一[2], 式守 晴子[3], 冨安 眞理[3], 谷口 通英[3], 東野 定律[4], 比留間 洋一[5], 森野 智子[6], 合田 敏尚[2]（[1]静岡県大薬, [2]静岡県大食, [3]静岡県大看, [4]静岡県大経情, [5]静岡県大国際, [6]静岡県大短大）

薬学教育③
後藤 恵子（東京理大）

28K-pm09
14:51
e-ポータルサイトを用いた薬剤師のための救急災害医療の学習システム
○窪田 愛恵[1], 伊藤 栄次[2], 井上 知美[2], 小竹 武[2], 高橋 直子[2], 平出 敦[1]（[1]近畿大医, [2]近畿大薬）

28K-pm10
15:03
地域医療でのファーマシューティカルケアの実践を目指し　～Web 会議システムを利用しての e-ラーニング～
○仲鉢 英夫[1], 大森 俊和[1]（[1]湘南鎌倉総合病院薬）

28K-pm11
15:15
生活習慣病予防のための遺伝子検査セミナー　―薬剤師の予防医学への貢献を目指して―
○池田 佳代[1], 細井 徹[1], 吉井 美智子[1], 杉山 政則[2], 小澤 光一郎[1]（[1]広島大院医歯薬•治療薬効学, [2]広島大院医歯薬•遺伝子制御科学）

28K-pm12S
15:27
薬物乱用防止教室の家庭における会話促進効果
○岩渕 あずさ[1], 庄野 あい子[1], 赤沢 学[1]（[1]明治薬大）